

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	RubyCityMATSUEプロジェクト事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	Ruby City MATSUEプロジェクト事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	Ruby人材の育成とIT企業の集積を促進することで、市場競争力のある新たなソフトウェアや新技術、新商品の開発につなげ、IT産業の振興と雇用拡大を図る	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	市内企業Ruby売上高（百万円）	1,700	1,790	1,880	2,330
		市内Rubyエンジニア数（人）	385	419		419
・Ruby人材の育成、裾野拡大 ・育成した人材の地元企業への就職拡大 ・地元IT産業の持続的なレベルアップ	IT従事者数（人）	1,225	1,250		1,250	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	島根大学、松江高専での人材育成	1月	小学生向けロボコン開催
	4～3月	小中学校でのRubyを活用した授業	2月	ビジネスプランコンテスト
	11月	RubyWorldConference、Ruby Prize		
	12月	学生向けハッカソン開催		

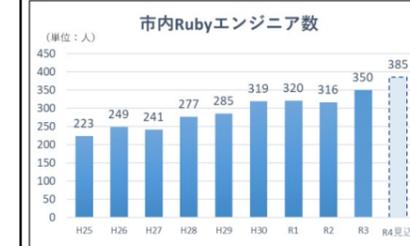
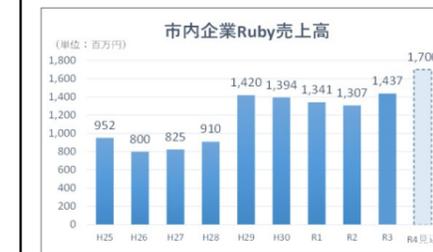
事業概要

（数値目標の目標年度）
 市内企業Ruby売上高：2029（R11）年度、市内Rubyエンジニア数：2023（R5）年度
 IT従事者数：2023（R5）年度
 *2023（R5）年度に新計画を策定し、2024（R6）年度以降のKPI等を決定予定。

地域再生の活路を見出すため、本市に蓄積する知的財産や地域資源を活かした取組として本市発のプログラミング言語「Ruby」を核とした「Ruby City MATSUE プロジェクト」を展開し、「Rubyのまち」としての地域ブランド創生を目指す。

産・学・官で構成される団体を核とした地域資源プラットフォームを形成し、地域価値創造に取組み、「Ruby」を活用した地域ブランド戦略化を図るとともに、人材育成を行いながら、本市IT産業の振興に繋げていく。

本事業に関する主要データ



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信(5,700千円) RubyWorldConference開催、RubyPrize開催 ●人材育成(4,718千円) Ruby人材育成補助金(島大・高専)、技術者認定資格取得助成、学生向けハッカソン開催、小学生向けロボコン開催、松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト開催 ●全市立中学校、一部の小学校でRuby授業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信(5,700千円) RubyWorldConference開催、RubyPrize開催 ●人材育成(4,965千円) Ruby人材育成補助金(島大・高専)、技術者認定資格取得助成、学生向けハッカソン開催、小学生向けロボコン開催、松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト開催 ●全市立中学校、一部の小学校でRuby授業実施 	【R5中に計画を策定予定・下記変更となる可能性あり】 <ul style="list-style-type: none"> ●情報発信 RubyWorldConference開催、RubyPrize開催 ●人材育成 Ruby人材育成補助金(島大・高専)、技術者認定資格取得助成、学生向けハッカソン開催、小学生向けロボコン開催、松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト開催 ●全市立中学校、一部の小学校でRuby授業実施
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	
	R4 決算見込	R5 当初予算
事業費		10,665
国・県支出金		0
地方債		
その他		232
一般財源	0	10,433
歳入合計	0	10,665

課題

●15年にわたるプロジェクト実施により「Rubyのまち」としての評価は定着し、人材育成・企業誘致・雇用創出の好循環が生まれ、県外からの進出企業・ソフト系IT企業の従業者数、開発件数、売り上げは増加してきたものの、近年は微減に転じている。

●IT技術者の人材不足は緩和傾向にあるとはいえ、依然として求める人材を十分に提供できていない。

●コロナ禍により従来のコミュニティ活動やイベントの中止、オンライン化が続いており、コロナ禍にも対応したIT人材の交流方法が求められている。

●IT企業と他産業との交流や連携が十分とは言えず、企業の成長や新ビジネス創出にまで至るケースが少ない。

方向性

●松江オープンソースラボを拠点としながら、コロナ禍に対応する新しいスタイルでの交流の場づくり、イベントやメディアを通じた情報の発信など「Rubyのまち」としてのシティプロモートを継続する。

●人材の裾野を広げるため、教育機関と連携し、プログラミング教育の充実に向けた環境整備、地元IT企業との交流機会の増加など、人材の育成と地元定着を図る。

●従来の取り組みに、IT産業の成長を地元他産業の成長や新ビジネスの創出に波及させる施策を加えた次代のプロジェクトを展開する。

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	90		
旅費	63		
需用費	5		
委託料	352		
使用料及び賃借料	135		
負担金補助及び交付金	10,020		
事業費計		10,665	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	アクションプラン推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国内外に強い競争力を持つ中小企業群を実現することを目的に、ものづくり産業の振興を図り、雇用の増加や地域経済の発展・成長につなげていく。	項目（成果指標） 新分野チャレンジ支援件数（延べ件数）	R4実績見込 0	R5計画 4	R6計画 6	目標値 6
	目標（何を達成するのか）	設備導入支援件数（件/年）	21	30	30	30
	●新市場開拓・生産性向上 ●新ビジネス創出 ●小規模事業者の事業継続	IT等導入支援件数（件/年）	13	15	15	15

事業概要

（数値目標の目標年度）
 新分野チャレンジ：2029（R11）年度、設備導入・IT等導入：2024（R6）年度
 ※新分野チャレンジは松江市総合計画に基づいた目標件数。
 ※R4計画数値は「アクションプラン推進事業費（新型コロナウイルス対策事業）」分も含む。

ものづくり産業の振興を図るため、「第4期松江市ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づき、「アフターコロナを見据えた『変化に強い企業づくり』」を取組目標として、(1)生産性向上・新市場開拓、(2)新ビジネス創出、(3)小規模事業者事業継続などについて補助支援を行う。

●第4期松江市ものづくりアクションプラン（2022～2024）の補助支援制度
 (1)生産性向上・新市場開拓：設備導入、人材育成・確保、現場改善、IT等導入、販路開拓
 (2)新ビジネス創出：プロジェクト連携、新製品・新分野チャレンジ
 (3)小規模事業者事業継続：小規模事業者支援

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	●「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づいて『アフターコロナを見据えた変化に強い企業作り』を目標に、以下の取り組みを支援。 (1)生産性向上・新市場開拓 (2)新ビジネス創出 (3)小規模事業者事業継続 【実績見込み】 82件、27,867千円 ●あわせて「ものづくり企業・IT企業連携」「IT活用アドバイザー派遣」「工場見学相総合相談」「外国人雇用相談」などに取り組み、IT化や人材確保などを支援 ※※参考※※ ・別の細々目、新型コロナウイルス対策の支援を実施 【実績見込み】 50件、50,003千円 ・別の細々目、省エネ対策の支援を実施 【実績見込み】 38件、55,095千円	●引き続き「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づいて『アフターコロナを見据えた変化に強い企業作り』を目標に、支援を実施。 (1)生産性向上・新市場開拓 (2)新ビジネス創出 (3)小規模事業者事業継続 ●あわせて「ものづくり企業・IT企業連携」「IT活用アドバイザー派遣」「工場見学相総合相談」「外国人雇用相談」などに取り組み、IT化や人材確保などを支援。	●引き続き「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づいて『アフターコロナを見据えた変化に強い企業作り』を目標に、支援を実施。 (1)生産性向上・新市場開拓 (2)新ビジネス創出 (3)小規模事業者事業継続 ●あわせて「ものづくり企業・IT企業連携」「IT活用アドバイザー派遣」「工場見学相総合相談」「外国人雇用相談」などに取り組み、IT化や人材確保などを支援。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		27,900	56,229
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	27,900	52,000
	一般財源	0	4,229
	歳入合計	27,900	56,229

課題	方向性
●コロナ禍に加え、原油・原材料価格の高騰など世界的に不透明な状況が継続すると考えられており、「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」の支援策でも新規設備導入や展示会出展等について、市内製造業の経営者が慎重になっているとみられる。 ●令和3年度末から続く、原油・原材料価格の高騰に対応するため、令和4年度は製造業の省エネルギー化を進める取組を支援する補助金を立ち上げた。国際関係は今後も不透明な状況が続く見通しとなっているため、引き続き市内製造業毎の実情に合わせた柔軟な支援が必要となる。	●企業訪問をベースに「第4期ものづくりアクションプラン（2022～2024）」に基づき、市内製造業毎の実情にあわせた柔軟な支援を進めていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	ものづくりアクションプラン推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～3月	各補助金募集		
	10月・3月	ものづくり振興会議(2回)		

本事業に関する主要データ

アクションプラン補助件数

年度	通常分	コロナ対策分
H25	96	
H26	91	
H27	110	
H28	149	
H29	152	
H30	151	
R1	147	
R2	36	96
R3	109	107
R4見込	82	50

■アクションプラン補助件数（メニユー別）

No.	事業名	第2期計画			第3期計画			第4期計画		
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4見込	R5	R6
1	設備導入支援事業	36	28	36	35	5	9	2		
2	IT等導入支援事業	10	9	7	13	11	9	5		
3	人材育成・確保支援事業	5	10	10	14	14	14	14		
4	小規模企業支援事業	39	50	48	38	45	48	39		
5	販路開拓支援事業	28	34	32	37	14	15	18		
6	海外向け商品開発・販売促進事業	4	2	2	0	0	1	-	-	-
7	現場改善活動支援事業	8	10	10	8	6	10	4		
8	プロジェクト連携支援事業	3	1	1	1	0	0	0		
9	新製品・新分野チャレンジ支援事業	1	3	1	2	1	3	0		
	合計	149	152	151	147	96	109	82		

■アクションプラン（新型コロナ対策版）補助件数（メニユー別）

No.	事業名	第4期計画
1	設備導入支援（新型コロナ対策）	19
2	人材育成・確保支援（新型コロナ対策）	6
3	現場改善活動支援（新型コロナ対策）	8
4	IT等導入支援（新型コロナ対策）	8
5	販路開拓支援（新型コロナ対策）	7
6	プロジェクト連携支援（新型コロナ対策）	1
7	新製品・新分野チャレンジ支援（新型コロナ対策）	1
	合計	50

■省エネ対策版 補助件数（メニユー別）

No.	事業名	R4見込み
1	設備導入支援（省エネ対策）	27
2	現場改善活動支援（省エネ対策）	11
	合計	38

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	213		
旅費	5		
使用料及び賃借料	11		
負担金補助及び交付金	56,000		
事業費計		56,229	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部産業支援センター	MATSUE 起業エコシステム推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	起業や新ビジネスの創出環境や魅力的な就業環境を整え、雇用や新産業を生み出し、地域経済の好循環、若い世代の定住やUIターンにつなげ、地方創生を実現する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		創業数（新設法人数）（社）	105	110	115	145
	目標（何を達成するのか）	創業相談支援件数（件）	770	870	970	1,470
起業や新ビジネス創出を志す者の挑戦を、地域の産学官金がノウハウを提供しあいながら実現まで支援する環境「MATSUE起業エコシステム」を形成する。	起業等の事業化件数（件）	2	3	4	9	

事業概要

（数値目標の目標年度）
 創業数：2030（R12）年度、創業支援相談件数：2029（R11）年度、起業等の事業化件数：2024（R6）年度

(1)コミュニティ運営
 ①コミュニティ企画運営：チャレンジャーや支援機関が出会いと学びを得るため、イベント、交流会、勉強会等の企画運営、アントレプレナーシップ教育や他の創業支援施設との連携を行う。
 ②相談支援：MIXにビジネスに関する総合相談窓口を開設し、市内の支援機関等が相談にあたる。
 ③支援ツール開発：MIXの運営を円滑にするため、起業や新ビジネス創出を支援するツールの開発に取り組む。
 (2)事業化支援：専門家・専門職種・先輩起業家・支援者等の協力を得つつ、事業アイデアを形にするワークショップ・スタディツアー・事業構想創出合宿など、事業化支援プログラムを提供する。
 (3)支援機関研修：チャレンジャーの目標に沿った適切な支援を行うため、支援に必要な知識やノウハウを学び、団体や業界の垣根を超えた連携を可能にする企画を実施する。
 (4)アントレプレナーシップ教育：県内の高校生の挑戦を支援し、地域に対するプロモーションを併せて行うことで、「チャレンジャーを生み出すカルチャーの醸成」を図る。
 (5)プロモーション：学生、地元企業等へ向けた市内向けプロモーション、市外の起業家、企業、ベンチャーキャピタル等に向けた市外向けプロモーションを展開する。
 パンフレット、動画等の素材を作成し、メディア、Web、SNSなど様々なチャネルで情報発信する。
 ※エコシステム：起業や新ビジネスの連続的な創出と循環を、産学官金連携で支援する仕組み

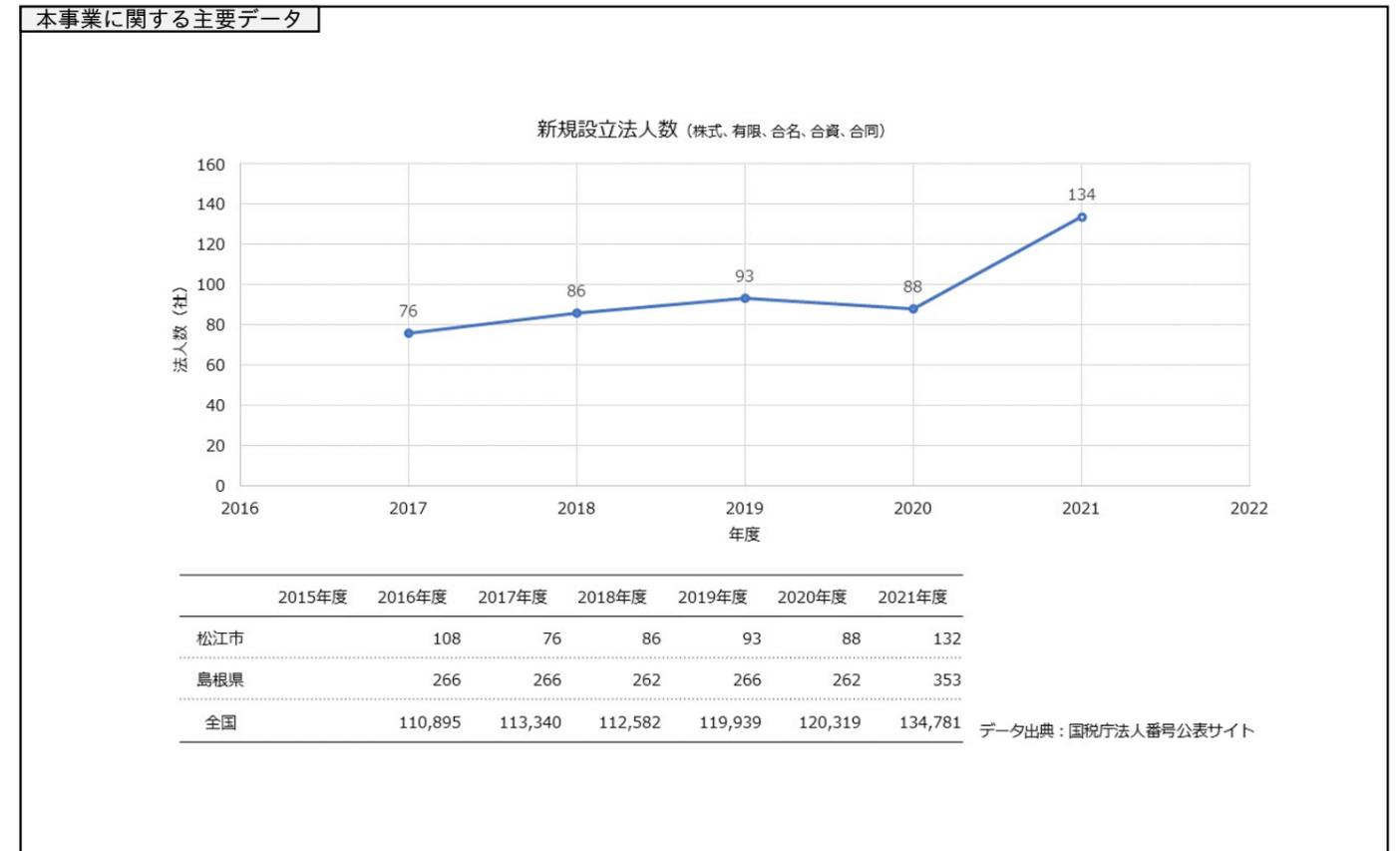
	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	1. R5.1.31コンソーシアム設立・運営 2. コミュニティ運営・起業家相談支援・支援機関研修 ・イベント開催数：50回 ・イベント参加者数（延べ）：400人 3. アントレプレナーシップ教育 ・エントリー数（U18）：17組 ・エントリー数（U22）：8組 4. プロモーション ・動画制作、Web・メディア活用	1. コミュニティ運営 (1) コミュニティ企画運営 (2) 相談支援 (3) 支援ツール開発 2. 事業化支援 3. 支援機関研修 4. アントレプレナーシップ教育 5. プロモーション	1. コミュニティ運営 (1) コミュニティ企画運営 (2) 相談支援 (3) 支援ツール開発 2. 事業化支援 3. 支援機関研修 4. アントレプレナーシップ教育 5. プロモーション
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	20,000	20,000
	国・県支出金	10,000	10,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	10,000	10,000
歳入合計		20,000	20,000

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ●支援機関がそれぞれで起業支援しており、窓口や支援が一本化されていない。支援姿勢やノウハウにばらつきがある。 ●先輩の起業家や支援者に「出会う」「相談する」コミュニティ、仲間づくりができるコミュニティがない。 ●地域にアントレプレナーシップ（起業家精神）やそれを支援する機運が未醸成。 	<ul style="list-style-type: none"> ●チャレンジャーファーストを基本姿勢として、「産学官金が連携したノウハウ」「気軽に良質なコミュニティ」「チャレンジが特別でないカルチャー」を提供する社会システムを整える

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	MATSUE起業エコシステム推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	MIXコミュニティ運営事業開始（以降随時）	12月	アントレプレナーシップ教育プログラム最終発表会
	4月	アントレプレナーシップ教育事業補助金交付・募集開始		
	4月	事業化支援プログラム開始（以降随時）		
	7月	アントレプレナーシップ教育プログラム審査会		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	20,000		
事業費計			20,000

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出に繋げる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	展示商談会における商談成立者数(増加分)	5	5		22
	・地域商社立ち上げに向けた人材育成とネットワーク構築 ・松江工芸のブランディング ・工芸品を知って購入する機会づくり ・異業種ネットワークによる付加価値創出	クラフトフェア参加の作家人数(増加分)	30	30		100
		工芸品販売額(千円)	5,370	6,495		13,300

事業概要	<p>①プロデュース・流通・販売を一貫して担う地域商社の創出を目指して、地域内外のクリエイティブ人材・作り手・地域おこし協力隊が連携する体制を作る *かんべの里工芸ショップの企画・運営を通じた人材育成（アドバイザー招致）</p> <p>②松江工芸のブランドコンセプトを明確にして発信し、作り手によるブランドマークの活用を促進する</p> <p>③クラフトフェア、販売店舗の増加、手仕事マップで回遊性を高め、認知度と経済力をアップ</p> <p>④異業種交流や付加価値創出を目指したワークショップの開催により、情報交換や作り手をサポートできる人材とのマッチング（数値目標の事業年度）</p> <p>項目名 展示商談会における商談成立者数(増加分)：2024(R6)年度、項目名 クラフトフェア参加の作家人数(増加分)：2023(R5)年度、項目名 出雲かんべの里工芸ショップ及びクラフト展（丘のクラフト展、新規クラフトフェア）での工芸品販売額：2029(R11)年度</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>○人材育成とネットワークの構築 R2から引き続きディレクターを配置し、工芸作家への情報提供・助言等を実施。</p> <p>○松江工芸のブランディング R3に完成したWEBサイト（松江のこしらへ）の内容充実。</p> <p>○クラフトフェアの開催 CRANUMAはメイン会場を2会場、開催日数2日間へ規模拡大。興雲閣では、出店者36組、来場者数1369名。カラコロ工房では、出店者19組、来場者数1998名。</p> <p>○異業種ネットワークによる付加価値創出 料理と器をテーマにセミナーを開催。</p>	<p>○人材育成とネットワークの構築</p> <p>○クラフトフェアの開催</p> <p>○手仕事マップの作成</p> <p>○異業種ネットワークによる付加価値創出</p>	R3～R5年度の実績を踏まえ、R6年度から自立するよう検討を進める。
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	4,900	4,900
	国・県支出金	2,450	2,450
	地方債		
	その他	0	0
	一般財源	2,450	2,450
	歳入合計	4,900	4,900

課題	方向性
<p>①付加価値を付けて使う人に渡す「繋ぎ」の機能が不足しているため工芸の地域商社が必要</p> <p>②個々で活動していることから地域産業としての認知度が低いため松江工芸としてのブランディングと発信が必要</p> <p>③展示販売する場所が市内にないため認知されず経済的に厳しいため知ってもらい、買ってもらう場の増加が必要</p> <p>④情報交換や相談する仕組みがないことがコロナ禍で一層深刻なため、新たな発想を生む情報交換や繋ぎの場・異業種のサポートが必要。</p>	<p>・伝統を誇りに感じながら新たな挑戦を重ねる若い作り手を増やす</p> <p>・作り手と使い手を繋ぐ場や商品開発をプロデュースできる事業者を増やす</p> <p>・工芸品や、クラフトフェアが松江の新たな魅力となるよう取り組む</p> <p>・工芸の魅力を観光誘客につなげる</p> <p>・作り手を目指す人や工芸に関連する人材の松江移住へつなげる</p>

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	あの面白い企業、松江発って知ってる？
	主要施策	松江工芸の魅力発信と担い手育成事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	ネットワークの構築		
	随時	手仕事マップの作成・ブランドコンセプトのPR		
	12月	クラフトフェアの開催		
	5月～3月	PRイベントの開催・ECサイト構築		

本事業に関する主要データ

クラフトフェア（CRANUMA2022）の様子

興雲閣会場



カラコロ工房会場






R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,900		
事業費計			4,900

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	職人商店街創出事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地商店街の活性化	項目（成果指標） 数値目標になじまない	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	中心市街地に多彩な伝統工芸などが集まる「職人商店街」の創出					

事業概要	<p>中心市街地に、多彩な伝統工芸などが集まる「職人商店街」の創出を目指し、店舗のリノベーションに加え、拠点施設の整備、工芸作家の新規出店、回遊性アップに向けた社会実験を支援する。</p> <p>【予算】細々目：職人商店街創出事業費 14,500千円 細々目：職人商店街エリアを巡る二次交通支援事業費 500千円</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○事業を推進する仕組みの構築 ○事業推進 <ul style="list-style-type: none"> ・既存店舗のリノベーション促進 ・空き家や空き店舗を活用した拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○店舗のリノベーション支援 <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設の整備 ・既存施設の整備 ○工芸作家のまちなか出店 <ul style="list-style-type: none"> ・新規出店の支援 ・トライアルスペースでのお試し出店 ○二次交通支援 <ul style="list-style-type: none"> ・回遊性アップに向けた社会実験 	R5年12月を目処に計画予定。
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	17,950	14,500
	国・県支出金		2,250
	地方債		
	その他		0
	一般財源	17,950	12,250
歳入合計		17,950	14,500

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸などの手仕事を生業とする工芸作家のまちなかへの出店 ・観える化、体験の提供を行う店舗の創出 ・点在する店舗を結びつけ回遊性を高める仕組みづくり 	方向性	<p>民間のまちづくり会社と連携し、空き家・空き店舗の活用も進め、中心市街地商店街の賑わい創出を図る。</p>
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	既存店舗リノベーション、拠点づくり、新規出店支援		
	随時	2次交通支援		

本事業に関する主要データ

店舗のリノベーション支援
事業費1,000万円

新規 ○拠点施設の整備

- ①ものづくり工房
- ②ショップで販売
- ③カフェで使用

ものづくり工房は、工芸作家のアトリエやトライアルスペースとしての活用も

複合施設

継続 ○既存施設の整備
蕎麦打ち体験のできる蕎麦屋の出店等（観える化・体験化）

新規 **工芸作家のまちなか出店**
事業費450万円

- 新規出店の支援
- トライアルスペースでのお試し出店

新規 **2次交通支援**
事業費50万円

- 回遊性アップに向けた社会実験
- ①人力車 ②トゥクトゥク ③電動キックボード

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	14,500		
事業費計			14,500

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	商業活性化支援事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	人口減少やネット通販の発達など地元事業者にとって厳しい商業環境であるが、意欲ある事業者に対し支援することで、商業機能の維持・拡大を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	新規出店件数（中心市街地エリア）	18	10	10	10	
	目標（何を達成するのか）					
	・地域経済の活性化 ・買物不便地域の解消					

地域において工夫した商業の新たな仕組みづくりや地域商業の活性化、商業機能の維持・向上などの積極的な取り組みを支援することによって地域経済の活性化と商業の振興に寄与する。
 ①松江市中心市街地活性化基本計画（以下、基本計画）で設定された区域内や商工会管内の一部地域の空店舗に出店する際の家賃等への補助（チャレンジショップ事業）
 ②買物不便地域解消につながる取り組みへの補助（買物支援事業）
 （数値目標の目標年度）
 項目名 空き店舗等への新規出店件数：2029(R11) 年度

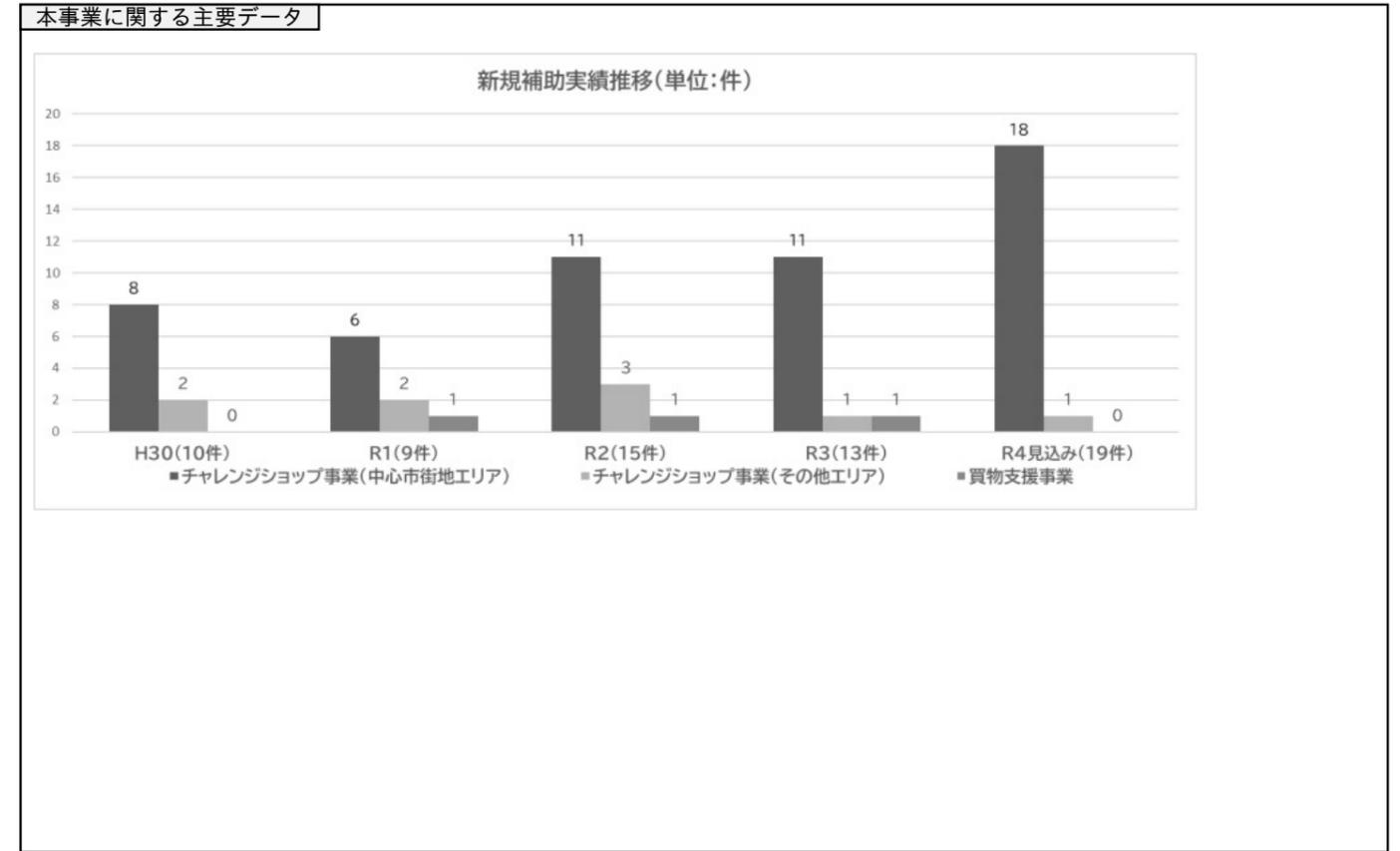
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	チャレンジショップ事業は新規で19事業者、継続で6事業者に対して補助。	・遊休不動産を活用したリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。	・遊休不動産を活用したリノベーションを進める。 ・商工会議所、商工会と連携し経営支援の充実を図る。 ・買物支援事業によって買物不便地域の解消に繋げていく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	27,703	27,000
	国・県支出金	13,851	13,500
	地方債		
	その他		0
	一般財源	13,852	13,500
	歳入合計	27,703	27,000

課題	方向性
支援した事業者が地域に定着し、持続的に地域商業の活性化に寄与できるように、サポートを実施していく必要がある。	新規出店する事業者や空き店舗を抱える商店街等のニーズを把握しながら、より使いやすい支援内容となるよう、随時検討していく。 また、支援した事業者の定着率向上に向け、出店当初の計画作成から事業着手後のフォローについても引き続き商工会議所・商工会等と連携しサポートを行っていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R5年10月	補助金交付		
	R6年3月	県補助金請求		
	R6年4月	補助金交付		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	27,000		
事業費計			27,000

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部都市政策課	まちのRe-project事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地エリアビジョンに掲げる「遊休不動産を活用した多様なコンテンツの集積と世代間交流の促進」に向けて、遊休不動産の活用を進めることで、まちなかの再生と市域全体の活性化を目指す。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 遊休不動産の活用によりエリアの価値向上を図る「エリアリノベーション」の推進により、遊休不動産を活用した実践事例をつくり、地域の人材育成と遊休資産活用、雇用の創出、居住の促進を図る。	都市再生推進法人の認定数【累計値】	0	1	2	3
	空き店舗等への新規出店数【単年度値】	20	10	10	10	

事業概要
 リノベーションまちづくりを推進するため、リノベーションスクール関連案件等の遊休不動産における事業化を目指し、遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼、遊休不動産のマッチングイベント等を行う。
 また、リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を強化する。
 さらに、まちなかエリアにおいて、まちづくりに取り組む民間団体について、都市再生推進法人制度の活用を促進するため、指定の募集を行う。

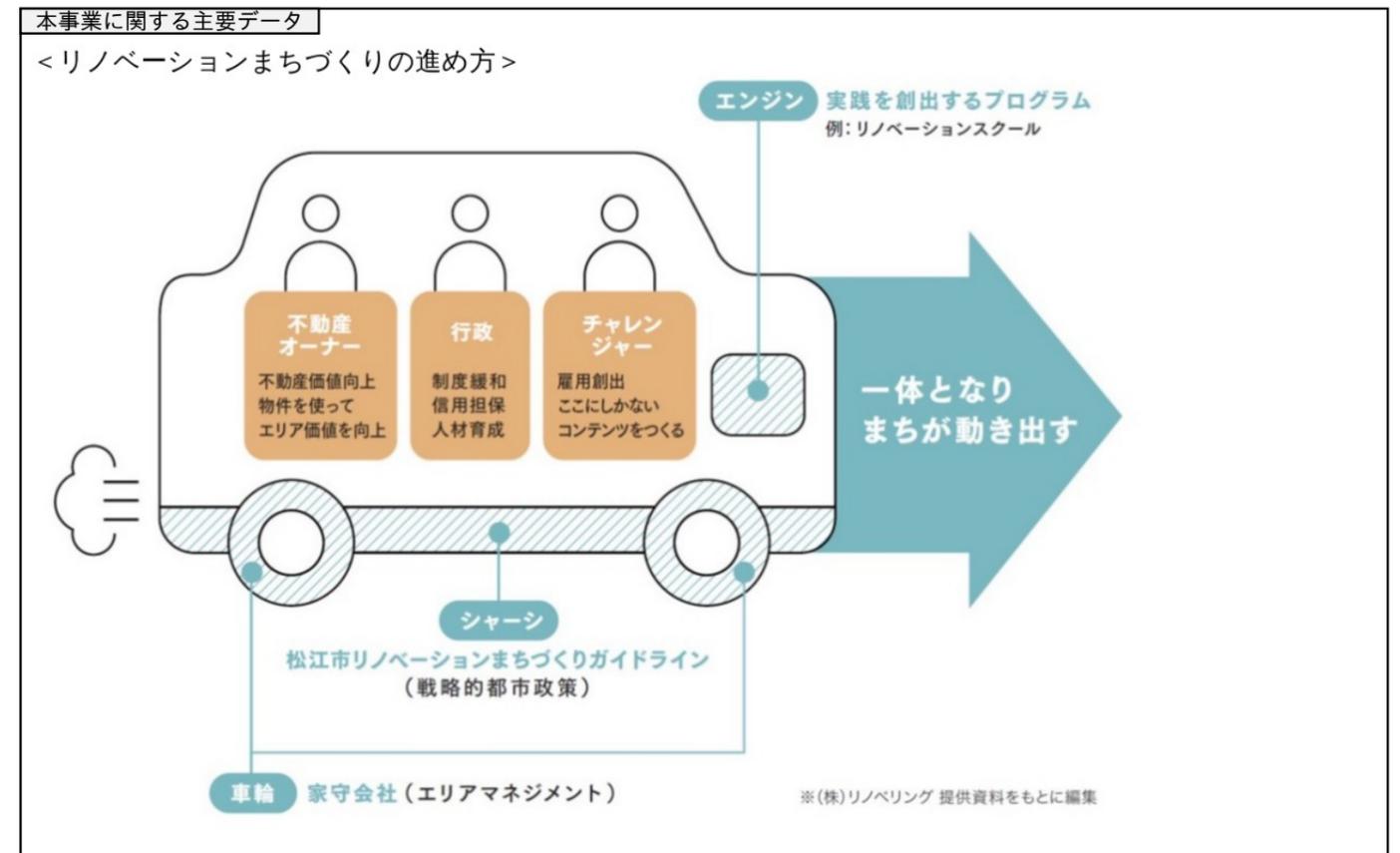
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインの印刷製本・配布、プロモーション動画の制作 ガイドラインや動画を活用したリノベーションまちづくりの啓発 遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 SNSを活用した情報発信 遊休不動産のマッチング事業「たてものぐるり」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 白潟エリアを中心とする遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 SNSを活用した情報発信 遊休不動産のマッチング事業の実施 リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発 都市再生推進法人の指定 	<ul style="list-style-type: none"> 白潟エリアを中心とする遊休不動産の掘り起こしと不動産オーナーへの協力依頼 SNSを活用した情報発信 遊休不動産のマッチング事業の実施 リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発 都市再生推進法人の指定
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,491	65
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,491	65
歳入合計		1,491	65

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の不動産が空き家、空き店舗として遊休化したり、駐車場として低未利用化する「スポンジ化」が進行し、その対策が必要 建築物の除却・新築を中心とする市街地再開発はリスクを伴うため、既存のストックを活用した再生手法への転換が必要 遊休不動産と活用希望者のマッチング推進のため、民間まちづくり会社(家守会社)の設立・育成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地を主要なエリアとして遊休不動産活用による起業や居住の促進を図る 遊休不動産を活用しエリアに必要なコンテンツの創出を図る 小規模な民間投資を連鎖的に呼び込むことにより雇用の創出を図るとともに、エリアの不動産価値の上昇による魅力向上を目指す

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	遊休不動産の掘り起こし		
	4月～3月	SNSを活用した情報発信		
	4月	都市再生推進法人の募集開始		
	9月	遊休不動産マッチングイベント		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	50		
使用料及び賃借料	15		
事業費計			65

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	京店広場・旧日銀松江匠工房整備事業費（継続費）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	建築基準法第12条点検及び耐震診断結果により指摘のあった箇所を中心に施設全体の老朽改修工事を実施する。また、あり方検討結果を踏まえた改修工事も併せて実施していく。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		数値目標になじまない				
	目標（何を達成するのか）					
令和3年度にカラコロ工房の基本構想を策定し、令和4年度からは老朽改修や基本構想に伴う設計や工事を経て、令和6年度中にリニューアルオープンを目指す。						

事業概要	<p>カラコロ工房の老朽改修工事に合わせ、中心市街地の拠点としてより多くの市民や観光客に活用されるよう、施設の更なる魅力化のためのリノベーションを行う。</p> <p>○総事業費 8億2,023万円（R5：3億5,609万円 R6：4億6,414万円）</p> <p>○工事内容 <老朽改修工事> 外壁修繕、屋上防水対策、エレベーター改修等 <リニューアル工事> 内装改修、ライトアップLED化、Wi-Fiの新設等</p> <p>○スケジュール R5～R6：改修工事、R6.10（予定）：リニューアルオープン ※R5.4～R6.9 全館休館</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	大規模改修工事（外壁・屋上等）の実施設計を行う。併せて、内部改修工事の実施設計に着手した。	令和4年度に引き続き内部の実施設計を実施し、10月からは改修工事に着手する。 ※カラコロ工房は、4月から全館休館する。	令和5年度に引き続き改修工事を実施する。改修工事完了次第、入居する各テナントのオープン準備（改修工事）を経て、令和6年10月にリニューアルオープン予定。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	36,033	356,087
	国・県支出金		0
	地方債	31,700	347,100
	その他		0
	一般財源	4,333	8,987
歳入合計		36,033	356,087

課題	工事期間中、施設全体を休館する必要があるため、利用者への周知を含め、休館に向けたスムーズな事務手続きを行う必要がある。
方向性	令和3年度末に策定した「カラコロ工房新活用基本構想」を踏まえ、計画的な工事の遂行とともに、まちづくりの拠点施設としての魅力を高める。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	こんなに面白い商店街って松江にしかない
	主要施策	旧日銀松江匠工房整備事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～5月	内部の実施設計		
	10月～	改修工事着手		

本事業に関する主要データ

整備スケジュール

	R4年度	R5年度	R6年度
外部改修工事	調査・実施設計 7月～2月	改修工事 (外部・内部)	テナント 改修工事 リニューアル オープン
内部改修工事	リニューアル計画 9月～12月	実施設計 2月～5月	入札 仮契約 10月～6月 7月～9月 10月～

【リニューアル後のカラコロ工房】

マルシェ



本館1階

- 地元野菜、加工品、工芸品など
- 松江産品を取りそろえた市場
- 買うだけでなくその場で食べる楽しみ

ものづくり体験



本館2階3階

- 陶芸、水引細工、利き酒、墨絵、和菓子、お茶、お花、和紙体験など

フードセンター



ガーデンテラス

- 夜まで賑わうフードセンターとしての賑わい
- 起業家を育てるインキュベーション店舗としての活用

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	356,087		
事業費計			356,087

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	多面的機能支払事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域が共同で行う多面的機能を支える農地維持活動や地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る資源向上活動を支援することで、集落環境の保全・維持、集落の活性化を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		対象農用地面積 (ha)	2,406	2,446	2,487	2,487
	目標（何を達成するのか）					
農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費を支援することで、農地の維持、荒廃農地の発生抑制を図る。						

事業概要	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地や水路・農道等の草刈りや泥上げ、農村環境の保全、水路・農道等の補修や再整備を地域共同で行う活動にかかる経費について、面積に応じて一定額を交付する。
	（数値目標の目標年度） 項目名 対象農用地面積（ha）：2024（R6）年度

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	【活動組織数】 農地維持支払73件 資源向上支払(共同)62件 資源向上支払(長寿命)36件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,406ha 資源向上支払(共同)2,214ha 資源向上支払(長寿命)1,511ha	【活動組織数】 農地維持支払75件 資源向上支払(共同)63件 資源向上支払(長寿命)39件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,446ha 資源向上支払(共同)2,253ha 資源向上支払(長寿命)1,625ha	【活動組織数】 農地維持支払75件 資源向上支払(共同)63件 資源向上支払(長寿命)39件 【対象農用地面積】 農地維持支払 2,487ha 資源向上支払(共同)2,253ha 資源向上支払(長寿命)1,625ha
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

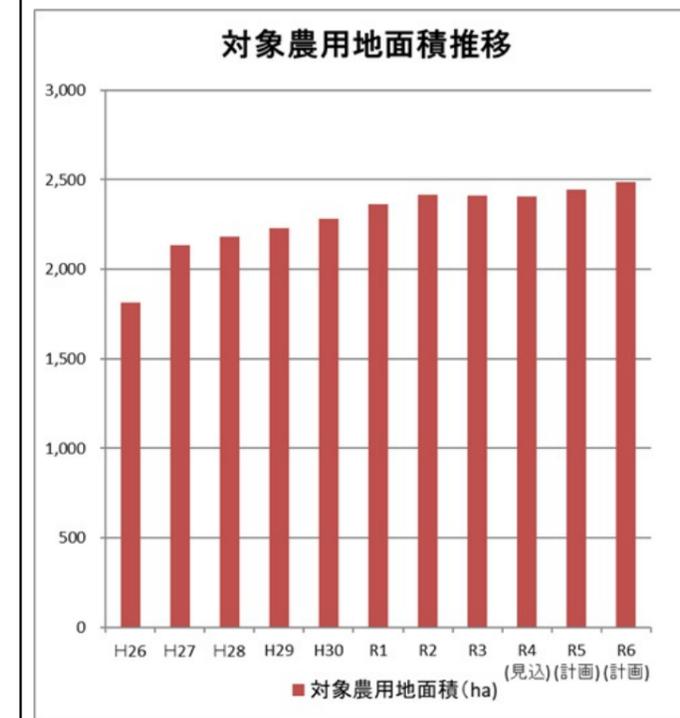
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	155,210	165,923
	国・県支出金	116,636	124,872
	地方債		
	その他		
	一般財源	38,574	41,051
歳入合計		155,210	165,923

課題	活動組織構成員の高齢化や後継者不足が課題である。	方向性	農地の維持保全、集落機能の活性化などを行うために、引き続き事業の推進を図るとともに活動組織の広域化を進め、活動の効率化や組織力の強化を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	各組織から前年度実績報告	2月	補助金の交付（第2回）
	6月	新規活動組織の活動計画書提出		
	8月	補助金の交付（第1回）		
	9月～12月	対象農地の確認、面積の精査		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	445	負担金補助及び交付金	164,204
職員手当等	371		
共済費	136		
旅費	5		
需用費	128		
役務費	57		
委託料	577		
事業費計		165,923	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	中山間地域等直接支払事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続し、農地及び農村の保全を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	農地の維持保全、集落機能の活性化などを行うために、対象農用地面積の拡大を図る。また多面的機能支払交付金と組み合わせた事業推進を進める。	対象農用地面積 (ha)	248	258	259	259

事業概要	<p>中山間地域等において、集落等を単位に、農用地を維持・管理していくための協定を締結し、それにしたがって農業生産活動等を行う場合に、面積に応じて一定額を交付する。</p> <p>事業期間：令和2年度～令和6年度（第5期対策） （数値目標の目標年度） 項目名 対象農用地面積 (ha)：2024 (R6) 年度</p>
------	---

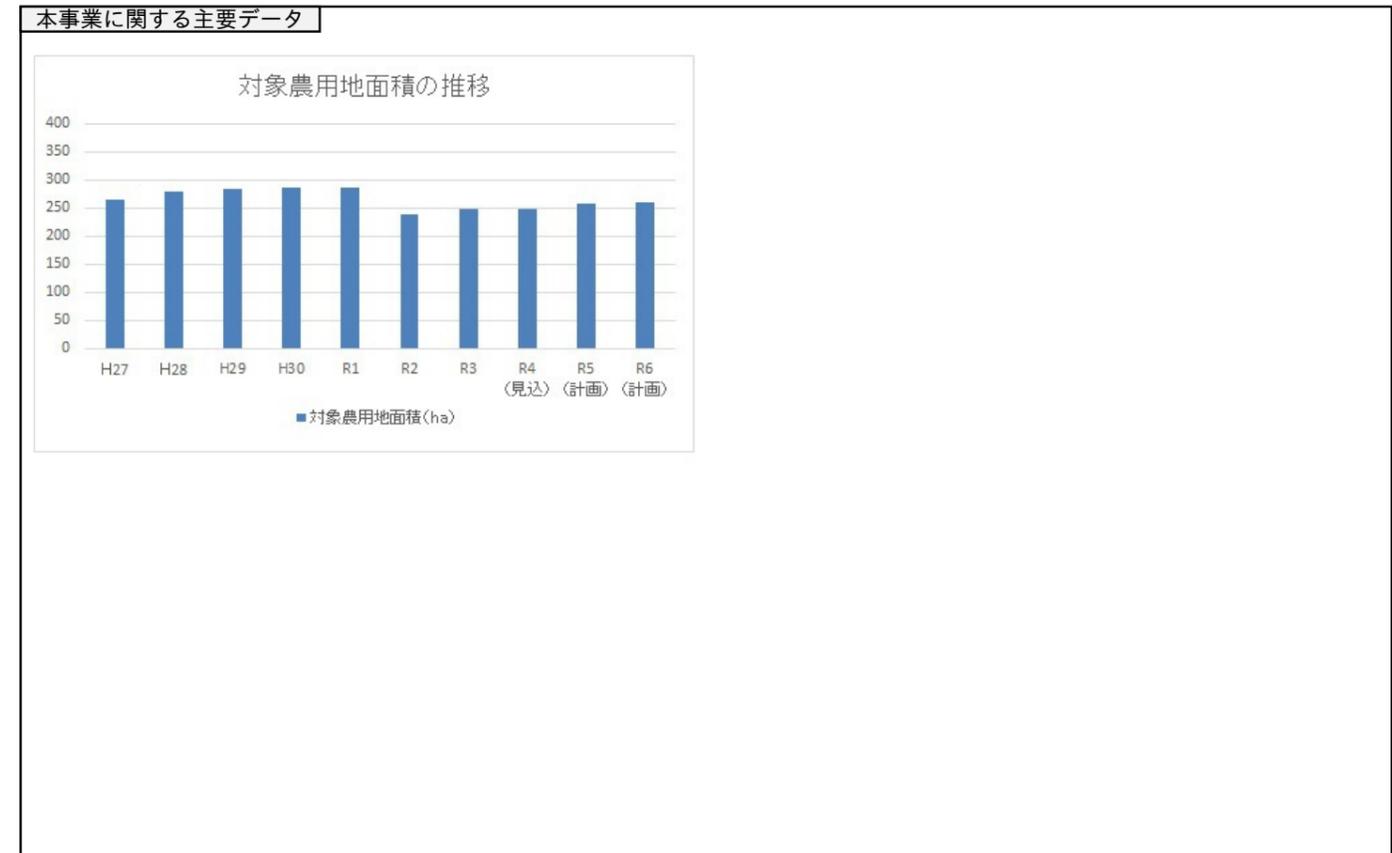
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>・事業の継続、多面的機能支払交付金と組み合わせた事業推進を進める。</p> <p>活動組織数 47件 対象農用地面積 248ha</p>	<p>・事業の継続、多面的機能支払交付金と組み合わせた事業推進を進める。</p> <p>活動組織数 48件 対象農用地面積 258ha</p>	<p>・事業の継続、多面的機能支払交付金と組み合わせた事業推進を進める。</p> <p>活動組織数 48件 対象農用地面積 259ha</p>
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	43,927	45,557
	国・県支出金	30,599	31,697
	地方債		
	その他		0
	一般財源	13,328	13,860
歳入合計		43,927	45,557

課題	中山間地域における農業者の高齢化や後継者不足が課題である。	方向性	本事業の実施により、農業生産活動を継続するための課題について話し合いを行う場を設けることで、課題の解決に取り組み、農用地の維持・管理や農業生産活動の継続を図る。
----	-------------------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～5月	現地傾斜測定	10月	現地確認
	6月	事業計画申請	2月	交付金支払（2回目）
	7月	事業計画認定		
	7月	交付金支払（1回目）		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	25		
役員費	49		
委託料	330		
負担金補助及び交付金	45,153		
事業費計		45,557	

令和5年度 総合計画実施計画

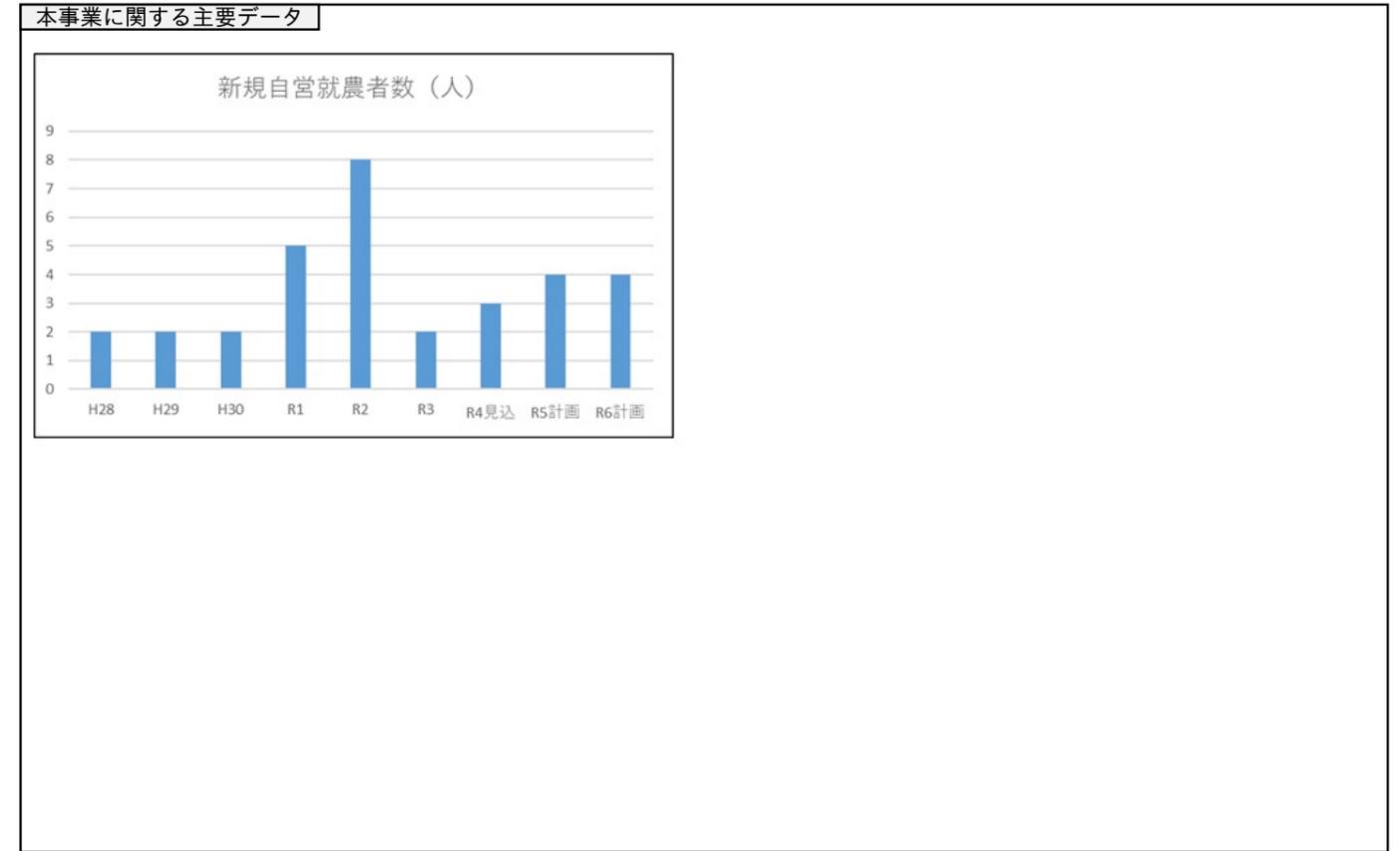
所属	事業名
産業経済部農政課	新規就農施設等整備事業費（ハード）

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	新規就農者等の早期営農安定及び活動促進を図る。	項目（成果指標） 新規自営就農者数（人）	R4実績見込 3	R5計画 4	R6計画 4	目標値 32
	目標（何を達成するのか）					
	必要な施設等整備を行う事業に対し、支援をすることにより、農業の担い手の育成確保を行う。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	事業内容の協議	9月	概算払
	5月	申請、交付決定	10月	実績報告
	6月	入札、契約		
	8月	納品、検査		

事業概要	県単事業で、新規就農者等が施設・機械整備を行うことについて支援するもの。 補助率：1/2（県1/3+市1/6）
	（数値目標の目標年度） 項目名 新規自営就農者数（人）：2029（R11）年度 目標値については、R4からR11までの累計値とする。



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	認定新規就農者の就農計画（5カ年）等に従って整備予定の設備等補助を行う。 4経営体 補助額 5,785千円	認定新規就農者の就農計画（5カ年）等に従って整備予定の設備等補助を行う。 8経営体 補助額 11,335千円	認定新規就農者の就農計画（5カ年）等に従って整備予定の設備等補助を行う。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,785	11,335
	国・県支出金	3,847	7,556
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,938	3,779
歳入合計		5,785	11,335

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	11,335		
事業費計		11,335	

課題	農業者の高齢化や後継者不足が課題となっており、新規自営就農者の確保・育成が求められている中で、経営開始に伴う初期投資が負担となっている。	方向性	新規就農者が経営開始期に必要な設備投資を助成し、初期投資に係る負担軽減を図る。併せて、県やJAなど関係機関と連携し、就農者に対し栽培技術指導などを行う。
----	--	-----	--

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部水産振興課	担い手対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の水産業を推進し、漁家所得の向上や安定化、漁村地域の活性化により、将来にわたって漁業の持続的な発展を図るもの。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		漁獲量（t）（海面・宍道湖・中海）	8,500	9,000	9,200	9,400
	目標（何を達成するのか）	漁業就業者数（人）	920	945	950	964
・漁業就業者数の増加 ・漁村地域の活性化	新規自営漁業者数（人）	7	10	19	80	

事業概要

①新規漁業者の漁船、漁業用機械・機器等の購入に必要な経費への補助（松江市水産業振興事業補助金交付要綱 補助率：事業費の1/2以内、限度額：3年間で300万円）
 ②自営漁業者自立給付金（認定新規漁業者へ生活費の一部として給付金を交付する。給付金は、市から県と市の給付金合計額を交付するもの）補助率：県1/2 市1/2 給付額：50歳未満1,200千円×5年間 50歳以上65歳未満600千円×2年間（松江市自営漁業者自立給付金交付要綱）
 ③沿岸漁業スタートアップ事業補助金（松江市沿岸漁業スタートアップ事業補助金交付要綱 認定新規漁業者が漁船等を整備する際にその経費の一部を助成するもの。補助金は市から県と市の合計額を交付する。補助率：県1/3（上限1,000千円）市1/3（上限1,000千円）

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	自営漁業者自立給付金（4件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（3件）	自営漁業者自立給付金（6件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（5件）	自営漁業者自立給付金（見込み：4件） 沿岸漁業スタートアップ事業補助金（見込み：2件）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	8,305	16,000
	国・県支出金	4,152	8,000
	地方債		
	その他	4,153	2,702
	一般財源	0	5,298
歳入合計		8,305	16,000

課題

・漁業者の高齢化、資源量の減少などにより、漁獲量は年々減少し、漁家所得の不安定さは増々深刻な問題となっている。漁業就業者を増やすため、安定的な経営に向け、対策を講じる必要がある。

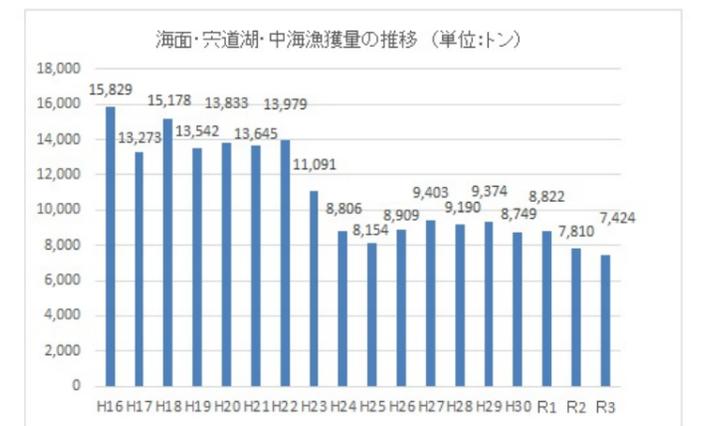
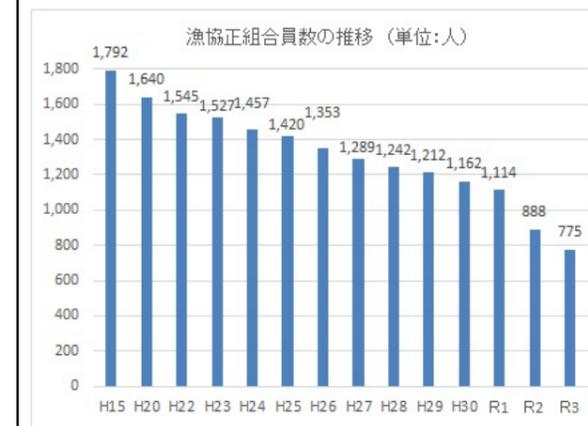
方向性

・若手漁業者の参入に対し、安心して着業できるよう、初期の設備投資などに対する支援を充実させていく。
 ・漁業の複合経営により安定的な経営及び所得の向上が期待できるため、新たに養殖漁業等の複合経営に取り組むための経費について支援を行う。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	自営漁業者自立給付金		
	4月～3月	沿岸漁業スタートアップ補助金		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	16,000		
事業費計		16,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	新規就農者経営発展支援事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	新規就農者を支援し、若い担い手の育成・確保を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		新規自営就農者数（人）	3	4	4	32
	目標（何を達成するのか）					
経営開始資金及び機械・施設等の導入を支援することで、新規就農者の早期経営確立を図る。						

事業概要	就農後の経営発展のための機械・施設等の導入に対する支援。 対象者：49歳以下で令和5年度に新たに農業経営を開始する認定新規就農者。 支援額：補助対象事業費上限1000万円（経営開始資金の交付対象者は、500万円） 補助率：3/4（国1/2+県1/4）
	（数値目標の目標年度） 項目名 新規自営就農者数：2029（R11）年度 目標値については、R4～R11までの累計値とする。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	対象者 2名 補助額 16,881千円 整備内容 農業用ハウス、トラクター、運搬車、野菜移植機、スプリンクラー	対象者 4名 補助額 17,529千円 整備内容 農業用ハウス、鶏舎、管理機	対象者 1名
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

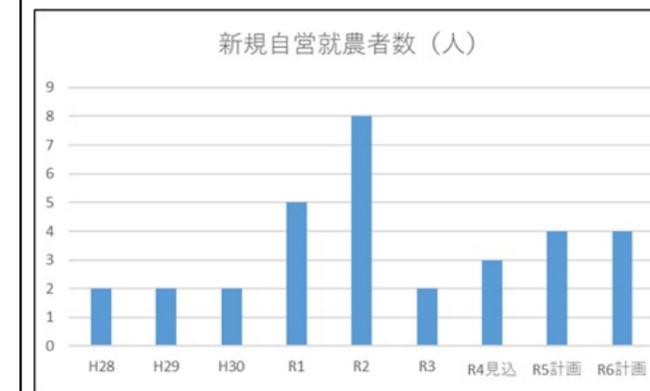
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	16,881	17,529
	国・県支出金	14,329	16,526
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,552	1,003
歳入合計		16,881	17,529

課題	農業者の高齢化や後継者不足が課題となっており、新規自営就農者の確保・育成が求められている中で、経営開始に伴う初期投資が負担となっている。	方向性	農業機械や施設導入に対する補助を行い、早期の経営確立を図るとともに、県、JAと連携して、就農者に対し経営や栽培技術の指導などを行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	地域と食を支える農林水産業の担い手づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	事業内容の協議	10月	納品、検査
	5月	申請	11月	概算払い
	6月	交付決定	1月	実績報告
	7月	入札、契約		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	17,529		
事業費計		17,529	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地域ブランド産地育成事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		そば収穫量（t）	32	75	80	80
	目標（何を達成するのか）	大豆作付面積（ha）	50	55	60	60
松江産農産物の西条柿やそば、加工原材料の大豆等の生産拡大及び販路拡大に取り組む。	西条柿販売額（百万円）		75	85	90	90

事業概要	○目標達成のため各種事業を行う。 【そば】：刈り取り作業に係る経費の一部を補助する。 【大豆】：味噌の加工に使用される出荷量に応じ補助する。 【西条柿】：国内外の販路拡大等の取組を補助する。
	（数値目標の目標年度） 項目名「そば」の収穫量（t）、「大豆」の作付面積（ha）、「西条柿」の販売額（百万円）：2024（R6）年度

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	【そば】高温が続いた影響で、例年より収量が減少する見込み。 【大豆】例年並みの収量の見込み。 【西条柿】例年並みの収量の見込み。	【そば】作付面積の増加並びに、反当収量の増加を図る。 【大豆】作付面積の増加を図る。 【西条柿】国内外の販路拡大を図る。	【そば】作付面積の増加並びに、反当収量の増加を図る。 【大豆】作付面積の増加を図る。 【西条柿】国内外の販路拡大を図る。
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	8,017	9,530
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	8,000	6,000
	一般財源	17	3,530
歳入合計		8,017	9,530

課題	【そば】天候の影響が大きく、収量と質が不安定。 【大豆】作付面積の減少。 【西条柿】国内外の消費者への販路の拡大。	方向性	【そば】そばの収量を上げるため、作付面積の増加や質の向上を図る。 【大豆】国産大豆の需要は増加しており、作付面積の増加を図る。 【西条柿】国内外への販路拡大等を支援する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各品目の事業を適期に遂行する。		

本事業に関する主要データ								
【そば・大豆・西条柿の生産状況推移】								
そば	H29	H30	R1	R2	R3	R4見込	R5計画	
作付面積(ha)	176	157	155	150	136	123	140	
収穫量(t)	49.8	35.8	35.8	70.6	22.0	32.0	75.0	
大豆	H29	H30	R1	R2	R3	R4見込	R5計画	
作付面積(ha)	42	35	38	35	45	50	55	
収穫量(t)	70	50	60	52	37	77	85	
西条柿	H29	H30	R1	R2	R3	R4見込	R5計画	
生産戸数(戸)	153	149	144	144	144	144	144	
作付面積(ha)	40	40	40	40	40	40	40	
販売額(百万円)	87	72	62	74	65	75	85	

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,156		
職員手当等	449		
共済費	411		
旅費	24		
負担金補助及び交付金	6,490		
事業費計		9,530	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	松江大根島牡丹振興対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江大根島牡丹の産地維持・振興を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		産出額（百万円）	161	182	190	190
	目標（何を達成するのか）	生産戸数（戸）	60	61	65	65
	・販路拡大による農家所得の向上。 ・新規就農者の早期経営安定。	出荷量（万本）	40	44	44	44

事業概要	松江大根島牡丹の生産振興を図るため、以下の事業を実施する。 ・国内外の販路拡大に向けた取組を支援。 ・土壌病害虫対策として、消毒剤の購入に対する支援。 ・新規就農者への苗の供給に対する支援。
	（数値目標の目標年度） 項目名 産出額（百万円）、生産戸数（戸）：2024（R6）年度

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③新規就農者の早期経営安定の取組を支援。	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③新規就農者の早期経営安定の取組を支援。	販路拡大、担い手確保の取組を継続して支援し、産地維持を図る。 ①国内外の販路拡大を支援。 ②土壌病害虫対策を支援。 ③新規就農者の早期経営安定の取組を支援。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		3,868	3,895
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,868	3,895
歳入合計		3,868	3,895

課題	・高齢化、後継者不足により生産戸数、出荷量とも減少傾向。 ・収益向上、所得の安定、新規就農者の掘り起こしに向けた取組が必要。	方向性	・国内外の販路拡大の取組を支援する。 ・研修生の受け入れなど、就農しやすい環境づくりを進め、新規就農者の獲得・定着を支援する。 ・組織的な生産・販売体制の構築等、産地維持に向けた取組を支援する。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	牡丹切花品評会助成	9月～1月	首都圏・関西圏販路拡大支援
	6月～11月	土壌病害虫対策確立支援		
	4月～3月	輸出販路拡大支援（台湾）		
	8月～12月	新規就農者経営安定早期安定対策支援		

本事業に関する主要データ

【松江大根島牡丹 生産戸数推移】

	R1	R2	R3	R4見込	R5計画
生産戸数(戸)	68	63	60	60	61

松江大根島牡丹 出荷量推移

	R1	R2	R3	R4見込	R5計画
出荷量(万本)	60	53	48	40	44

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	901		
需用費	15		
役務費	97		
委託料	50		
負担金補助及び交付金	2,832		
事業費計		3,895	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	地場農産物生産・消費拡大推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地産地消の推進および契約栽培農家の経営安定を図る。	項目（成果指標） 学校給食全品目地場産比率（%）	R4実績見込 43.0	R5計画 44.0	R6計画 44.0	目標値 44.0
	目標（何を達成するのか）					
	・学校給食における地場産比率向上。 ・契約栽培の拡大。 ・食育の推進。					

事業概要	<p>地産地消を推進し生産者の経営安定を図ることを目的に、契約栽培による納入について価格補填を行う。</p> <p>（数値目標の目標年度） 項目名 学校給食全品目地場産比率（%）：2024（R6）年度</p>
------	--

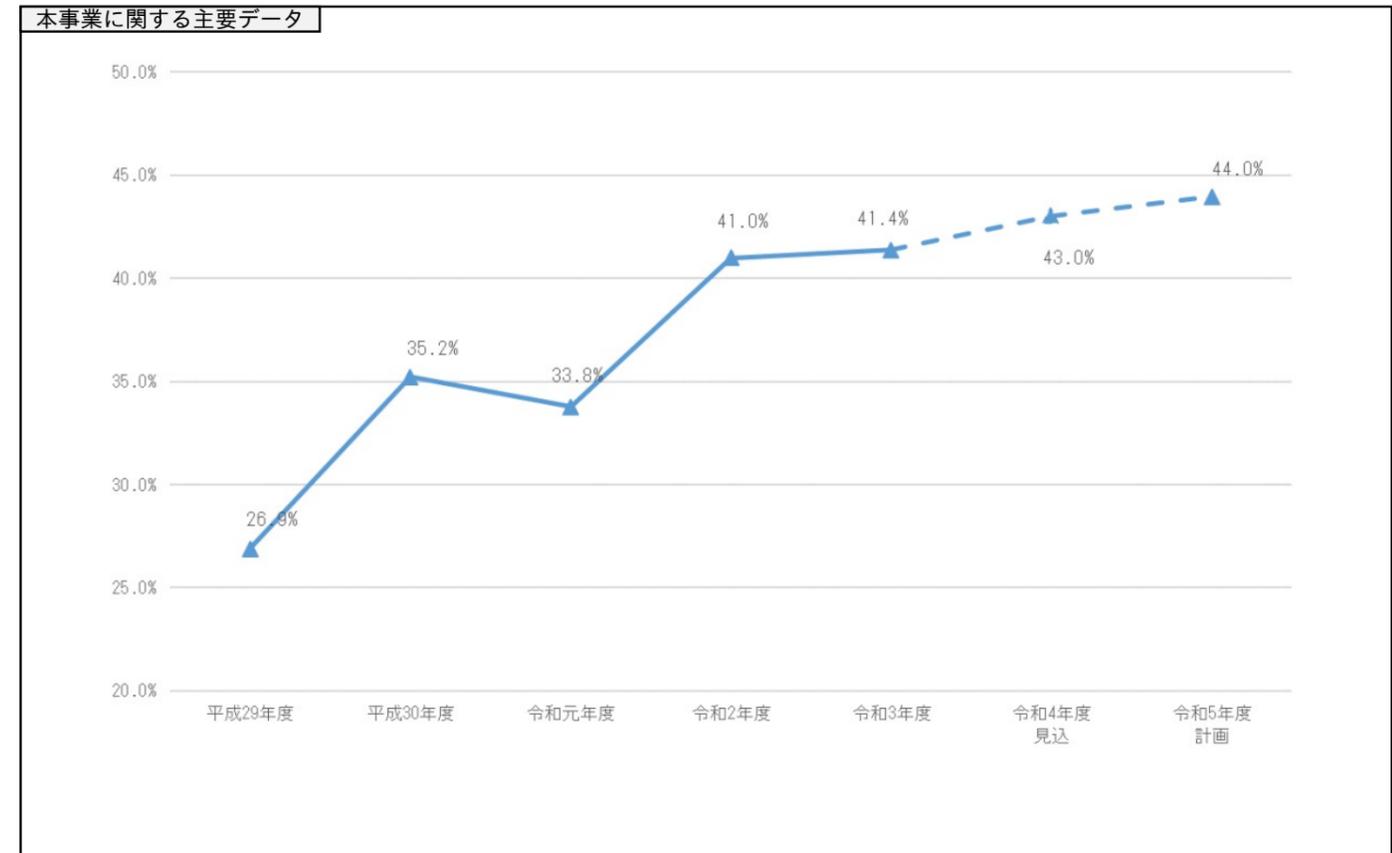
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培による白菜の納入を小規模センターにも拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 学校給食会の栄養士とともにキャベツの畝立て、定植の様子を視察し、生産者へのインタビューや意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 契約栽培を拡大し、全品目の地場産比率向上に繋げる。
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		4,862	6,484
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	4,862	6,484
歳入合計		4,862	6,484

課題	<ul style="list-style-type: none"> 納入規格を満たす契約栽培野菜の収量の確保。 契約栽培野菜の保存方法が確立されていないため、供給期間の拡大が図れない。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 栽培指導等による収量拡大を図る。 学校給食全品目の地場産比率向上に向け、契約栽培品目の拡大を図る。 関係機関で意見交換などにより課題を共有し、課題解決を図る。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	学校給食とJAとの物資納入契約		
	通年	契約栽培の維持拡大に向けた生産者へのアプローチ		
	通年	契約栽培打ち合わせ会		
	通年	規格目合わせ・意見交換会		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,484		
事業費計		6,484	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部水産振興課	アワビ資源調査事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	放流後のアワビの放流効果の検証と、今後の効果的な放流個数及び放流方法を検討するため、潜水調査による調査を実施する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		アワビ種苗市内出荷数	53,950	53,950	60,100	291,600
	目標（何を達成するのか）					
アワビの漁獲量の増大。						

事業概要	【潜水調査を予定している島根町海域】
	○地形調査 水深、海底地形（低質）、藻場等のアワビの生息環境に関するデータ収集。 ○潜水調査 スキューバ潜水によりアワビ類の生息状況（種類、大きさ、生息密度等）、藻場の植生、外敵生物（魚類、タコ類、ヒトデ類等）の調査。 ○捕獲調査 スキューバ潜水により、目視で確認されたアワビを全て捕獲し、種類、殻長、グリーンマーク（放流痕）の有無等の調査。

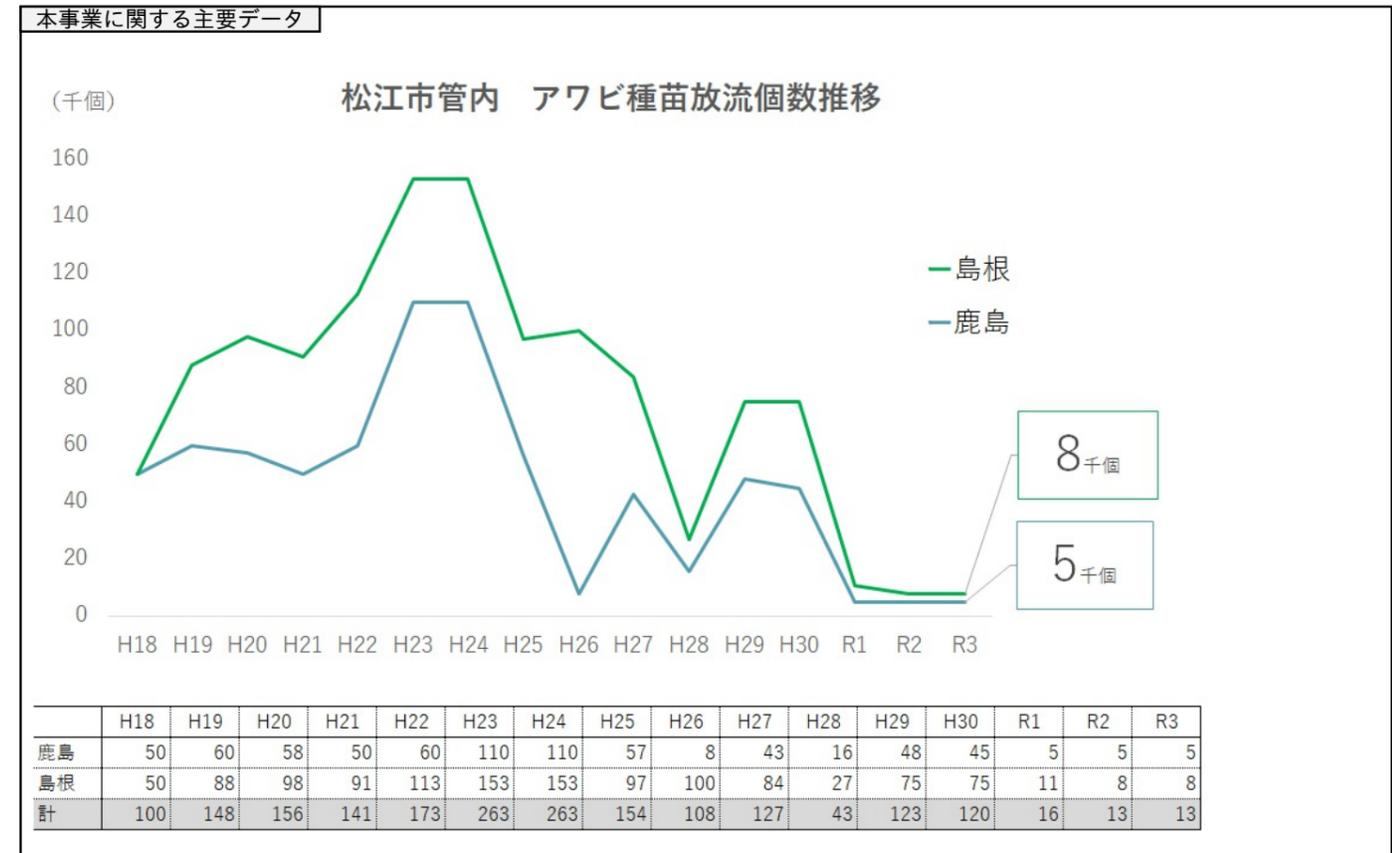
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
		調査海域の地形調査、潜水調査、捕獲調査を行い、効果的な種苗放流数の提言 ・沿岸部海域における適正放流尾数。 ・効果的な放流方法及び放流時期、放流場所等 ・アワビ種苗放流がもたらす効果 ・「松江市アワビ放流マニュアル(仮称)」作成に向けた素案	・沿岸部海域における適正放流尾数。 ・効果的な放流方法及び放流時期、放流場所等 ・アワビ種苗放流がもたらす効果 ・「松江市アワビ放流マニュアル(仮称)」作成
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		500
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	500
歳入合計		0	500

課題	令和4年12月にアワビが絶滅危惧種に指定された。また、地球温暖化の影響で海水温の上昇が著しく、アワビの生態系を取り巻く環境が悪化している。	方向性	自然環境に適応した放流数の把握。
----	---	-----	------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	アワビ資源調査（島根町海域）		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	500		
事業費計		500	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農政課	松江市重点推進品目奨励事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市の重点推進品目の生産拡大を中山間地域を含めた市内全域で推進し、産地化を図ることで、小規模農家の所得向上、地産地消の推進に繋げ、農村地域の維持活性化を図る	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		「南瓜」の販売額（千円）	13,886	16,738	24,300	24,300
	目標（何を達成するのか）					
・「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大による産地化 ・小規模農家の所得向上 ・地産地消の推進						

事業概要	<p>市の重点推進品目である「南瓜（ブラックのジョー）」を中山間地域を含めた市内全域で生産拡大し、産地化を図るため、JAを通じて市場出荷する農家に対し、出荷箱数に応じて奨励金を交付する。「南瓜（ブラックのジョー）」の市場出荷品に対し、一箱（10kg入り）当たり500円の補助金を交付する。</p> <p>（数値目標の目標年度） 項目名「南瓜」の販売額（千円）：2024（R6）年度</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>R3年度に引き続き、中山間地域の小規模農家でも取り組みやすく、市場評価も高く需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大を図り特産化を推進した。 ※R4年度から新規に引き合いのある市場と取引を開始し、販路拡大を図った。 ※新たな作型として7月定植を試行的に実施し、出荷期間を延ばす取組を行った。</p> <p>【R4年】 栽培面積1,017 a 販売額13,886千円</p>	<p>R4年度に引き続き、中山間地域の小規模農家でも取り組みやすく、市場評価も高く需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大を図り特産化を推進していく。 ※R4年度に施行的に実施した新たな作型（7月定植）の取組を本格実施し、出荷期間を延ばすことで生産量の拡大を図っていく。</p> <p>【R5年】 栽培面積1,056 a 販売額16,738千円</p>	<p>R5年度に引き続き、中山間地域の小規模農家でも取り組みやすく、市場評価も高く需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」の生産拡大を図り特産化を推進していく。 ※圃場選定や栽培指導を徹底することで各生産者の出荷率を高め生産量の拡大を図っていく。</p> <p>【R6年】 販売額24,300千円</p>
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,800	3,563
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	2,800	3,563
歳入合計		2,800	3,563

課題	<p>・地域農業の持続性の確保が危惧される中、引き続き、農地の集積・集約化による大規模な担い手育成を継続しながら、中山間地域を中心とした採算性が厳しい地域への支援が必要である。 ・小規模農家の多い中山間地域では、担い手の高齢化、担い手不足、遊休農地の増加といった課題が年々深刻さを増し、このままでは地域としての維持も困難になることが危惧される。</p>	方向性	<p>・中山間地域など規模拡大がむずかしい環境にある小規模農家や家族経営、兼業農家でも取り組みやすく、需要のある品目である「南瓜（ブラックのジョー）」を市内全域で生産拡大し、小規模農家の所得向上、地産地消の推進に繋げていく。</p>
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	売れる農林水産物の生産振興と消費・販路拡大

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	R5.3月	JA栽培講習会の実施	R6.1月	補助金交付申請（実績）、交付決定、確定通知
	R5.6月	出荷目合わせ会の実施	R6.3月	補助金支払
	R5.7～8月	JA現地講習会の実施		
	R5.12月	栽培者反省会の実施（改善事項の説明）		

本事業に関する主要データ																												
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>松江市重点推進品目の生産振興について</p> <ol style="list-style-type: none"> 品目名 かぼちゃ（品種：ブラックのジョー） かぼちゃの魅力 国内で流通する「かぼちゃ」のほとんどは、ニュージーランド産やメキシコ産の外国産です。国内産は、北海道産や九州産で占められています。このことから、国内産又は島根県産のニーズは高く、有利に取り引きできます。 かぼちゃ栽培のメリット <ul style="list-style-type: none"> (1) 水稲と競合作業が少ない (2) 他の野菜と比較し栽培管理の労力が少ない (3) 松江市全域で取り組むことができる (4) 計画的に出荷作業ができる (5) 生産から販売までの支援体制が整っている (6) 市場評価が高く、需要の見込める品目 </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>JAくにびき 松江市重点推進品目課</p> </div> </div>																												
<p>JAくにびき 「南瓜」生産状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生産者数（人）</th> <th>栽培面積（a）</th> <th>販売額（千円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>16</td> <td>200</td> <td>1,713</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>38</td> <td>320</td> <td>5,713</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>50</td> <td>450</td> <td>11,861</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>50</td> <td>828</td> <td>10,622</td> </tr> <tr> <td>R4（見込み）</td> <td>55</td> <td>1,017</td> <td>13,886</td> </tr> <tr> <td>R5（目標）</td> <td>55</td> <td>1,056</td> <td>16,738</td> </tr> </tbody> </table>	年度	生産者数（人）	栽培面積（a）	販売額（千円）	H30	16	200	1,713	R1	38	320	5,713	R2	50	450	11,861	R3	50	828	10,622	R4（見込み）	55	1,017	13,886	R5（目標）	55	1,056	16,738
年度	生産者数（人）	栽培面積（a）	販売額（千円）																									
H30	16	200	1,713																									
R1	38	320	5,713																									
R2	50	450	11,861																									
R3	50	828	10,622																									
R4（見込み）	55	1,017	13,886																									
R5（目標）	55	1,056	16,738																									

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,563		
事業費計			3,563

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	国・県土地改良事業負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業生産性向上により農業所得の増大を実現し、農業農村の活性化を図るため県営土地改良事業を着実に遂行する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	県営土地改良事業で農業生産基盤を整備することにより農業生産性の向上を実現し、農業所得の増大を目指す。そのための事業費に対し、応分の負担をする。	県営土地改良事業件数（件）	8	9	8	8
	目標（何を達成するのか）					

事業概要
 事業化となった県営土地改良事業について、国の示す負担割合のガイドラインに基づき応分の事業負担金を支出するもの。
 （県営基幹水利施設管理事業、県営ため池等整備事業、県営水利施設等保全高度化事業、県営農業競争力強化農地整備事業、県営農地中間管理機構関連農地整備事業等）

	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	水利施設等保全高度化事業 ・西潟ノ内地区 経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区 ・西谷上地区 ・古曾志地区 ・大野地区 県営ため池整備事業 ・井頭2号地区 ・寺領地区 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・損屋地区 の各県営事業を実施し、応分の経費を負担予定 達成度 1 計画目標に向けて順調に推移	水利施設等保全高度化事業 ・西潟ノ内地区 経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区 ・古曾志地区 ・大野地区 県営ため池整備事業 ・小谷奥池 ・高原下池 ・義王池 ・山崎池 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・損屋地区 の各県営事業を実施し、応分の経費を負担予定	経営体育成基盤整備事業（農業競争力強化農地整備、農地中間管理機構関連農地整備） ・新庄地区 ・古曾志地区 ・大野地区 県営ため池整備事業 ・小谷奥池 ・高原下池 ・義王池 ・山崎池 国営造成施設管理事業（基幹水利施設管理事業） ・損屋地区 の各県営事業を実施し、応分の経費を負担予定

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	98,007	164,525
	国・県支出金	5,534	3,757
	地方債	56,500	125,000
	その他	32,371	22,175
	一般財源	3,602	13,593
歳入合計		98,007	164,525

課題	方向性
【ほ場整備】 県全体で20地区以上の整備要望があり、今後の新規採択要件に適應するためには県推進6品目の栽培を強化する必要がある。 【ため池整備】 整備要件の見直しで追加となった防災重点ため池の豪雨・耐震の調査をした結果、改修が必要なため池が増加したため、優先順位を付けて計画的に改修する必要がある。	農業生産基盤の整備により、農業生産性の向上および農業所得の増大を実現するため、県営事業を積極的に活用しながら整備や老朽化した施設の更新を進めていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～7月	島根県との費用負担協議・同意		
	10月	前期負担金の納付		
	3月	県工事完了、後期負担金の納入		

本事業に関する主要データ

【県営事業一覧表】

補助事業	地区名	工種	事業期間	R1	R2	R3	R4	R5
県営水利施設等保全高度化事業	西潟ノ内	排水機場整備	H30～R5	調査・設計・工事				
	損屋第二	用水加圧ポンプ改修	H30～R3	調査・設計・工事				
経営体育成基盤整備事業 (農業競争力強化農地整備事業) (農地中間管理機構関連農地整備事業)	新庄	ほ場整備	H30～R8	調査・設計・工事				
	西谷上		H30～R6	調査・設計・工事				
	古曾志		R2～R9	調査・設計・工事				
	大野		R3～R8	調査・設計・工事				
県営ため池等整備事業	井頭2号	ため池改修	R1～R5	調査・設計・工事				
	寺領		R2～R6	調査・設計・工事				
県営防災重点農業用ため池緊急整備事業	小谷奥		R5～R8				調査・設計・工事	
国営造成施設管理事業 (基幹水利施設管理事業)	損屋	排水機場管理	H26～R8	排水機場管理				

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	164,525		
事業費計			164,525

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	ふるさと農道緊急整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農業生産物及び農業用資材の輸送・運搬時間短縮による農業経営の合理化と生活道路ならびに緊急避難道路として整備することによる生活環境の改善を図るため。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 農業生産性の向上と市民生活の安心・安全の確保	上根尾上農道整備済延長（m）	225	333	433	900
		上根尾上農道整備率（%）	25.0	37.0	48.1	100
上根尾上農道単年度整備延長（m）		0	108	100	80	

事業概要	<p>集落間の狭小な農道を整備し、農作物輸送と農業用資材運搬の時間短縮による農業経営基盤の合理化を図るとともに、生活道路・緊急時の避難道路として整備し、生活環境の改善と市民生活の安心・安全の確保に資するもの。</p> <p>上根尾上農道 全整備延長L=900m 笠白農道 全整備延長L=257m（R1完成）</p>
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	上根尾上農道（R4年度） ・埋蔵文化財調査 上根尾上農道（R5早着） ・埋蔵文化財調査報告書作成	上根尾上農道 ・改良工事 L=108m	上根尾上農道 ・改良工事 L=100m
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	10,669	36,820
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	33,100
	その他	0	0
	一般財源	10,669	3,720
歳入合計		10,669	36,820

課題	上根尾上農道は、地すべり区域内での事業であり、現場状況に応じ、対策をとりながらの施工となることから、工期の延伸と事業費の増加が想定される。	方向性	工事の安全性を確保しながら、早期の全線開通に努める。
----	---	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

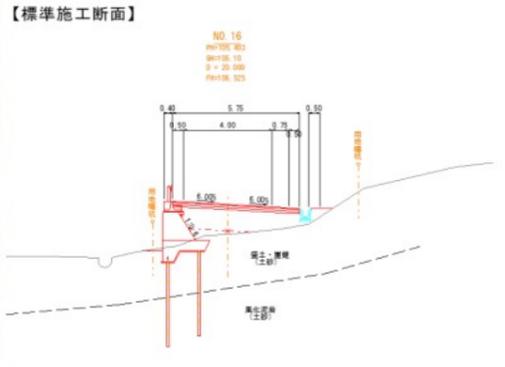
R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	工事発注		
	11月	工事完了		

本事業に関する主要データ

工事名：上根尾上農道改良工事




【標準施工断面】



施工延長 L=108m
 道路側溝工 L=66.0m
 重力式擁壁 L=22.4m
 ルートパイル N=65本
 ガードレール L=79.1m
 舗装工 A=590㎡

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	36,820		
事業費計			36,820

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	有害鳥獣駆除対策補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	有害鳥獣から農作物を守り、被害を減少させる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		有害鳥獣イノシシの捕獲頭数（頭）	1,300	1,000	1,200	1,200
	目標（何を達成するのか）	鳥獣侵入防護柵設置延長（m）	38,246	36,000	38,000	38,000
イノシシ、ニホンジカなど有害鳥獣の捕獲（個体数調整）、および耕作地の被害防護柵の設置を行い、農作物被害を減少させる。		農作物の被害額（千円）	4,877	4,420	4,260	4,420

事業概要	<p>イノシシ・ニホンジカ・アナグマ等の有害鳥獣による農作物被害を防止</p> <p>①捕獲（駆除）員へ捕獲（駆除）の活動依頼 ②捕獲（駆除）員への有害鳥獣捕獲奨励金 ③農業従事者が設置する防護柵の設置支援 ④松江市鳥獣被害対策実施隊の活動支援 ⑤捕獲（駆除）員になるための狩猟免許取得促進</p> <p>数値の目標については、令和5年3月に定める次期鳥獣被害防止計画で定める予定</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>有害鳥獣捕獲 イノシシ1300頭、ニホンジカ41頭、アナグマ273頭。 防護柵購入補助 新規90件、延長26,490m 狩猟免許取得促進16人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置7か所、延長11,756m</p>	<p>イノシシ1000頭、ニホンジカ30頭、アナグマ200頭。 防護柵購入補助 新規90件、延長26,000m 狩猟免許取得促進16人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置4か所、延長10,000m</p>	<p>イノシシ1200頭、ニホンジカ35頭、アナグマ220頭。 防護柵購入補助 新規90件、延長26,000m 狩猟免許取得促進16人 別途【松江市鳥獣被害防止対策協議会事業】 広域防護柵設置5か所、延長12,000m</p>
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	29,540	25,917
	国・県支出金	6,401	6,381
	地方債		
	その他		0
	一般財源	23,139	19,536
歳入合計		29,540	25,917

課題	有害鳥獣による農作物被害は、市全域に広がりを見せている。被害防除、捕獲駆除対策をしているが農作物の被害報告は無くならない。	方向性	引き続き、有害鳥獣の捕獲と防護柵の設置に対する支援を行い、併せて、国の交付金を利用した広域防護柵の設置を地域住民と協議しながら行っていく。また、今後は地域研修会を通じ、住民に鳥獣被害対策への意識を高め、地域の対策リーダーや捕獲員の人材確保、育成を行う。さらに捕獲した有害鳥獣の利活用として、イノシシ肉の資源化の普及啓発に力を入れる。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～9月	防護柵事業受付	秋頃	ジビエ利用推進事業
	4～10・3月	鳥獣捕獲奨励事業	2月	狩猟免許取得促進事業
	随時	鳥獣被害対策地域研修会開催		
	随時	広域防護柵設置支援事業受付		

本事業に関する主要データ

被害金額（千円）

鳥獣別被害（千円）

【鳥獣被害防止地域研修会】

【ジビエ普及イベント】

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	25,917		
事業費計			25,917

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	県営事業負担金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	森林整備計画に基づき、林業専用道上来待線の開設により、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	開設工事3工区整備延長累計（m）	1,544	2,285	2,685	3,260	
	目標（何を達成するのか）					
・森林資源の開発 ・地域における生活環境の整備						

事業概要

森林資源の開発と地域における生活環境の整備のため、県営林業専用道上来待線に係る経費の10%を負担するもの。（事業主体は島根県）

林業専用道上来待線 総延長8.36km（幅員3.5m）
 内訳 1工区 3.20km（工事：2工区終了後）
 2工区 1.90km（工事：R8以降）
 3工区 3.26km（工事：R2～R7）

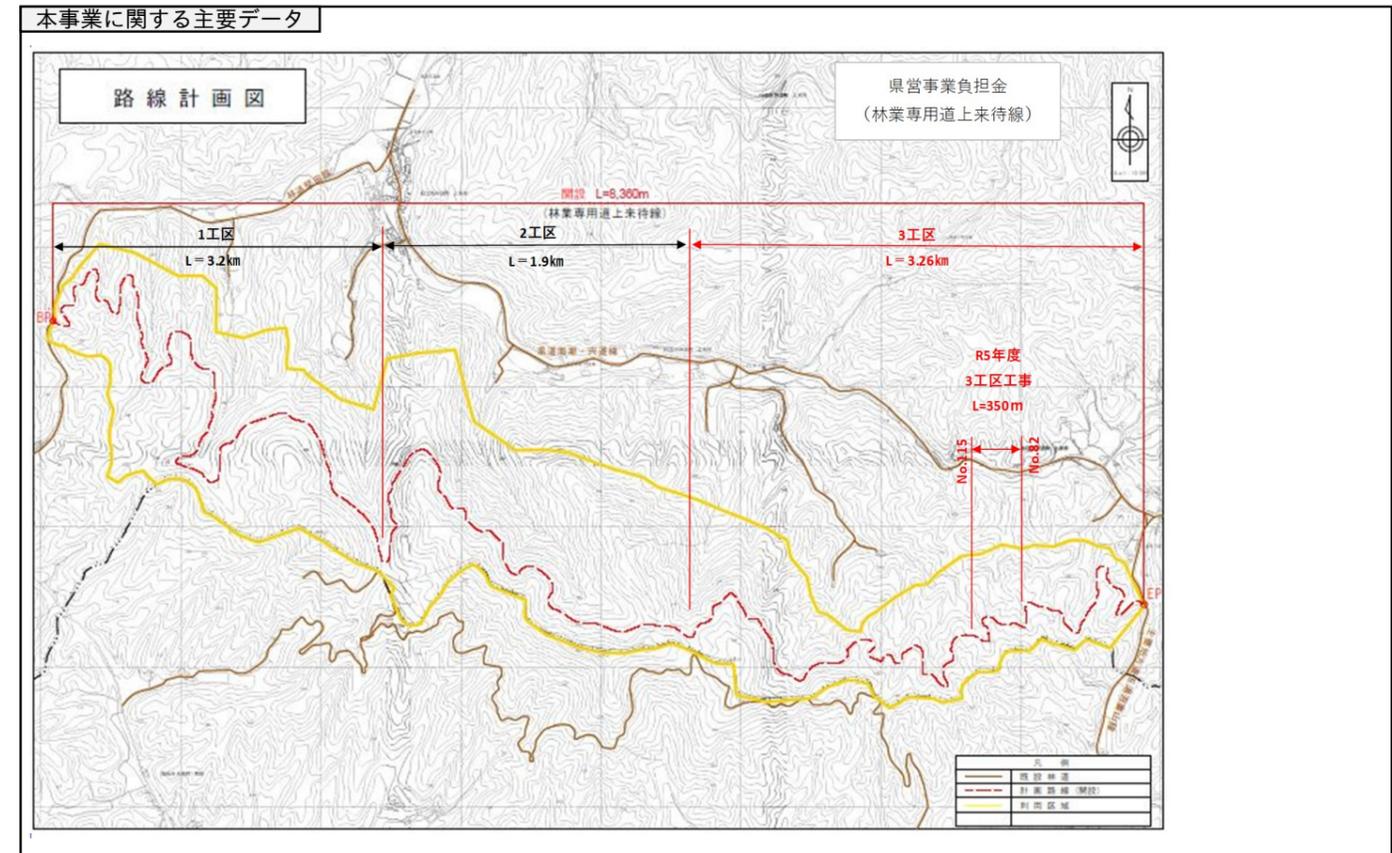
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	開設工事（3工区） 単年度 1,225m 累計 1,544m	開設工事（3工区） 単年度 741m 累計 2,285m	開設工事（3工区） 単年度 400m 累計 2,685m
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	12,000	4,000
	国・県支出金	0	0
	地方債	12,000	4,000
	その他	0	0
	一般財源	0	0
歳入合計		12,000	4,000

課題	方向性
林道整備の促進により、森林整備面積を計画的に増加させることが求められる。	計画的な整備を実施し、R11年度までに全線開通を目指す。 また、林道の供用開始により計画的な森林資源の活用を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	当該年度実施承諾		
	10月	負担金第1回支払い（70%）		
	3月	負担金第2回支払い（30%）		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,000		
事業費計			4,000

令和5年度 総合計画実施計画

産業経済部農林基盤整備課 林道開設事業費（補助）

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	林道開設事業費（補助）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	林道及び林業専用道を開設することにより、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。	項目（成果指標） 林業専用道朝酌大海崎線累計完成延長（m）	R4実績見込 0	R5計画 0	R6計画 900	目標値 3,600
	目標（何を達成するのか）					
林業専用道朝酌大海崎線開設（W=3.6m）全延長3,600m						

事業概要
 松江市森林整備計画に基づき実施する。林業専用道を開設することにより、効率的な林業の施業を可能とし、森林資源の開発と森林整備の加速化を図る。
 林業専用道朝酌大海崎線 事業計画期間R3～R9 延長L=3,600m 幅員W=3.6m
 令和3年度林業専用道朝酌大海崎線測量調査設計業務委託において、路線延長L=3,400mからL=3,600mに変更した。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<林業専用道朝酌大海崎線> ・詳細設計業務 L=3,600m ※200m延長し、 3,400+200=3,600mへ変更 ・用地測量業務 N=1式 ・環境調査業務 N=1式	<林業専用道朝酌大海崎線> ・用地測量業務 N=1式 ・補償調査業務 N=1式	<林業専用道朝酌大海崎線> ・開設工事 L=900m
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	77,613	40,500
	国・県支出金	38,500	20,000
	地方債	35,200	18,400
	その他	0	0
	一般財源	3,913	2,100
歳入合計		77,613	40,500

課題
 既設の林道滑線は幅員が狭く、大型機械の進入が困難なため、小型機械での施業となり、コストが高む。
方向性
 令和2年度末に大海崎町と上宇部尾町の山林を縦貫する林業専用道滑線を竣工し、令和3年度から朝酌町と大海崎町を結ぶ林業専用道を開設することで、大型機械を導入し集約化と路網整備を進展させて低コスト化を図り、持続的な森林経営の確立及び市産材の安定供給体制の構築に資する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	林野庁設計協議	3月	補助金検査
	4～8月	業務委託 積算、発注、入札、契約		
	9月	地元説明		
	2月	R6年度事業ヒアリング		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	41		
需用費	459		
委託料	40,000		
事業費計		40,500	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	農業用ため池改良事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ため池堤防決壊等の事故から人命、財産を守るとともに農業用水の安定供給の確保のため、計画的に老朽ため池の改修と廃止を行い、適切な維持管理を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	ため池改修・補修工事数（池）	0	5	1	2
		ため池廃止工事数（池）	3	3	4	4
ため池の破損箇所の改修、農業用として利用されなくなった池の廃止を行うことによる住民の安心・安全の確保と用水の安定供給を図る。						

事業概要	<p>県営、団体営事業の対象とならない老朽ため池を単独ため池安全確保事業で整備する。決壊した場合に、下流の人家や公共施設等に影響を与える恐れがあるため池を農業水路等長寿命化・防災減災事業等により整備及び廃止する。</p>
------	--

	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	(R3繰越分) 【ため池廃止】 6池 ・柿廻下池（古志町） 設計＋工事 ・柿廻上池（古志町） 設計＋工事 ・古道2号池（穴道町） 工事 ・トサキ池（八雲町） 設計 ・金山池（東出雲町） 設計 ・トビガス池（穴道町） 設計 【ため池改修】 1池 ・一丁田池（玉湯町） 設計 (R4当初分) 【ため池廃止】 1池 ・古志池（古志原三丁目）地籍調査1年目	(R4繰越分) 【ため池改修】 1池 ・長坂池（美保関町） 工事 (R5当初分) 【ため池廃止】 9池 ・トサキ池（八雲町） 工事 ・トビガス池（穴道町） 工事 ・金山池（東出雲町） 工事 ・穴道池（穴道町） 設計 ・清蔵池（八雲町） 設計 ・樋ノ口池（穴道町） 設計 ・島田池（東出雲町） 設計 ・古志池（古志原三丁目）地籍調査2年目 ・鯛ヶ廻池（西浜佐陀町）境界確定 【ため池改修・修繕】 5池 ・一丁田池（玉湯町） 工事 ・宇出下池（鹿島町） 工事 ・柴尾池（西尾町） 工事 ・納田池（鹿島町） 工事 ・光谷池（鹿島町） 設計	【ため池廃止】 8池 ・清蔵池（八雲町） 工事 ・穴道池（穴道町） 工事 ・樋ノ口池（穴道町） 工事 ・島田池（東出雲町） 工事 ・観音寺池（八幡町） 設計 ・才の峠池（馬瀧町） 設計 ・鏡谷池（東持田町） 設計 ・宇出上池（鹿島町） 設計 【ため池改修・修繕】 4池 ・光谷池（鹿島町） 工事 ・殊勝田池（東忌部町） 設計 ・中原池（穴道町） 設計 ・堂田池（穴道町） 設計
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	61,027	117,732
国・県支出金	47,550	97,642
地方債	1,200	9,900
その他	77	458
一般財源	12,200	9,732
歳入合計	61,027	117,732

課題	<p>整備・廃止の必要箇所が多数あり、優先順位をつけて実施する。市街化区域内のため池は決壊による下流域への被害が大きく、早急な対応が必要であるが、廃止後の維持管理や跡地利用などの検討課題が多いため、市単独費により廃止を実施する必要がある。</p>	方向性	<p>ため池の健全度、決壊時の下流域への影響度等を考慮し、優先順位を決め各年度2池程度を目標に改修・修繕する。ため池廃止は地元調整が整い、周辺の土地に影響を及ぼさない池から随時実施する。</p>
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	交付申請	11月	廃止設計完了
	6月	交付決定、廃止設計・工事発注	3月	改修工事完了
	8月	改修工事発注		
	10月	廃止工事完了		

本事業に関する主要データ

【ため池廃止工事施工例】（堤体開削）



(R4繰越分)
 【ため池改修】 1池
 ・長坂池（美保関町） 工事

【ため池廃止】 9池
 ・トビガス池（穴道町） 工事
 ・トサキ池（八雲町） 工事
 ・金山池（東出雲町） 工事
 ・清蔵池（八雲町） 設計
 ・穴道池（穴道町） 設計
 ・樋ノ口池（穴道町） 設計
 ・島田池（東出雲町） 設計
 ・古志池（古志原三丁目） 地籍調査
 ・鯛ヶ廻池（西浜佐陀町） 境界確定

【ため池改修・修繕】 5池
 ・一丁田池（玉湯町） 工事
 ・宇出下池（鹿島町） 工事
 ・柴尾池（西尾町） 工事
 ・納田池（鹿島町） 工事
 ・光谷池（鹿島町） 設計

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	27,720		
工事請負費	90,012		
事業費計		117,732	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部農林基盤整備課	森林環境譲与税関連事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	森林の公益的機能（地球環境保全機能、水源涵養機能、生物多様性保全機能、土砂災害防止機能等）の保全と林業の成長産業化	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	松江森林組合新規作業員（人/年）	2	1	1	1
	・民有林（私有林・市有林）整備の促進 ・木材の有効利用促進 ・林業を支える人材育成・担い手の確保 ・林業の普及啓発	新植及び保育面積（ha/年）	75	90	90	90
		森林経営管理制度再委託（件/年）	0	2	1	1

事業概要
 温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された森林環境譲与税を活用し、松江市内の森林整備、林業担い手の育成・確保、木材の利用促進、林業の普及啓発に関する事業を実施する。
 ○林業総務一般経費・・・適切な森林管理によるCO2等の吸収量をクレジットとして国が認証する「J-クレジット制度」に参加するための「森林管理プロジェクト」認証手続き業務委託。
 ○森林管理運営費・・・地域林政アドバイザー雇用経費や森林経営推進センターへの森林経営管理制度サポート業務委託、航空レーザ計測による森林資源解析業務など。
 ○地域林業振興費・・・民有林整備や林業の担い手育成・確保、木材有効利用促進事業等への補助金、市民による森林整備促進を図る森林・林業普及啓発活動事業など。
 ○森林整備費・・・災害による倒木や林道内へ流出した土砂等を除去し、森林環境の維持・保全を図る森林整備環境保全事業、松江市有林整備事業など。
 松江市の民有林面積 A=29,029ha、うち人工林7,426ha

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、松江市産材活用補助金などの林業関係事業補助金 航空レーザ計測による森林資源解析 航空レーザ計測結果を活用した森林経営管理制度経営管理意向調査 森林経営管理制度経営管理権集積計画・配分計画の策定 林業に関する講演会 市内小学校での森林学習 木育活動（幼稚園・保育園へのツリー配布） 	<ul style="list-style-type: none"> J-クレジット制度の「森林管理プロジェクト」認証手続き業務委託 林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金などの林業関係事業補助金 航空レーザ計測による森林資源解析事業 森林経営管理制度経営管理意向調査 森林経営管理制度経営管理権集積計画 配分計画の策定、再委託 市内小学校での森林学習 木育活動（幼稚園・保育園へのツリー配布） 県産材を利用した橋梁修繕工事 	<ul style="list-style-type: none"> 林業事業体担い手補助金、民有林拡大造林補助金、木材有効利用促進補助金、林業機械等購入補助金、松江市産材活用補助金、森林づくり活動支援事業補助金などの林業関係事業補助金 航空レーザ計測による森林資源解析事業 森林経営管理制度経営管理意向調査 森林経営管理制度経営管理権集積計画・配分計画の策定、再委託 市内小学校での森林学習 木育活動（幼稚園・保育園へのツリー配布）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	64,397	84,123
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,013	20,636
	一般財源	63,384	63,487
	歳入合計	64,397	84,123

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> 外材輸入に伴う木材価格下落により国内の林業は長く低迷し、林業担い手の減少や森林所有者の経営意欲低下を招いている。林業の成長産業化に向けた実効性のある取組みの強化が課題となっている。 適切な森林整備が行われず、公益的機能が損なわれた荒廃人工林の増加は、流木や土砂崩れなどの災害を引き起こす一因となっており、災害防止の観点からも早急かつ継続した森林整備の実施が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税を活用した適切な森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発事業を行うことにより、「森林の公益的機能保全と林業の成長産業化」を図る。 森林環境譲与税の活用による新たな成果を積み上げていく。（例：林業事業体雇用数の増、森林整備面積、木材搬出材積の増、路網整備、普及啓発イベント回数等）。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	次世代へつなぐ収益性の高い生産基盤づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	「J-クレジット制度」森林管理プロジェクト認証手続き	9月～1月	市内小学校での森林学習
	4月～3月	各種補助金申請受付、審査、交付決定、確認検査、支払	12月	木育事業（市内幼稚園、保育園へのツリー配布）
	4月～3月	森林経営管理制度対象森林調査選定、所有者交渉、事務手続き	5月	事業費残額の基金積立
	4月～3月	航空レーザ計測による森林資源解析		

本事業に関する主要データ

森林環境譲与税 松江市配分額の推移 (R4年9月時点の譲与基準により算定)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6～
配分額（千円）	23,708	50,380	50,402	64,934	64,934	79,689

森林環境譲与税を活用した事業



J-クレジット制度

適切な森林管理によるJ-クレジット制度参加



民有林(私有林・市有林)整備事業



林業担い手の育成・確保



高性能林業機械導入補助



航空レーザ計測による森林資源解析



林業に関する講演会

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,841	負担金及び交付金	25,353
職員手当等	384	積立金	13
共済費	370		
旅費	128		
需用費	695		
委託料	49,325		
工事請負費	6,014		
事業費計		84,123	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	農（水産）商工連携推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	農林水産業者と商工業者の業種を超えた連携を促し、地域資源を活用した新商品開発やその販路拡大の取り組みの支援、経済の域内循環促進等により、地域産業活性化に資するもの。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	農水商工連携（新商品開発数）（累計）	87	90	93	103	
	目標（何を達成するのか）					
	①事業者連携による新商品開発と販売促進 ②地場産品を素材とした商品の創出育成 ③地産地消、地産外商の推進 ④食・産業・体験の新たな観光素材づくり					

事業概要

①農林水産業（生産品）と商工業（技術）を有機的に結びつけ、新商品の開発及び販売促進活動の支援を行う。
 ②地域資源・地域産業を担う企業を知る取り組み、高校・大学と連携した新商品開発等を通じ、地域産業を担う人材の育成・交流を行う。
 ③地産地消・地産外商推進に向けたPR、イベント出店などのほか、観光客による消費に着目した「食と観光」の素材づくりを行う。

（数値目標の目標年度）
 項目名 農水商工連携（新商品開発数）：2029（R11）年度

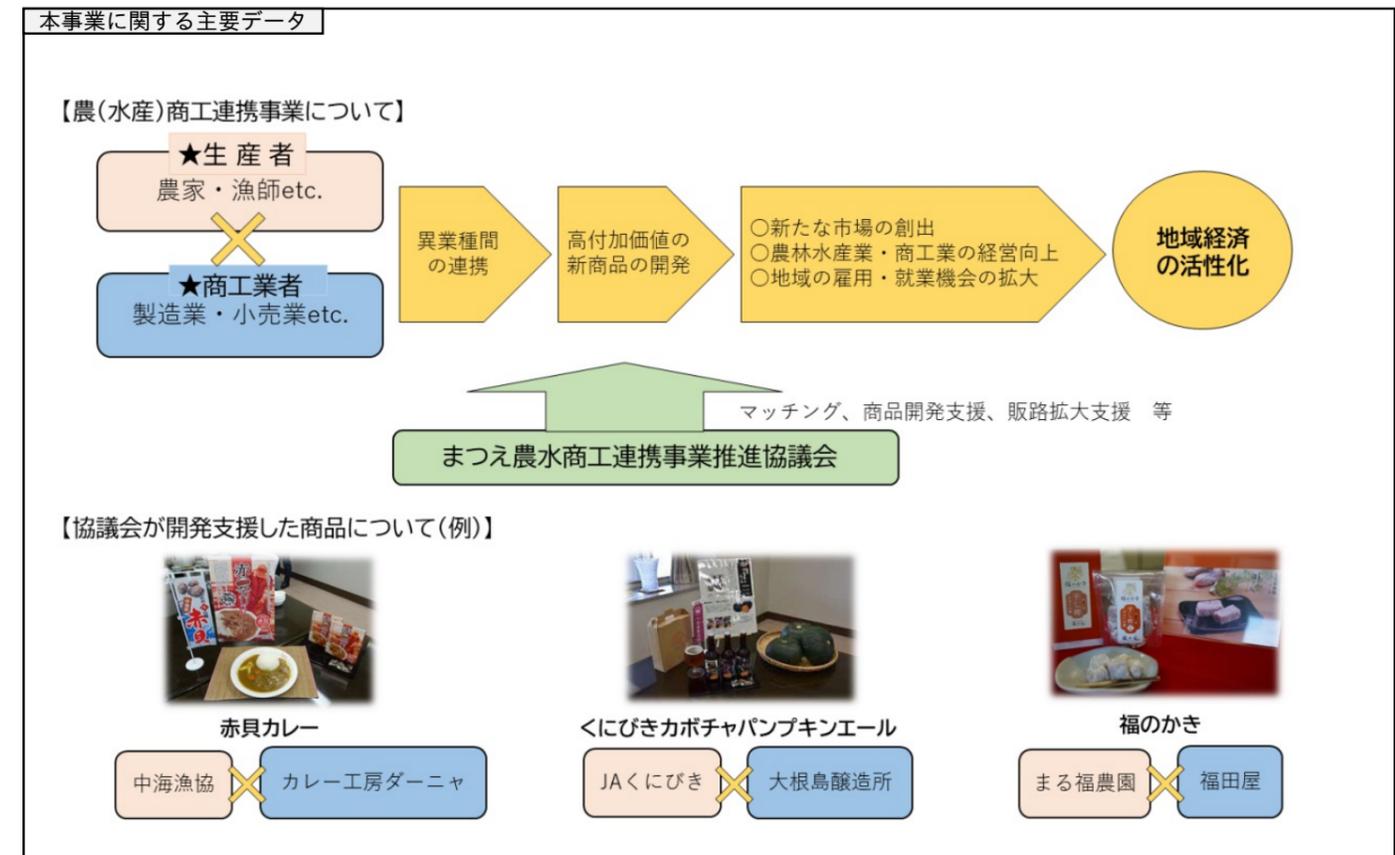
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○異業種連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など） ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など） ○開発商品のPR（ホームページ、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など） ○開発商品販売事業者へのヒアリングによる既存の開発商品のブラッシュアップ	○異業種連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など） ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など） ○開発商品のPR（ホームページ、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など） ○開発商品販売事業者へのヒアリングによる既存の開発商品のブラッシュアップ	○異業種連携による新商品開発・商品改良支援（事業者マッチング、研修会、交流会、商品開発助成など） ○新商品等の販売促進・販路拡大の取り組み（各種イベント出展・支援、商談会参加支援、産学連携事業など） ○開発商品のPR（ホームページ、フェイスブック、マスコミ向けの完成披露会など） ○開発商品販売事業者へのヒアリングによる既存の開発商品のブラッシュアップ
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,234	2,020
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,234	2,020
歳入合計		2,234	2,020

課題	・開発した商品の販売や販路開拓の支援強化（「できたものを売る」から「求められるものを売る」への転換） ・開発支援した商品について、開発後のフォローアップ	方向性	・開発後の状況を把握し、適宜アドバイスやテコ入れ等を行いブラッシュアップ・販売拡大につなげる。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	松江産の食材がスーパーに増えた
	主要施策	6次産業化や農水商工連携による地域経済の活性化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	協議会総会		
	11月	事業者研修会・交流会		
	通年	異業種連携支援、新商品開発支援、販売促進支援		
	通年	物販イベント出店（市内外）		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	415		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	1,600		
事業費計			2,020

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光宣伝広告経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江の多彩な観光素材を活用した情報発信を通して観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100	

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 松江観光大使制度を活用した観光PR、県外PR活動、観光パンフレット作成、キャラクター「松江の吉田くん」を活用したPRなどを実施。
------	--

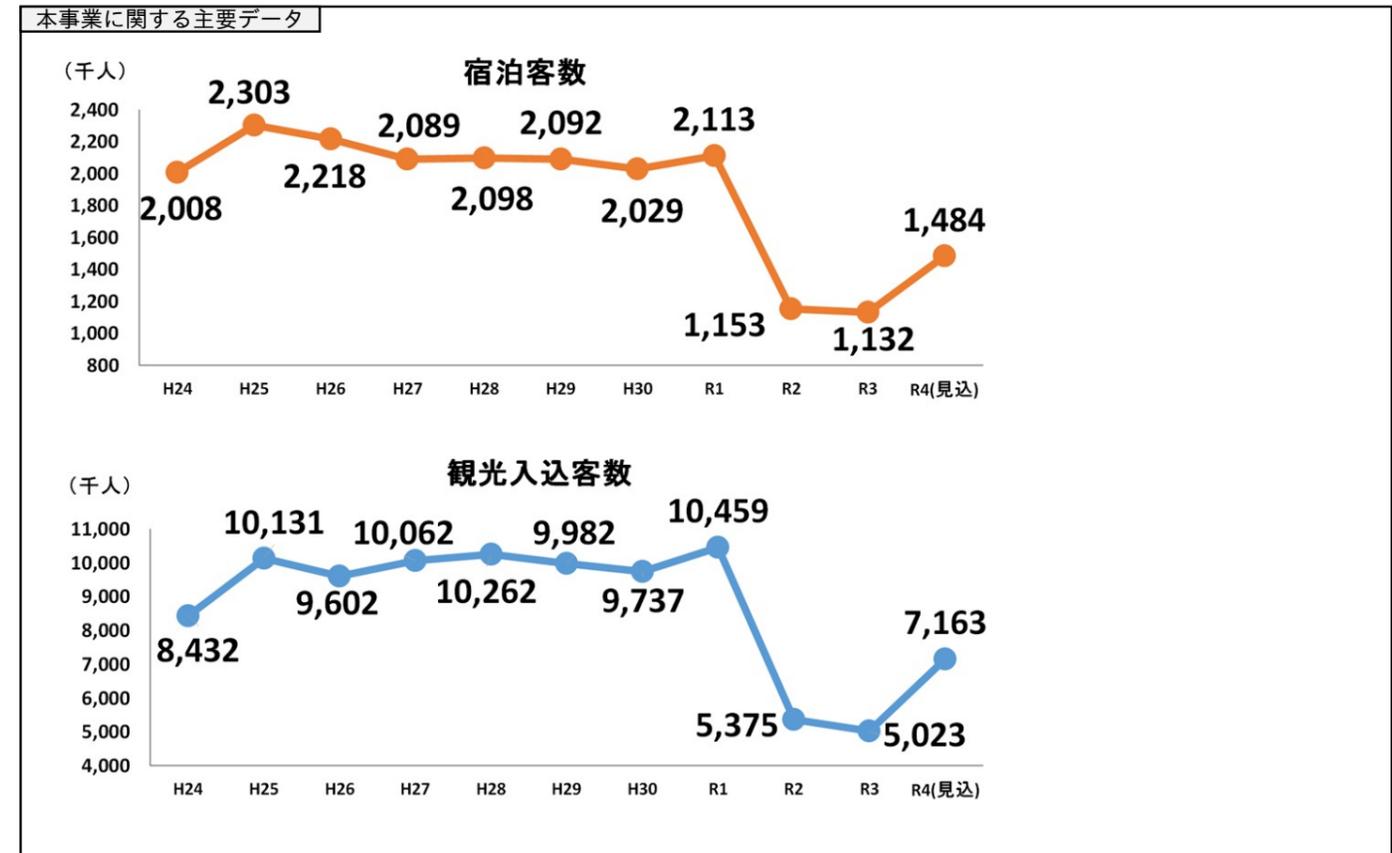
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR	○観光大使制度を活用した観光PR ○県外PR活動 ○観光パンフレット作成 ○キャラクターを活用したPR
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,506	8,972
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,506	8,972
歳入合計		5,506	8,972

課題	○観光大使制度の効果的な活用を検討する必要がある	方向性	○観光大使に松江市との関わりを深めていただく仕組みを検討する
----	--------------------------	-----	--------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	「松江らしさ」を活かしたプロモーション		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	343		
需用費	3,441		
役務費	1,038		
委託料	2,141		
使用料及び賃借料	2,009		
事業費計		8,972	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光協会運営補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本市の観光振興を図るため、国宝松江城など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施し、本市と連携しての事業推進を行う。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	本市の観光振興を目的とする（一社）松江観光協会に対し、事業及び人件費の補助を行う。ホームページ、SNSによる情報発信や、旅行会社への商品造成の働きかけ、県外イベントへの出展などのプロモーションを強化する。様々な施策を観光協会と連携して実施し、観光消費額の拡大、観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人の実現を目指していく。

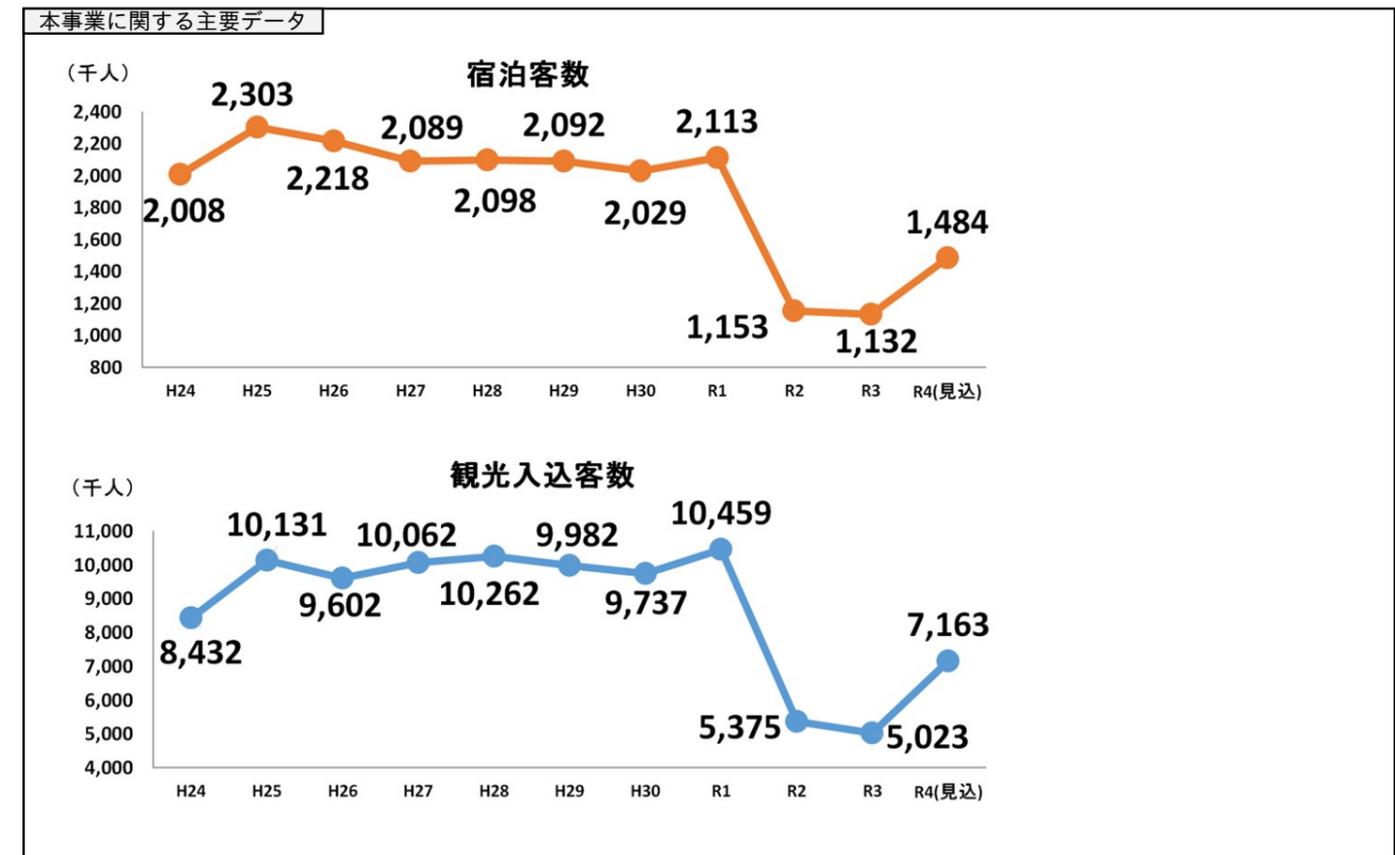
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・宣伝広告事業 <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松江水燈路等各種イベントの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・宣伝広告事業 <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松江水燈路等各種イベントの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ○情報発信・宣伝広告事業 <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNS、テレビ等の各種媒体を活用した情報発信 ○観光プロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・観光情報説明会への参加、旅行会社への営業、FDA対策 ○まちあるき観光・ボランティアガイド事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴーストツアーや城郭ツアー等の松江文化を活用した観光客受入 ○イベント運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・松江水燈路等各種イベントの運営
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	130,202	145,457
国・県支出金		0
地方債		
その他	100,000	115,000
一般財源	30,202	30,457
歳入合計	130,202	145,457

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行って行くため、統計データに基づくマーケティング機能など組織強化が求められる。 ○行政と観光協会の役割分担を明確化し、自立性を高めていく必要がある。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○松江市の観光推進体制のあり方についての検討を進め、組織と機能強化につなげていく。 ○コロナ感染症の影響下においても持続可能な観光イベント、観光客受入のあり方を研究し実現していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	情報発信、観光プロモーション、まちあるき観光事業等		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	145,457		
事業費計			145,457

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町・水の都魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光戦略プランのコンセプト「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」「水の都」にスポットを当て、ブランド力向上を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250	
	年間観光入り込み客数（万人）	716	941	1,000	1,100	
目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年 コロナ禍の3年間は本市の観光事業者の事業継続と観光需要のV字回復を目指し、即効性のある割引施策や松江の認知度向上を目的としたプロモーションを中心に施策を展開してきた。令和5年度は、観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE” ～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。
------	---

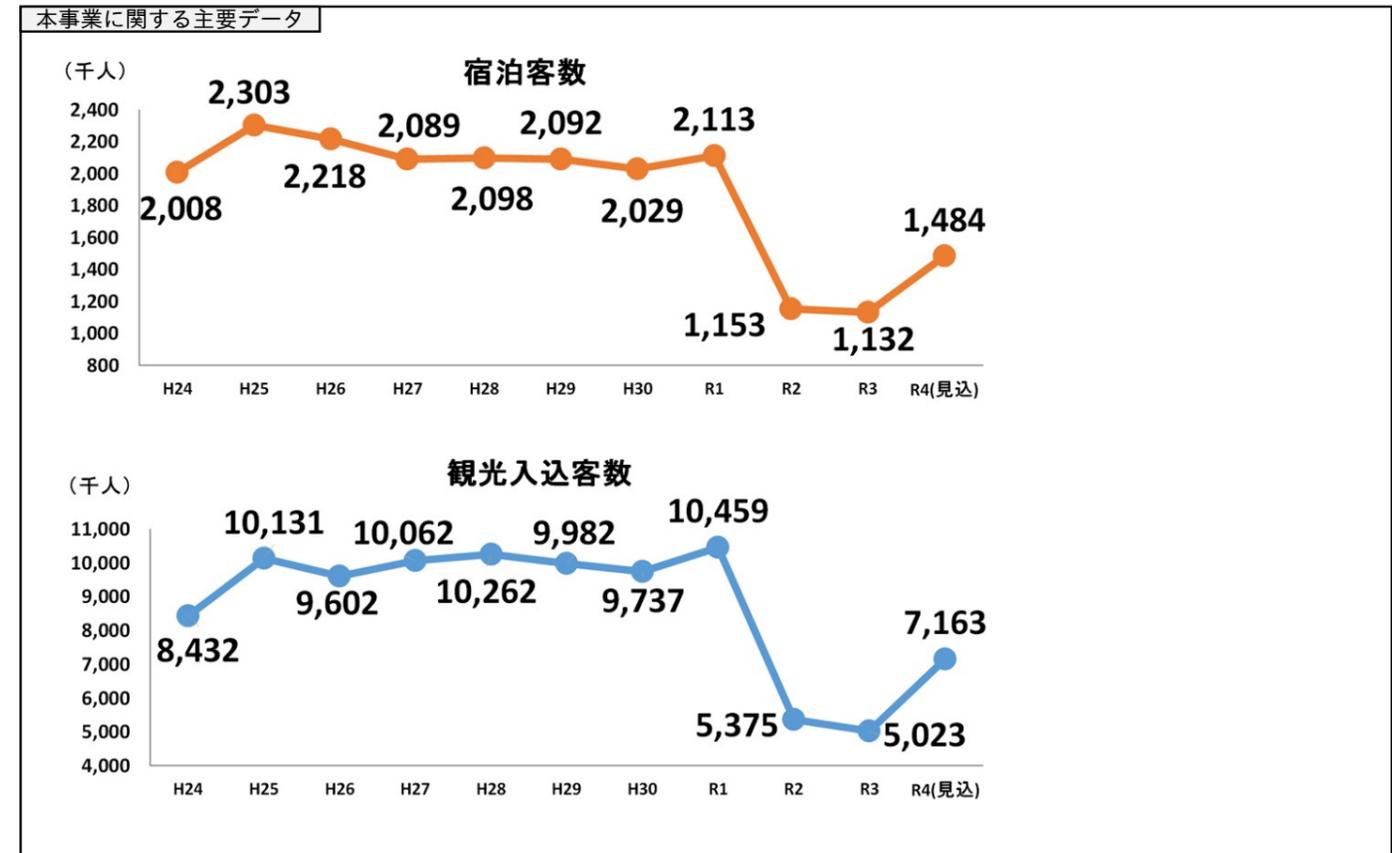
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
		<ul style="list-style-type: none"> ○国宝松江城・お城まつり ・桜木のライトアップやステージ企画で桜咲く松江城を演出 ○国宝松江城ライブ ・松江城にて人気アーティストによる2,500人規模の特別ライブの実施 ○武者のまち発信事業 ・松江城での武者によるおもてなし ○ヘルスツーリズム ・宍道湖を活かした心身のリフレッシュや健康増進のコンテンツづくり ○情報発信事業 ・「城下町」「水の都」等をベースに通年で情報発信 	「城下町」「水の都」などの松江市の魅力を最大限活用した事業を実施し、ブランド力の向上を図る。
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		47,000
	国・県支出金		23,500
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	23,500
歳入合計		0	47,000

課題	○将来にわたる松江のブランド力向上。 ○話題性のあるプロモーションの実施。	方向性	○松江の魅力を最大限に活用した事業を展開し、認知度及びブランド力を向上させていく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	松江城等での武者のおもてなし	夏以降	ヘルスツーリズムコンテンツづくり
	通年	情報発信事業		
	春	お城まつり		
	夏～秋	国宝松江城ライブ		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	11,000		
負担金補助及び交付金	36,000		
事業費計		47,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費（企業人材活用）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中海・宍道湖・大山圏域の歴史、文化、自然、食など多彩な観光資源を活用し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和4年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の8割を目指す	松江市宿泊者数（万人）	148	190	211	250
		松江市観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100

（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
 ①本事業は総務省の地域活性化企業人制度（企業人材派遣制度）を活用することから、松江市が受入自治体として企業から人材を受入れ、（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣するもの。
 ②中海・宍道湖・大山圏域観光局は、専門知識、旅行業のノウハウ、人脈を生かし、圏域の観光資源を活用した観光誘客を図るもの。
 ○人材派遣元企業：旅行会社
 ○受入期間：1年更新（令和4年度開始。最長令和6年度まで延長あり）
 ○経費：負担金5,600千円（特別交付税措置あり）

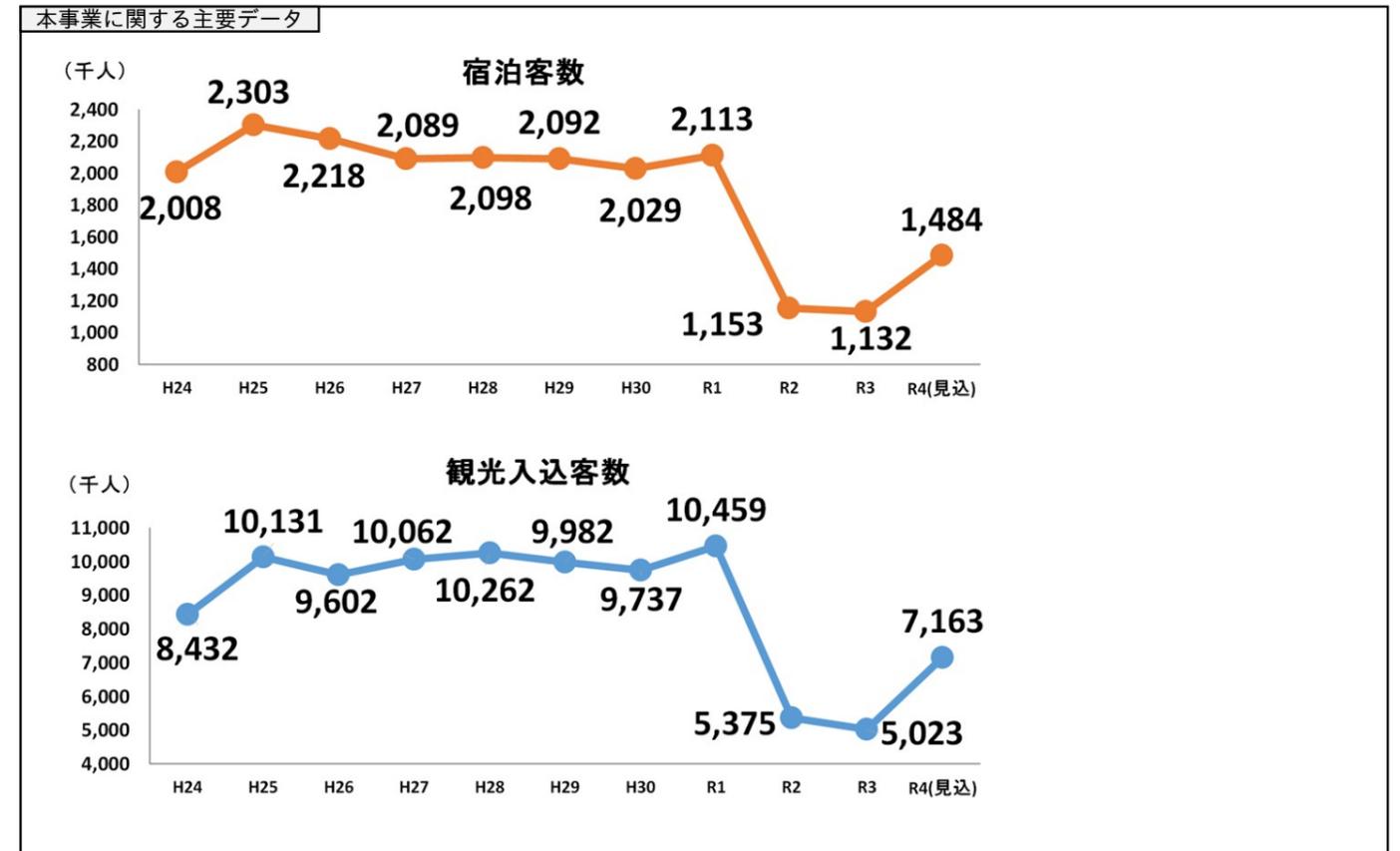
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進	○旅行会社の社員1名を受入れ、中海・宍道湖・大山圏域観光局に派遣 ○圏域の観光施設、自然、歴史、景観、文化、食、人等を活用した観光商品造成促進
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,600	5,600
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,600	5,600
歳入合計		5,600	5,600

課題	方向性
○圏域への国内外からの誘客を促進するため、観光資源の掘り起こしやテーマ性・ストーリー性の構築などを図る必要がある。	○令和5年度も引き続き派遣継続予定。 ○旅行会社のノウハウを生かし、国内外の観光マーケットや旅行ニーズの把握、圏域の潜在する観光資源の掘り起こし、活用を通して誘客を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	企業人材の受け入れ		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	5,600		
事業費計			5,600

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	国宝松江城観光誘客対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図るほか、松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ○国宝松江城への観光誘客の推進。 ○宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す。	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
		観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国宝城郭都市観光協議会に参画して他の国宝4城と連携して観光誘客を図る ○松江城周辺のマイカー観光客の混雑緩和とおもてなしの充実を図るため、誘導案内看板の設置と警備委託及び繁忙日の観光客の安全確保を行う ○GWに交通規制に伴う誘導及び警備を実施する ○繁忙期には無料臨時駐車場を開設する ○松江城周辺駐車場の満空情報を車載型カーナビやスマートフォンのカーナビ等に情報提供して観光客の利便性向上を図る
------	---

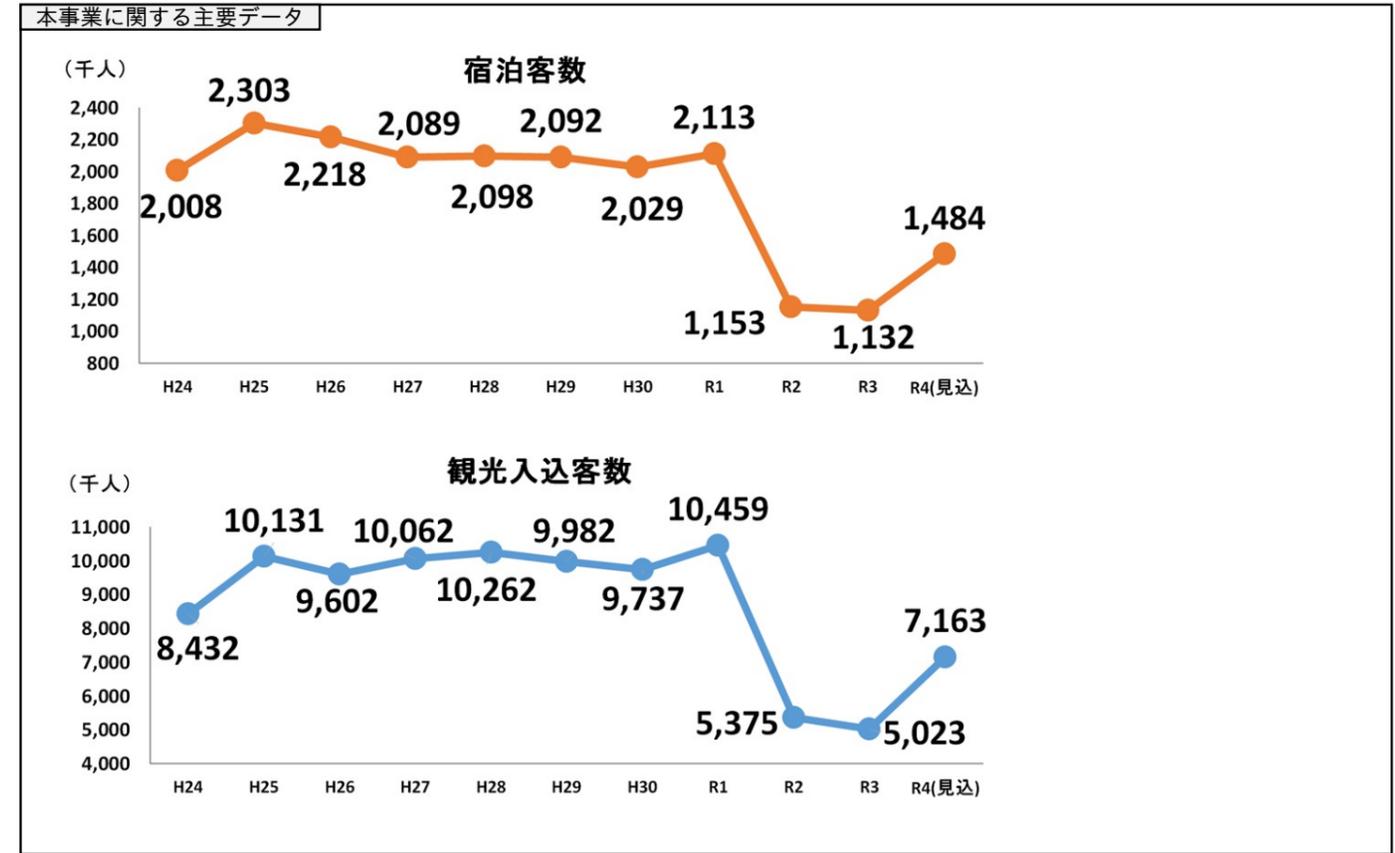
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の交通規制看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○国宝城郭都市観光協議会を通じ、国宝5城が連携した観光PRの実施 ○松江城周辺駐車場誘導及び警備委託 ○GW期間中の交通規制看板設置・撤去 ○繁忙日の無料臨時駐車場の開設及び案内看板の設置 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報のWEBを活用しての情報発信
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	9,400	11,002
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,400	11,002
歳入合計		9,400	11,002

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○松江城の国宝化を活かした更なる認知度向上。 ○大手前周辺の交通渋滞緩和のため、引き続きスムーズな駐車場への誘導が必要。 ○駐車場の満空情報システムをより広く周知し、事前に駐車場を分散できるような仕掛け作りが必要。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○国宝城郭都市観光協議会に参画する他の国宝4城と連携したプロモーションを実施することで、国宝松江城の認知度の向上を図る。 ○松江城周辺の駐車場を有効に活用し混雑の緩和を図るため、誘導や警備を実施するほか、駐車場情報を観光客に提供する。 ○松江城周辺駐車場の位置情報や満空情報の周知を図る。 ○大型連休など繁忙日の無料臨時駐車場開設により交通渋滞の緩和を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～11月	松江城周辺駐車場警備対策	12月	お城EXPO
	5月	GW対策	2月	国宝城郭都市観光協議会 担当課長会議
	8月	お盆対策	3月	松江城周辺駐車場警備体制
	8月	国宝城郭都市観光協議会 総会	通年	松江城周辺駐車場満空情報配信



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	81		
委託料	9,885		
使用料及び賃借料	436		
負担金補助及び交付金	600		
事業費計			11,002

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	JRとの連携強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市の地域資源を活かして、JRを利用した観光誘致への取り組みと駅を核としたまちづくりを促進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の9割を目指す。	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
	年間入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100	

事業概要

（目標数値の目標年度）
年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年

JR西日本米子支社と平成25年8月に締結した「地域振興のための連携協力に関する協定」にもとづき松江市の地域資源を活かした観光誘致への取組と駅を核とした魅力あるまちづくりを促進するため、JR京阪神主要駅において、JR松江駅、島根県、出雲市等と協働で誘客パンフレットの配布を行って、さらに無償でポスター掲示やパンフレットの設置を依頼している。また、JR松江駅において、観光客のおもてなしを充実させるため待合室西側トイレのトイレトペーパーの提供を行うもの。

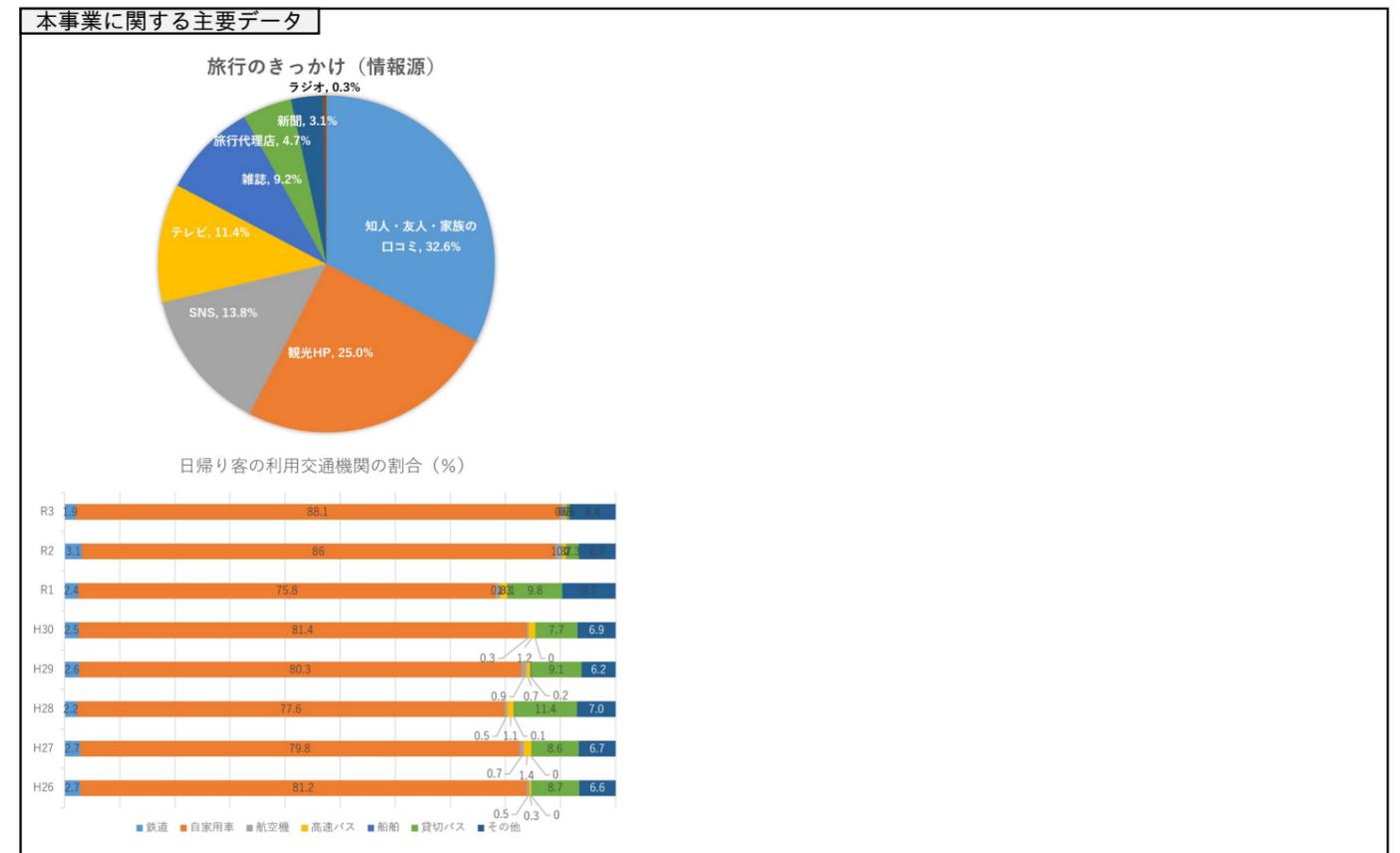
	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	○銀河や瑞風などJR西日本山陰支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレトペーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレトペーパー支給	○銀河や瑞風などJR西日本米子支社の誘客事業と連携した誘客対策や松江駅での「おもてなし」向上を行う ○京阪神主要駅に於いて合同観光PRキャラバンを実施し、主要駅でのサンプリングや構内へ無償でポスター掲示やパンフレット設置を行う ○JR松江駅での観光客のおもてなし向上を図る為、構内西側トイレのトイレトペーパー支給
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,800	1,030
	国・県支出金	581	0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,219	1,030
歳入合計		1,800	1,030

課題	方向性
○連携協定を活かした効果的な観光PRの継続と拡大 ○島根県、中海・宍道湖・大山圏域市長会との連携強化 ○JR松江駅でのおもてなしの充実	○京阪神主要駅観光PRキャラバンなど 連携した誘客を継続して実施 ○松江駅を中心とした観光案内やおもてなしの充実を図ることで国際文化観光都市としてのイメージアップ

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	トイレトペーパー納品		
	不定期	JRキャラバン		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	158		
需用費	872		
事業費計		1,030	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光マーケティング強化事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光マーケティングによる観光施策のPDCAサイクル確立を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100
観光施策におけるPDCAサイクルを確立し、観光宿泊客数250万人及び観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	島根県が実施している「観光動態調査」のうち、松江市分のデータ提供を受け、観光客の動向を分析・検証するため、松江市版の観光動態調査を行い、今後の観光施策を計画・立案するための基礎資料とする。また、蓄積したデータを活用し、観光マーケティングによる戦略的かつ効果的な観光施策を実施し、PDCAサイクルの確立を図る。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置	○松江市版観光動態調査の実施 ○IOTセンサー実証事業 市内観光施設7台カメラ設置
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

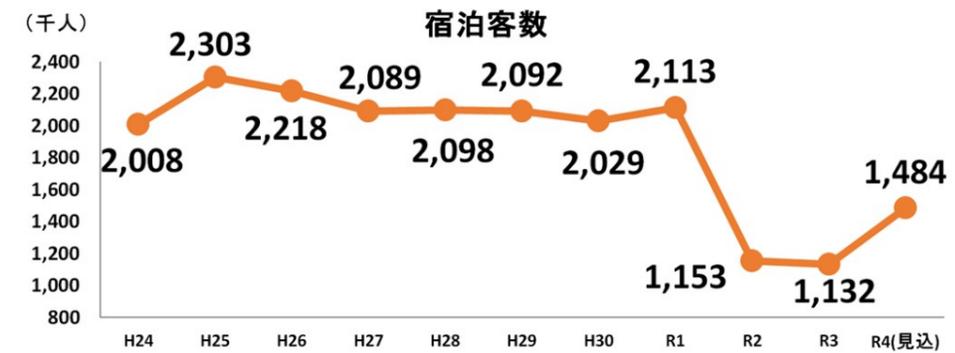
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	987	974
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	987	974
歳入合計		987	974

課題	○観光動向、変化する旅行スタイルやニーズを的確に捉え、観光施策に反映させる必要がある。	方向性	○マーケティングにより、効果的な施策を展開していく。
----	---	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	観光動態調査実施		
	通年	マーケティング実施		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役員費	72		
委託料	902		
事業費計		974	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	城下町AR・VR体験環境整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	国宝松江城を中心とした文化財の魅力を海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）技術を活用したアプリケーションを提供する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	716	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年</p> <p>松江城を中心に城下町の魅力・情報を紹介するAR・VR技術を活用した多言語対応アプリケーション提供するために、保守・管理業務を委託するもの。 また、令和2年度に作成した「VRスコープ」を、観光協会や周辺観光施設に販売委託するもの。</p> <p>(1) 既存のアプリの保守・管理 (2) VRスコープの販売委託</p>
------	---

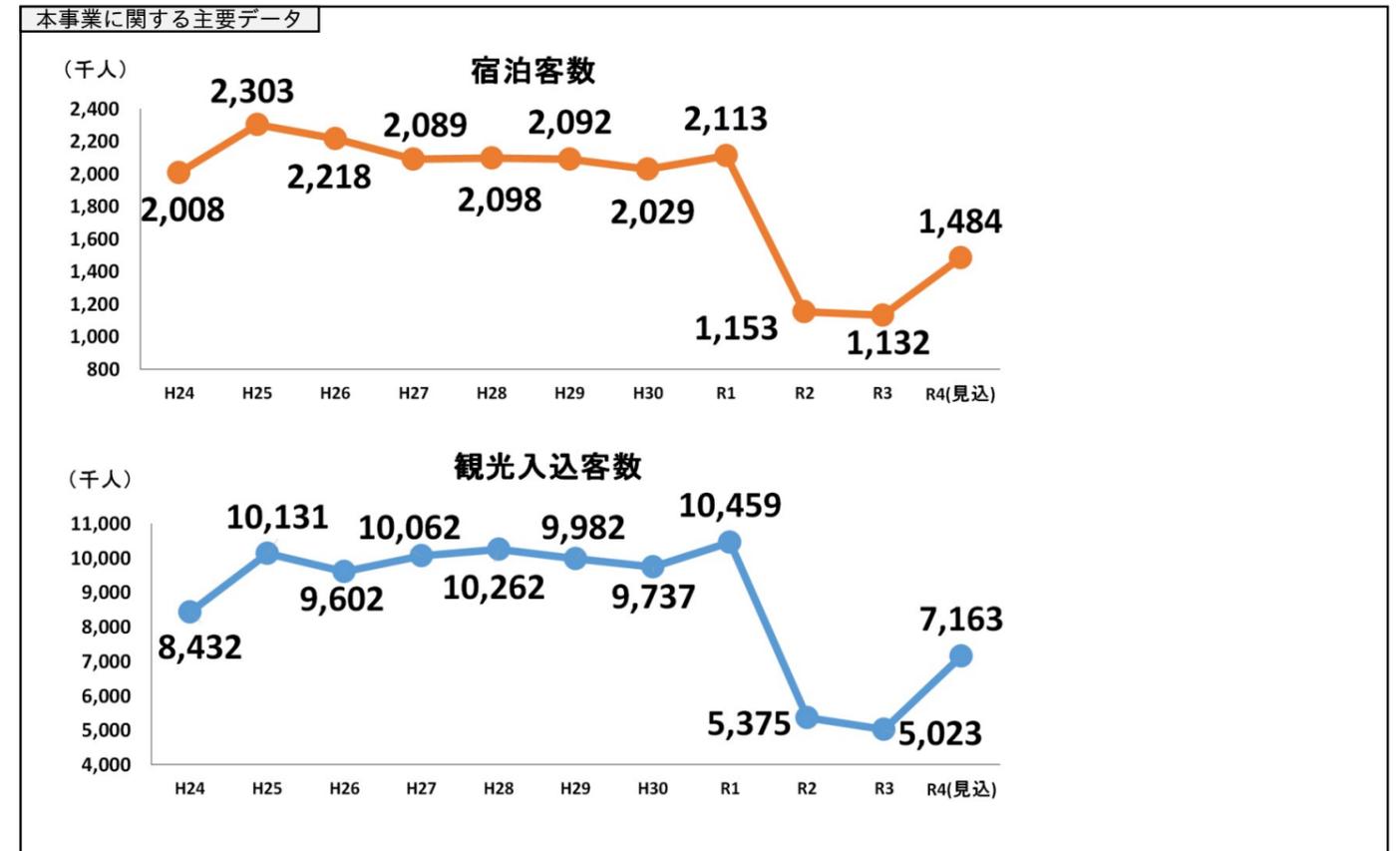
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ol style="list-style-type: none"> 1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. AR周知チラシのリニューアルおよび配布 4. アプリケーションの維持管理（上半期期：令和4年4月～令和4年9月）VRツアー体験者数：延べ約711名 松江城ページ閲覧数：延べ約3,583名 5. VRスコープの販売（上半期期：令和4年4月～令和4年9月）7個 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. AR周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売 	<ol style="list-style-type: none"> 1. アプリの利活用に向けた広報 2. 施設周遊用ARカードの配布 3. AR周知チラシの配布 4. アプリケーションの維持管理 5. VRスコープの販売
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,425	1,584
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	12	38
	一般財源	1,413	1,546
歳入合計		1,425	1,584

課題	<p>○海外・国内の観光客の方にとって使いやすく魅力的なアプリ・コンテンツを構築し、多くの方に利用いただき、松江城天守への登閣者数、塩見縄手周辺の観光施設への周遊に繋げる工夫を盛り込む必要がある。</p> <p>○登閣者数に対するアプリ利用者の割合が低いので、アプリ自体の認知度向上をしていく必要がある。</p>	方向性	<p>○海外・国内向けの効果的なプロモーションを実施する。</p> <p>○利用者増に向け、ボランティアガイドや観光協会ガイド事業等と連携し、幅広い活用を図る。</p> <p>○観光客はもとより、市民や県民にも再度松江城の歴史的価値や構造的特徴を知ってもらうために周知していく。</p>
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	AR・VRアプリのサービス提供		
	通年	施設周遊用ARカード配布		
	通年	VRスコープの販売		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,439		
使用料及び賃借料	145		
事業費計		1,584	

所属	事業名
観光部観光振興課	観光推進体制検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江観光協会などの組織をこれまで以上に機動的な組織として見直しを図ることによって、松江市の宿泊者数の増加を通じた観光産業の拡大を目指す。	項目（成果指標） 年間宿泊客数（万人）	R4実績見込 148	R5計画 190	R6計画 211	目標値 250
	目標（何を達成するのか） ○松江観光協会の組織・人員体制の見直し ○松江市と松江観光協会の役割分担の明確化 ○財源確保とマーケティングなどの機能の充実	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	MATSUE観光戦略プラン推進委員会(仮称)において「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の進捗状況の評価・検証を行う。 また、観光推進組織体制や財源確保についての検討も進めていく。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の策定 ○観光推進組織の体制や財源確保についての検討	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会(仮称)の開催 ○観光協会の組織戦略策定支援 ○新たな財源の確保に向けた検討（宿泊税導入の検討）	○MATSUE観光戦略プラン推進委員会(仮称)の開催 ○観光協会の組織戦略に基づく体制強化
達成度			
1 計画目標に向けて順調に推移			

財源内訳	歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4 決算見込	R5 当初予算
	事業費	7,097	2,867
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	7,097	2,867
歳入合計	7,097	2,867	

課題	○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」の将来像を具現化するための組織づくり、財源確保。	方向性	○「MATSUE観光戦略プラン2023 - 2029」を市民、観光関係事業者等と共有する。 ○観光推進組織の体制や財源確保について検討を進める。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	MATSUE観光戦略プラン推進委員会(仮称)の開催		
	4月～10月	松江観光協会組織戦略策定支援		

本事業に関する主要データ

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	65		
需用費	685		
委託料	68		
使用料及び賃借料	49		
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計		2,867	

令和5年度 総合計画実施計画

観光部観光振興課 中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光振興課）

所属	事業名
観光部観光振興課	中海・宍道湖・大山圏域市長会事業負担金（観光振興課）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	本圏域は全国の主要都市圏に劣らぬ人口規模であり、多様な産業や国内外につながる交通・物流インフラを有している。これらの高いポテンシャルを最大限活用し、日本海側を代表する拠点づくりを進める。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		松江市宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域観光局が実施する観光振興事業に対する負担金 ○国内誘客対策事業（国内観光プロモーション、三大都市圏等への圏域PRプロジェクト、圏域観光再生支援プログラム） ○圏域観光の魅力アップ事業（観光客受け入れ体制の充実）
------	--

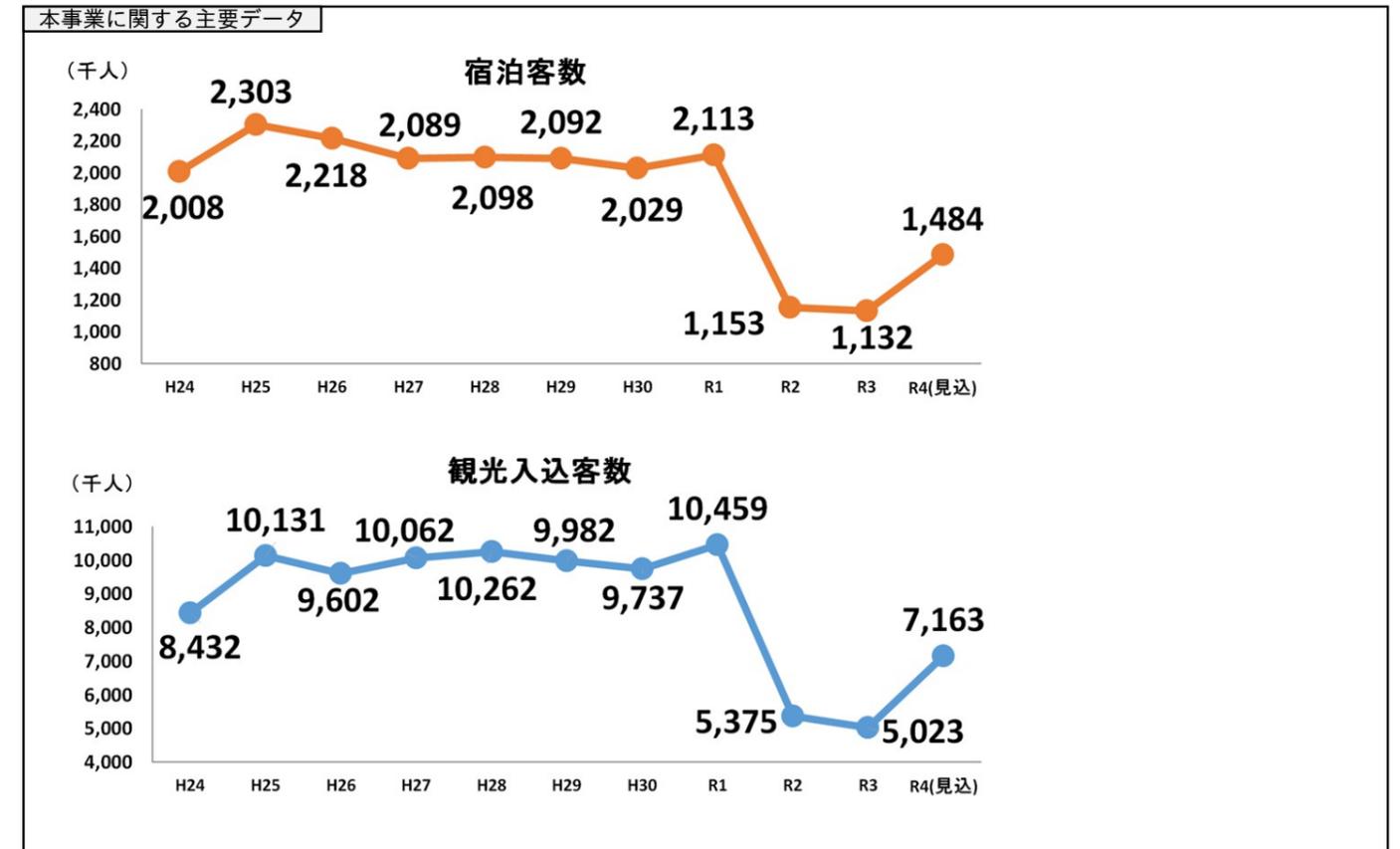
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業	○国内誘客対策事業 ○圏域観光の魅力アップ事業
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	6,258	4,886
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	6,258	4,886
歳入合計		6,258	4,886

課題	○圏域が有する多彩な観光資源を効果的に活用し、誘客につなげる必要がある	方向性	○圏域の魅力発信・誘客を図るため、5自治体、経済界、観光協会の連携を強化する
----	-------------------------------------	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	「松江城」「水の都松江」の強みを活かしたプロモーションとブランディング戦略

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	東アジアをターゲットとしたインバウンド対策	7月	総会
	通年	大阪・関西万博からの誘客を図るための旅行商品の造成		
	通年	広域連携によるプロモーション		
	随時	理事会、観光振興課長会		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,886		
事業費計		4,886	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水郷祭補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市民の祭りとして定着しているが、日本有数の花火大会として県外へPRし観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数(万人)	148	190	211	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数(万人)	716	941	1,000	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	<p>○松江水郷祭は夏の風物詩として長きにわたって市民に親しまれ、本市最大の人出で賑わうイベント。観光誘客や賑わいの創出により地域の活性化につながっている。</p> <p>○主催：松江水郷祭推進会議（松江市・商工会議所・松江観光協会・青年会議所ほか）</p> <p>○松江水郷祭推進会議へ補助金交付</p>

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>○開催日：8月6日(土)・7日(日)</p> <p>○内容：湖上花火大会 (6日10,500発・7日3,000発)</p> <p>※イベント・屋台は見送り</p> <p>○入込客数：2日間で40万人</p> <p>○有料観覧席：1,155席</p>	<p>○開催日：8月5日(土)・6日(日)</p> <p>○内容：湖上花火大会</p> <p>○下記の内容について松江水郷祭推進会議で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火の規模拡大（打上発数、演出など） ・有料観覧席の拡大（席数、料金、運営方法、販売方法） ・イベント、屋台の設置 	<p>○開催日：未定</p> <p>○内容：湖上花火大会</p> <p>○下記の内容について松江水郷祭推進会議で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火の規模（打上発数、演出など） ・有料観覧席（席数、料金、運営方法、販売方法） ・イベント、屋台の設置
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		18,600	17,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	5,000	8,500
	一般財源	13,600	8,500
歳入合計		18,600	17,000

課題	○市民が誇れる祭に育てるとともに、更なる観光誘客と賑わい創出により地域経済の活性化を図る必要がある。	方向性	○花火の魅力を高め、日本有数の花火大会を目指す。
	○安定的な財源の確保を検討する必要がある。		○安定的な財源の確保など持続可能な開催モデルを検討する。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	松江水郷祭推進会議		
	8月5・6日	松江水郷祭開催		

本事業に関する主要データ

松江水郷祭入込客数

年度	万人
H28	40
H29	40.3
H30	42.8
R1	48
R2	-
R3	-
R4	40

R4年度有料観覧席の利用者発地別割合

※旅行代理店の販売分除く

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	17,000		
事業費計		17,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江武者行列事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	桜咲く春の城下町ならではの時代行列など、歴史を感じる行事を行うことで、城下町松江の観光PRにつなげ、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の9割を目指す。						

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	平成15年度より、堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城するシーンを表現した市民参加型イベント。毎回、前年度に参加者募集、練習会、着付け講習会などを実施し、本番に向けた準備を行う。お城まつりに合わせ武者をテーマにイベントを実施し誘客を図る。 ※H31年度：観客数14万人、行列参加者数255人

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○新型コロナウイルス感染症拡大により中止 ○R5開催に向けた検討・準備	○武者行列開催	○武者行列開催 ○行列本番前後での関連企画の実施
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		936	12,000
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		6,000
	一般財源	936	6,000
歳入合計		936	12,000

課題	○城下町松江のPRや観光誘客につながるよう、イベント内容・方法を検討する必要がある。	方向性	○市民や観光事業者と連携し、より効果的な誘客イベントとなるよう見直しを行う。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	R5武者行列開催		
	9月	R6武者行列実行委員会開催		
	3月	プレイベント実施		



R5節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	12,000		
事業費計		12,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江水燈路事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	城下町松江の夜の賑わいを創出し、宿泊客数の増加及び夜の消費喚起につなげる	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の9割を目指す。					

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江城や塩見縄手周辺のライトアップ、市民の手作り行灯などで灯りの演出を行うとともに、音楽や伝統芸能などのイベント、屋台などによる賑わい創出を行う。

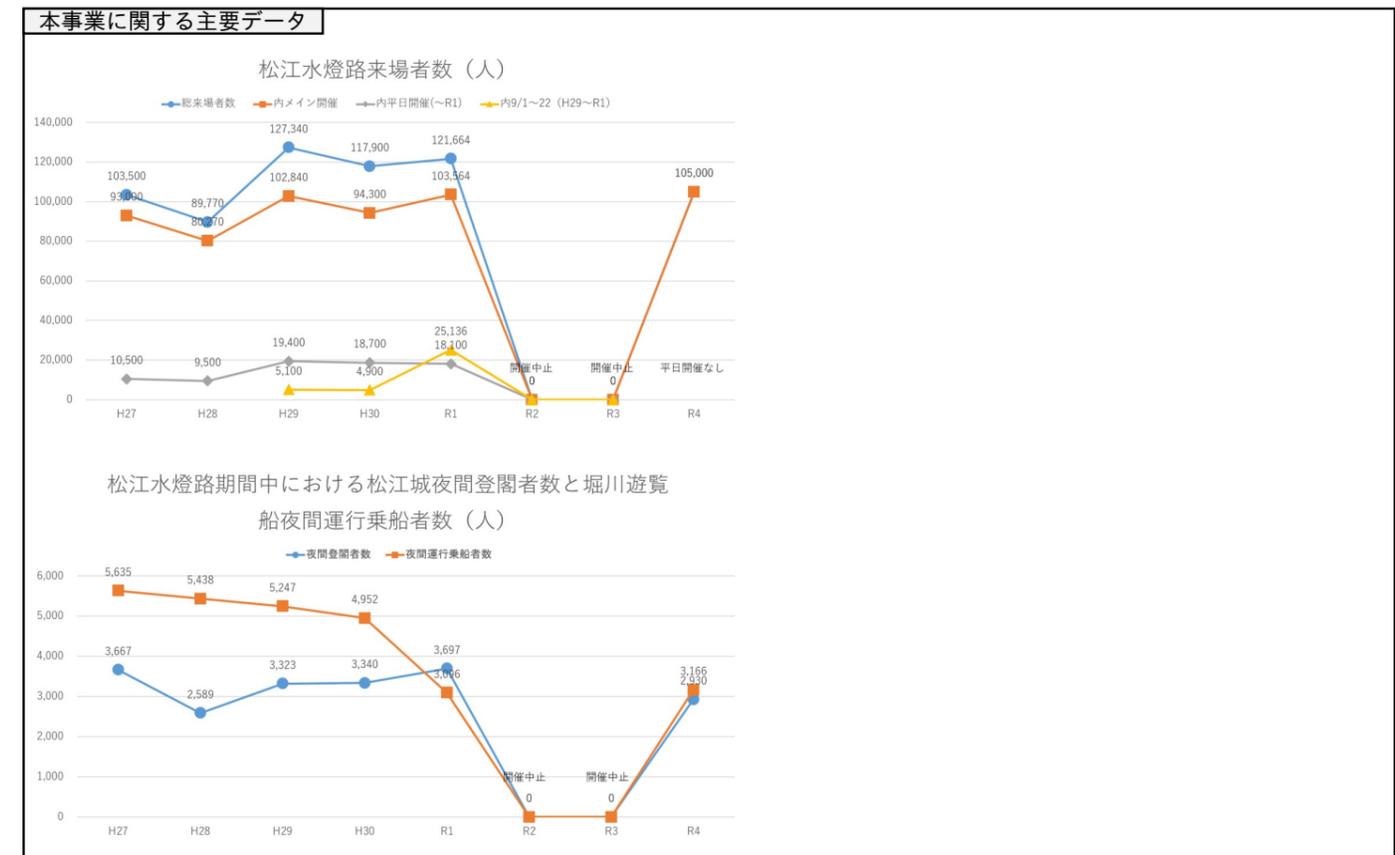
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置 ○無料シャトルバス運行 ○松江城天守宵神楽 ○SNSフォト抽選会	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置	<灯りの演出> ○松江城や塩見縄手のライトアップ ○市民の手作り行灯設置、コンテスト実施 ○アーティスト行灯の設置 <賑わいづくり> ○イベント実施（音楽、伝統芸能など） ○鑿行列前夜祭ほか ○屋台設置
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	22,000	22,000
	国・県支出金	0	11,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	22,000	11,000
歳入合計		22,000	22,000

課題	○訪れた観光客の満足度を高めるため、更なる磨き上げが必要	方向性	○観光客の満足度アップを図るため、イベント内容の検討を行う。 ○夜の賑わい創出に向け、各種団体、観光事業者等との連携を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	実行委員会開催		
	9月～10月	松江水燈路実施		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	22,000		
事業費計		22,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江境港隠岐観光振興促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江・境港・隠岐を一つの圏域ととらえ、一体となって観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 境港市及び隠岐4町村との連携強化及び松江市への誘客数増加 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
		観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 松江市、境港市、隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村の6市町村で松江境港隠岐観光振興協議会を組織し、連携したプロモーションを実施する。
------	---

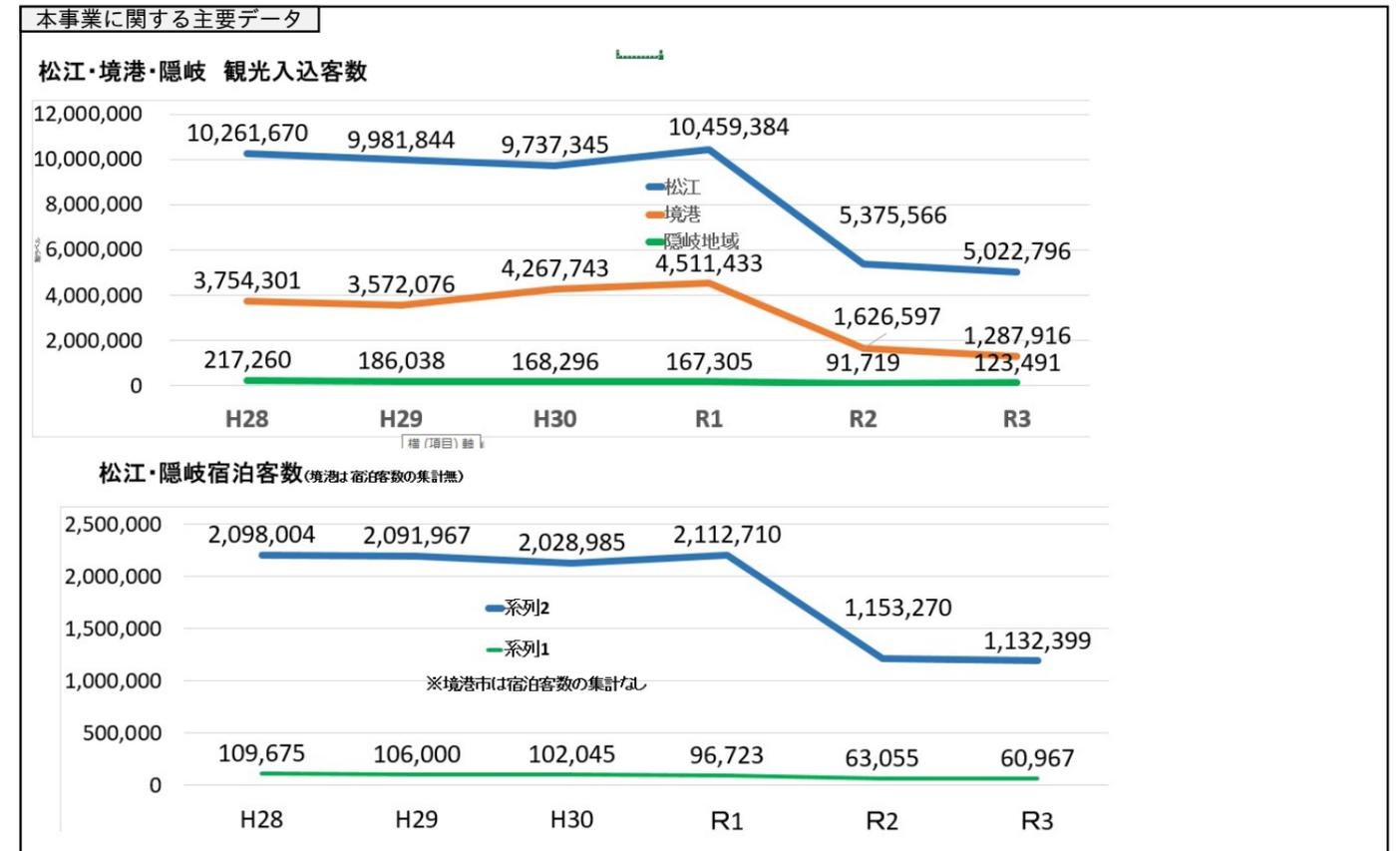
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信	○自然、文化歴史、食の観光素材を生かした魅力発信
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	300	349
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	300	349
歳入合計		300	349

課題	松江、境港から隠岐への旅につなげる効果的な情報発信が必要。	方向性	協議会との連携を強化し、効果的な誘客企画を実施する。
----	-------------------------------	-----	----------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月	総会		
	9月	プロモーション実施		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	49		
負担金補助及び交付金	300		
事業費計			349

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	嫁ヶ島活用事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	嫁ヶ島を活用した観光振興事業を実施するほか、松江市内での滞在時間の延長、宿泊客の増加を目的として、夜の観光の魅力づくりの一環として水の都・松江らしい景観を演出するために嫁ヶ島のライトアップするもの。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	716	941	1,000	1,100

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	<ol style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島への渡航イベントやPR事業など嫁ヶ島を活用した観光振興事業に補助。 <ul style="list-style-type: none"> 歩いて渡る嫁ヶ島（8月） 万灯会（9月） 仲秋の嫁ヶ島（10月） 嫁ヶ島ライトアップ常設化に伴いライトアップを実施（4月～11月）するための渡船と発電、及び機器の管理を業務委託。

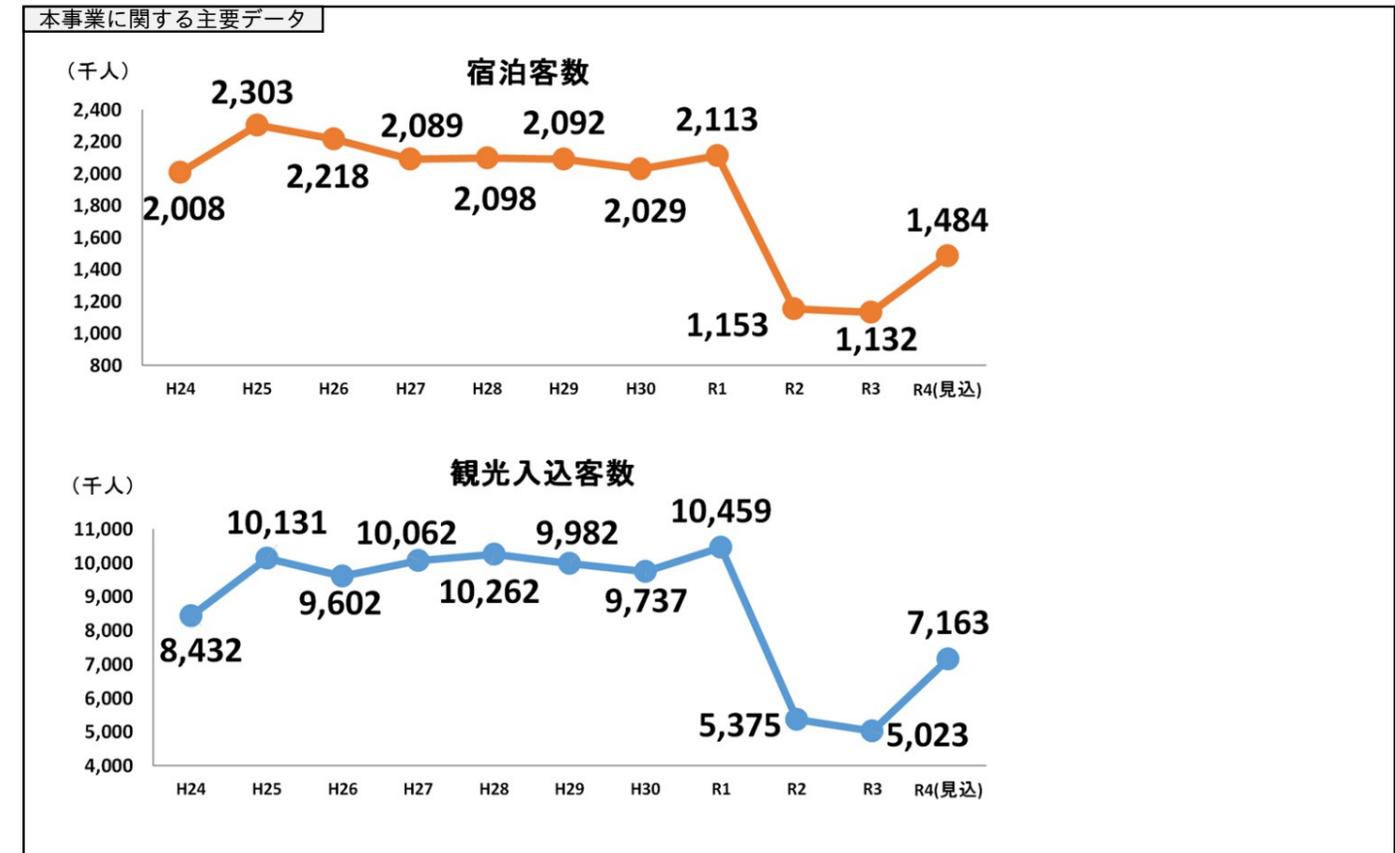
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。万灯会（参加者170名）歩いて渡る嫁ヶ島（参加者270名）仲秋の嫁ヶ島（参加者670名） 嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を活用したイベントを季節ごとに開催。万灯会、歩いて渡る嫁ヶ島、仲秋の嫁ヶ島 嫁ヶ島の草刈など環境保護の活動実施。 常設ライトアップ（4月～11月末）の点灯・維持管理業務委託
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,120	3,000
	国・県支出金		1,500
	地方債		
	その他	2,768	0
	一般財源	352	1,500
歳入合計		3,120	3,000

課題	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島を中心とした観光イベントを行い、水郷祭、大茶会、水燈路など市のイベントとの連携した事業で、嫁ヶ島の観光活用を図る。 市も連携してPRなどの取り組みを行い、更なる集客を図る必要がある。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 嫁ヶ島の景観維持・観光活用を目的に行われる各種事業を広く市民や観光客にPRし、水の都松江の観光スポットとしての活用を図っていく。 大橋川の改修にともない水辺の利活用について、さまざまな検討、取り組みがなされており、関係する団体との連携を図っていく。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～11月	嫁ヶ島ライトアップ	10月	仲秋の嫁ヶ島
	5月	補助金交付申請、交付決定		
	8月	歩いて渡る嫁ヶ島		
	9月	万灯会		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,500		
負担金補助及び交付金	1,500		
事業費計			3,000

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	島根半島等地域魅力発信事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かし、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>島根町・美保関町など半島部の観光資源を活かした観光誘客を図るために、行政、地元の関係団体で組織する大山隠岐国立公園満喫プロジェクト島根半島東部協議会の取組み（ソフト事業）に対し補助金を交付する。</p>
------	--

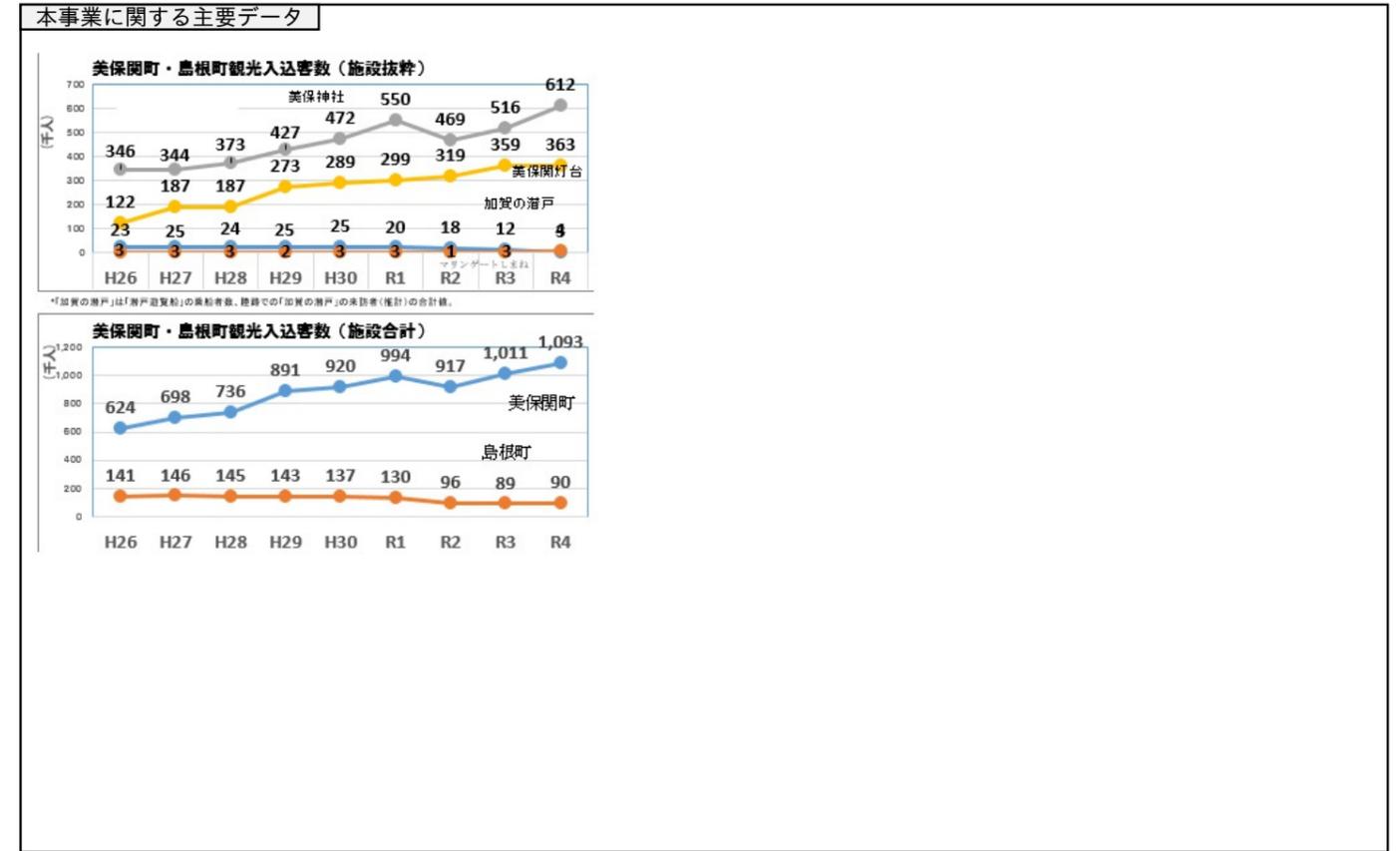
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業 	<p>○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業 	<p>○「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2025」に沿った事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業 ・観光客受入環境整備事業 ・島根町・美保関町それぞれ各地域で行われる取組への支援事業
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,000	2,000
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,000	2,000
歳入合計		1,000	2,000

課題	<p>○観光客受入環境の整備、地元関係団体との連携強化が必要</p> <p>○島根半島・宍道湖中海ジオパークの事業との連携を図る必要がある</p>	方向性	<p>○地元関係団体等との連携を図り、効果的なプロモーションや誘客企画、受入環境整備を進める</p>
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	協議会総会開催		
	9月	観光商品造成支援事業実施		
	11月	情報発信事業実施		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計			2,000

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江しんじ湖温泉振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江しんじ湖温泉のブランド力向上と温泉街の環境整備を行い、観光誘客を促進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人の達成、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
		観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>松江しんじ湖温泉の情報発信及び温泉街の環境整備を実施する2団体に補助金交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ○松江しんじ湖温泉旅館協議会 ○松江しんじ湖温泉振興協議会 <p>松江しんじ湖温泉まちづくり計画の実施に向けた補助金交付</p>
------	--

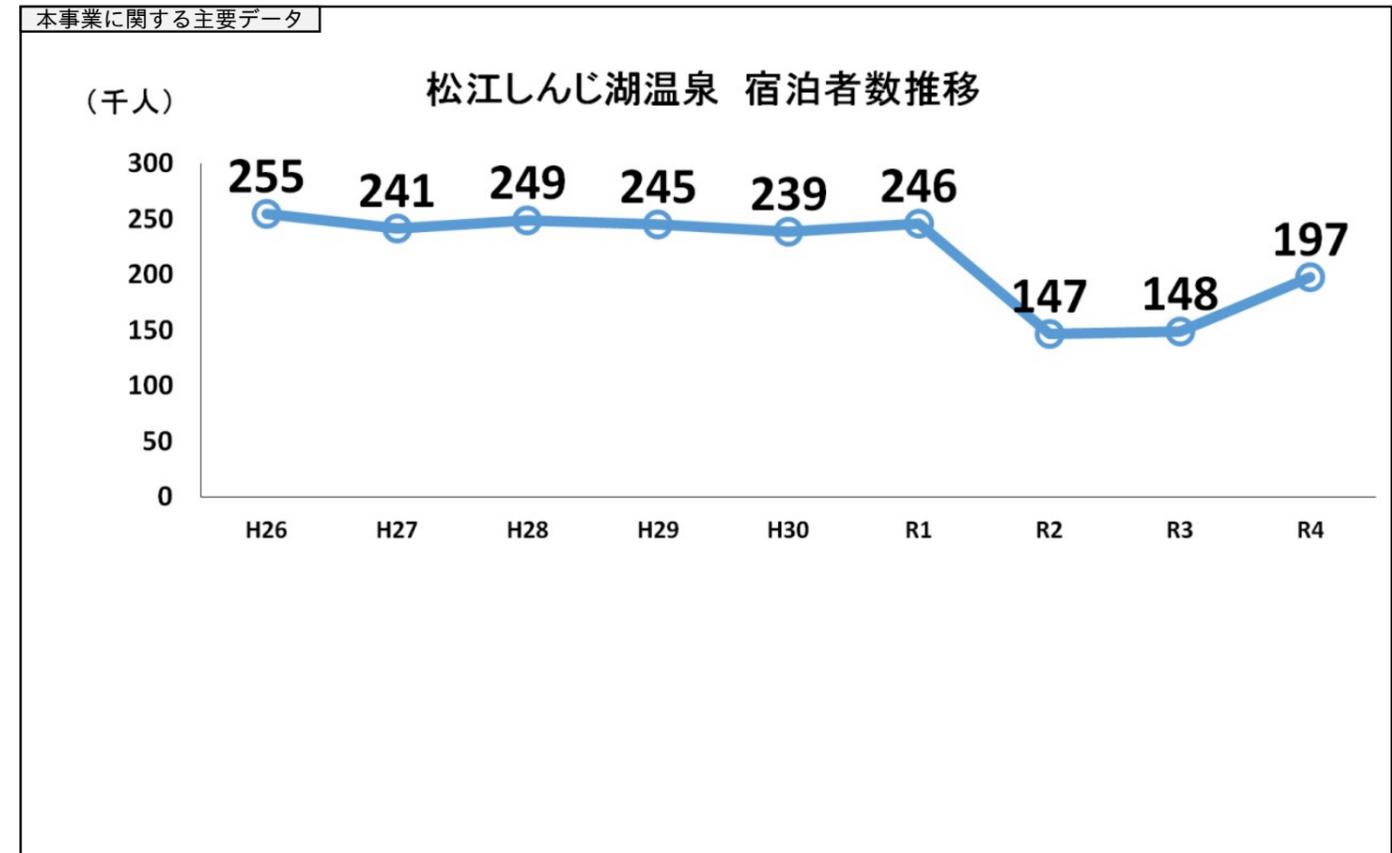
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	実績なし	<ul style="list-style-type: none"> ○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○宣伝広告事業 ○温泉街環境整備（街灯・足湯・植栽管理） ○温泉駅での看板広告設置 ○松江しんじ湖温泉まちづくり計画に基づく事業
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	0	2,922
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,922
歳入合計		0	2,922

課題	○松江しんじ湖温泉の宿泊客数の増につなげるため、ブランド力を高める必要がある	方向性	○宿泊施設等との連携を図り、効果的な誘客企画やプロモーションを実施する
----	--	-----	-------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	補助金交付		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,922		
事業費計		2,922	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	ジオパーク推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ジオパークの取組を通じて、大地の成り立ちと生態系、歴史文化を学び、見つめ直すことで、ふるさとへの誇りと愛着を高める。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ・地球の貴重な遺産をまもり、次世代に引き継ぐ ・持続可能な地域づくりのために挑戦する人材を育てる ・多くの来訪客にジオ・エコ・ヒトを伝えることで、地域振興や観光振興につなげる	松江ビジターセンター年間来場者数（人）	4,600	4,700	4,800	5,500
		認定ガイド総数（延べ人数）	55	65	75	100
	ジオサポ年間登録者数（人）	399	455	460	500	

事業概要
<p>（数値目標の目標年度） 松江ビジターセンター年間来場者数及び認定ガイド総数、ジオサポ年間登録者数：2029（R11）年度</p> <p>本ジオパークは、ふるさとへの誇りと愛着を高め、人材育成を促進するため、保全・保護や教育などの活動に取り組むとともに、観光や産業などの地域振興につなげる活動に取り組んでいる。神話の地ならではの「出雲国風土記の自然と歴史に出会う大地」をテーマに、新たに策定した推進行動計画（令和4年度から4年間の計画期間）にもとづき官民挙げた取り組みを推進していく。 また、令和3年度日本ジオパーク再認定審査で指摘された課題などについて、令和7年度に行われる次の再認定審査までに改善を図る。</p>

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>○推進協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4～7年度推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）の策定 令和3年度日本ジオパーク再認定審査での指摘事項への回答 主なジオサイトのモニタリング（6ヶ所） 防災・減災シンポジウムの開催（12/17） 島根大学とのパートナーシップ協定締結（9/2） 看板整備（3枚） ジオガイドの養成やスキルアップ講座の開催（11回） など 	<p>○推進協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ジオサイトのデータベース化 保全管理計画の策定 ブランディング戦略の策定 自然災害対策に特化した教育プログラム作成 パートナーシップ協定締結 看板整備 ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 など 	<p>○推進協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 保全管理計画にもとづく地球環境の保全活動 自然災害対策に特化した教育プログラムにもとづく地域住民向け講座開催 パートナーシップ協定締結 看板整備 ジオガイドの養成、スキルアップ講座の開催 など
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

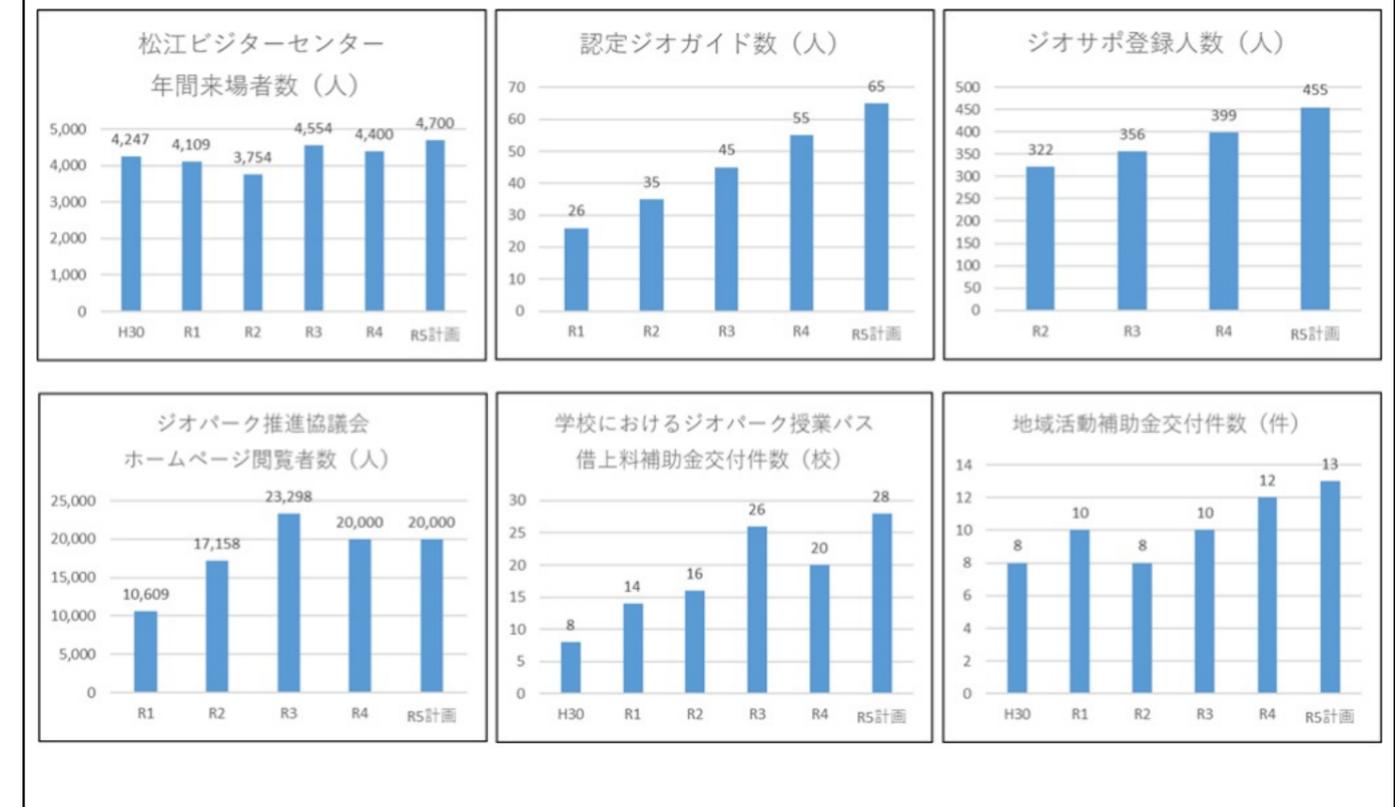
歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	10,635	10,709
国・県支出金	0	0
地方債	0	0
その他	10,635	10,709
一般財源	0	0
歳入合計	10,635	10,709

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ジオパークの認知度向上 より多くのジオパークサポーターを募ることでの自主財源の獲得 全国のジオパークとの連携強化 	<p>令和4年度から4年間の計画期間で策定した推進行動計画（マスタープラン、アクションプラン）にもとづき、松江・出雲両市の連携を図り、島根大学などの教育機関や地域団体・住民、企業、全国のジオパークなどの協力を得ながら着実に活動を実行し、観光振興や地域振興につなげていく。</p>

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	ジオパーク推進協議会臨時総会の開催	通年	ブランディング戦略の策定
	3月	ジオパーク推進協議会定例総会の開催	通年	自然災害対策に特化した教育プログラム作成
	通年	ジオサイトのデータベース化	通年	パートナーシップ協定締結
通年	保全管理計画の策定	通年	看板整備	

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,778		
職員手当等	371		
共済費	365		
旅費	180		
負担金補助及び交付金	8,015		
事業費計			10,709

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	地域花火実証事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域花火の開催を支援し、地域の賑わい創出と地域コミュニティの活性化を図る。	項目（成果指標） 数値目標になじまない	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	地域の賑わい創出。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	地域花火の開催支援		
	9月～	効果検証		

事業概要	<p>○地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：事業費の1/2・上限20万円 交付対象者：地域花火の主催団体
------	---

本事業に関する主要データ	
<p><令和4年度に開催された地域花火></p> <p>秋鹿夏祭り元気花火、鹿島納涼花火大会、御津花火大会、大芦花火大会、沖泊花火大会 七類地区花火大会、片江地区花火大会、やくも夏祭り、穂掛祭(東出雲町)</p> <p>※情報を把握したもののみ掲載</p>	

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
		<p>○地域花火実証事業補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助率：事業費の1/2・上限20万円 交付対象者：地域花火の主催団体 予算額：20万円×20件＝400万円 <p>○効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催者や参加者へのアンケート調査を実施。 	
	達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		0	4,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	4,000
歳入合計		0	4,000

課題	○コロナ禍の影響等により地域の伝統行事やイベントが減少し、地域住民が集う場、賑わいの場が少なくなっている。	方向性	○地域花火の開催を通じ、地域活性化につながるようサポートする。
----	---	-----	---------------------------------

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	4,000		
事業費計			4,000

令和5年度 総合計画実施計画

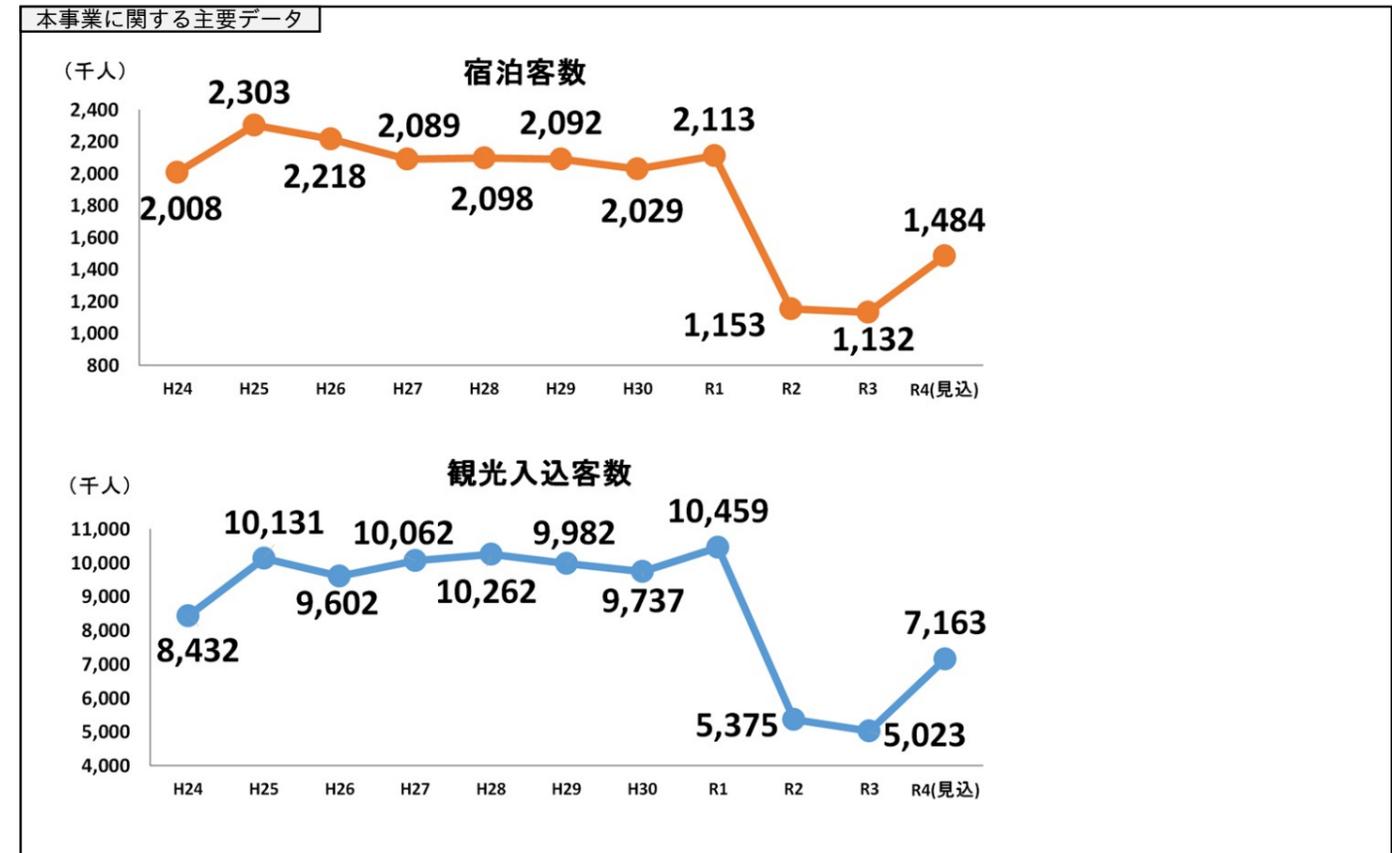
所属	事業名
観光部観光振興課	W i - F i スポットサービス管理運営費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市内にフリーW i - F i スポットを設置し、国内外からの観光客の利便性を高める	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入り込み客数（万人）	716	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	フリーW i - F i のサービス提供		

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	○市内にフリーW i - F i スポットを設置し、観光客が情報収集や発信しやすい環境を整える スポット数49カ所



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○フリーW i - F i スポット49カ所分の運営	○フリーW i - F i スポット49カ所分の運営	○フリーW i - F i スポット49カ所分の運営
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		1,827	1,828
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,827	1,828
歳入合計		1,827	1,828

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	861		
負担金補助及び交付金	967		
事業費計		1,828	

課題	通信速度や同時接続数が十分でないスポットもあり、増強・増設の検討が必要。	方向性	利用状況の分析やニーズの把握を行い、必要に応じて増強・増設を検討する。
----	--------------------------------------	-----	-------------------------------------

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	美保関観光振興事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
		観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100

（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年

美保関町の観光振興を目的とする美保関地域観光振興協議会に対し、事業及びその実施に必要な人件費などの経費への補助を行う。美保関町の観光振興を図る為、美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。美保関特有の自然環境や美保神社、青石畳通りなどの既存観光資源の魅力を見直し、未活用資源の顕在化を図るとともに、体験プログラムの充実など観光客のニーズに合わせた新たな付加価値を加えるなど、滞在型観光の促進を図る。

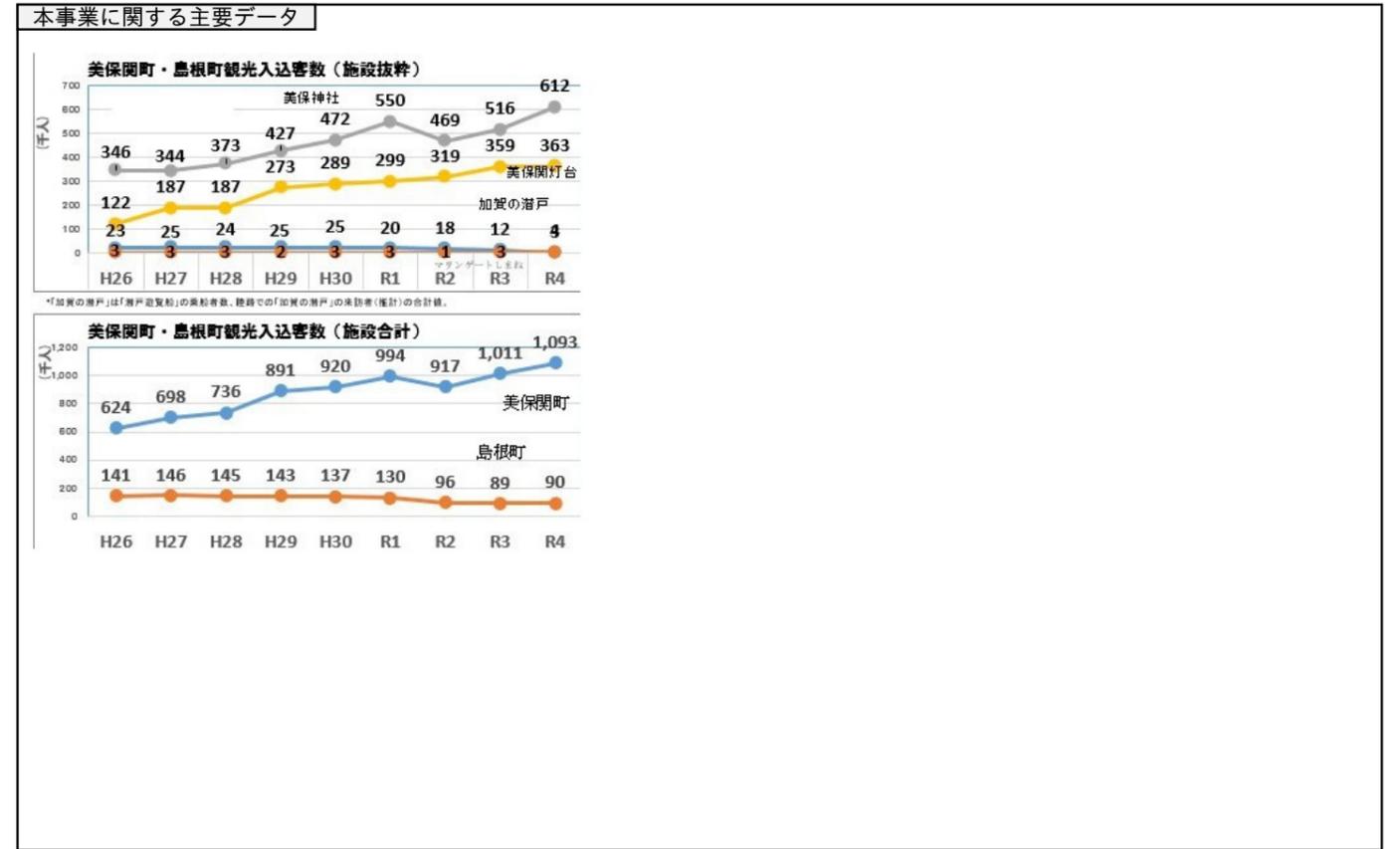
	R4実績見込	R5計画	R6計画
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業 	<ul style="list-style-type: none"> 【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業 	<ul style="list-style-type: none"> 【観光振興対策基本事業】 ・地域資源を活かした誘客事業 ・来訪者増加のための対策事業 ・滞在型観光地としての対策事業 ・情報発信事業 【観光・物産PR強化事業】 ・情報発信事業 【地域活性化活動支援事業】 ・「商売繁盛の神」の地域的発信と誘客対策 ・「歌舞音曲の神」の全国的発信と誘客対策 ・正調関乃五本松節保存会と連携したイベント対応 ・えびす音曲祭の開催 【インバウンド対策事業】 ・インバウンド対策促進基本事業
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	11,610	11,610
	国・県支出金		0
	地方債		0
	その他		0
	一般財源	11,610	11,610
歳入合計		11,610	11,610

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ○観光客のニーズに対応した観光商品づくりと効果的なプロモーションを行っていくため、地域住民との連携強化が求められる。 ○地域における消費拡大の仕掛けづくり。 	<ul style="list-style-type: none"> ○美保神社など、地域の観光資源と特色を最大限に活かした観光事業を実施する。 ○自然資源を活かした体験型観光の推進。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	今年度事業計画確認（観光振興協議会開催）		
	9月	次年度事業計画確認		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	11,610		
事業費計			11,610

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	「怪談のふるさと松江」事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「怪談」という新しいテーマによる観光素材を利用して効果的に情報発信することで、新たな観光客層からの観光誘客を推進する。※令和元年度の松江怪喜宴来場者のうち52.6%が県外客（来場者アンケートより）。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	<p>「松江怪喜宴」（①松江怪談談義と②酒林堂八雲）の開催。</p> <p>①松江怪談談義：小泉凡氏と観光大使木原浩勝氏による怪談対談 平成25年度開始</p> <p>②酒林堂八雲：観光大使茶風林氏（声優）企画演出による怪談朗読会 平成26年度開始</p> <p>○主催：松江怪喜宴実行委員会（市が事務局）</p> <p>○実行委員会に補助金を交付する</p>

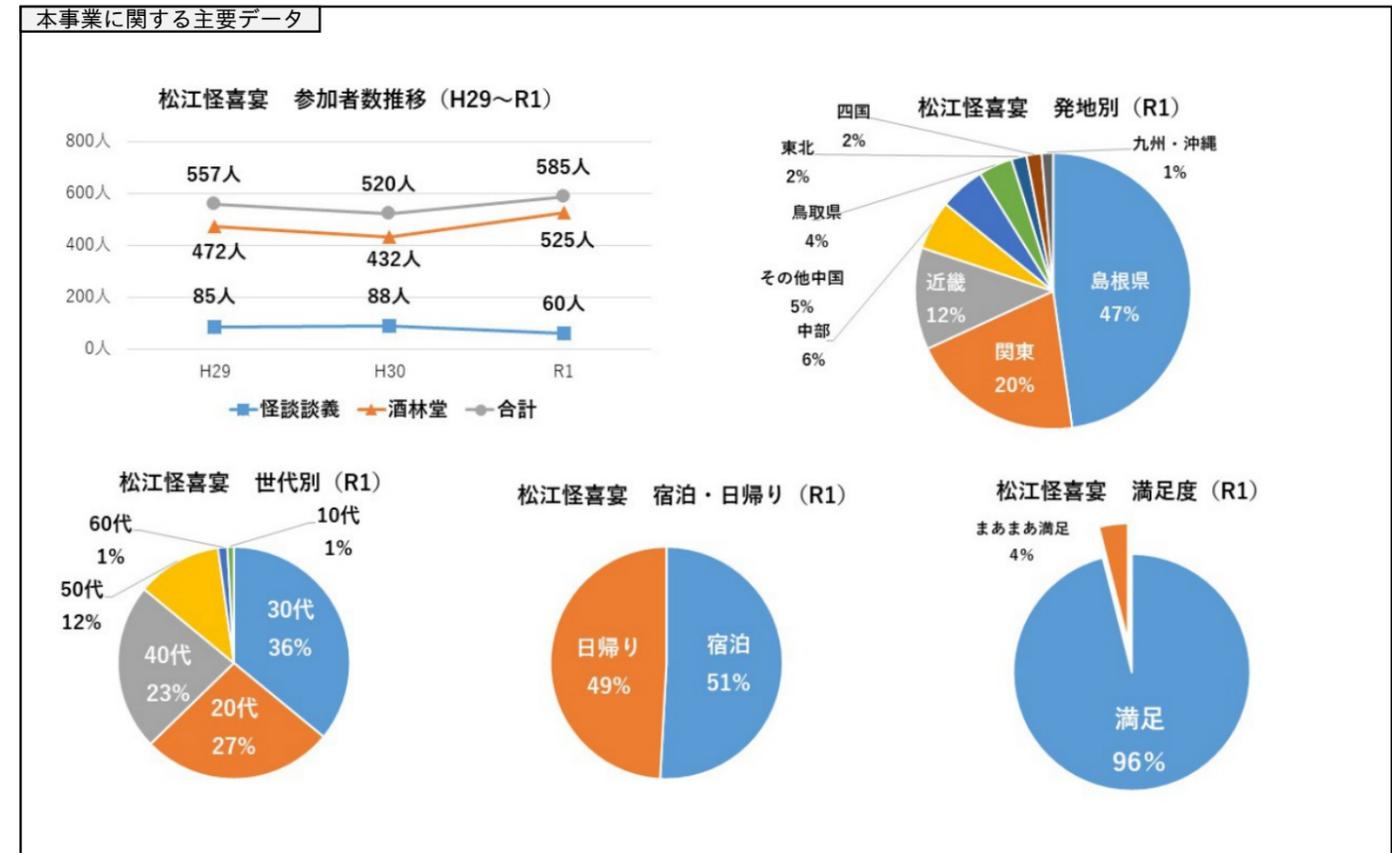
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○松江怪喜宴（松江怪談談義・酒林堂八雲）の開催中止 令和4年9月予定を令和5年1月に延期したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会	○松江怪喜宴の開催 ・松江怪談談義 怪談をテーマにしたトークイベント ・酒林堂八雲 声優による怪談朗読会
	達成度		
3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	600	2,200
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	600	2,200
歳入合計		600	2,200

課題	○松江怪喜宴（松江怪談談義・酒林堂八雲）の参加者は5割以上の参加者が県外観光客であり、「怪談を活用した新たな観光誘客」という目的を達成しているものの、まだ「怪談のふるさと松江」の認知度が高いとは言えない。	方向性	○今後も人気の声優を活用し、怪喜宴の付加価値を高めたり、新たな企画を展開することで、「怪談のふるさと松江」の知名度を高める。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～開催まで	内容について関係者との協議		
	6月	プレスリリース		
	7月	チケット販売開始		
	秋頃	松江怪喜宴の開催		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,200		
事業費計		2,200	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲記念館管理運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	小泉八雲の功績を後世に伝える施設として、小泉八雲の遺品、図書、資料等を収集、保管、展示を行う。多様な市民のニーズに応え、交流、発表、学びの場を提供する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	来館者数（人）	49,167	72,000	80,000	88,000	
	目標（何を達成するのか）					
	<ul style="list-style-type: none"> 小泉八雲の顕彰並びに、普及啓発を行う。 適切な施設管理、運営を行う。 企画展などを開催し、情報発信を行う。 					

事業概要	<p>指定管理制度にて小泉八雲記念館の管理運営を行うもの。</p> <p>指定管理者：一般社団法人八雲会 指定管理期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本施設は、指定管理制度を活用し施設の活用を図っている。 小泉八雲の遺品、図書、資料等を活用し、企画展を開催する。 法定点検等施設管理を行う。
------	---

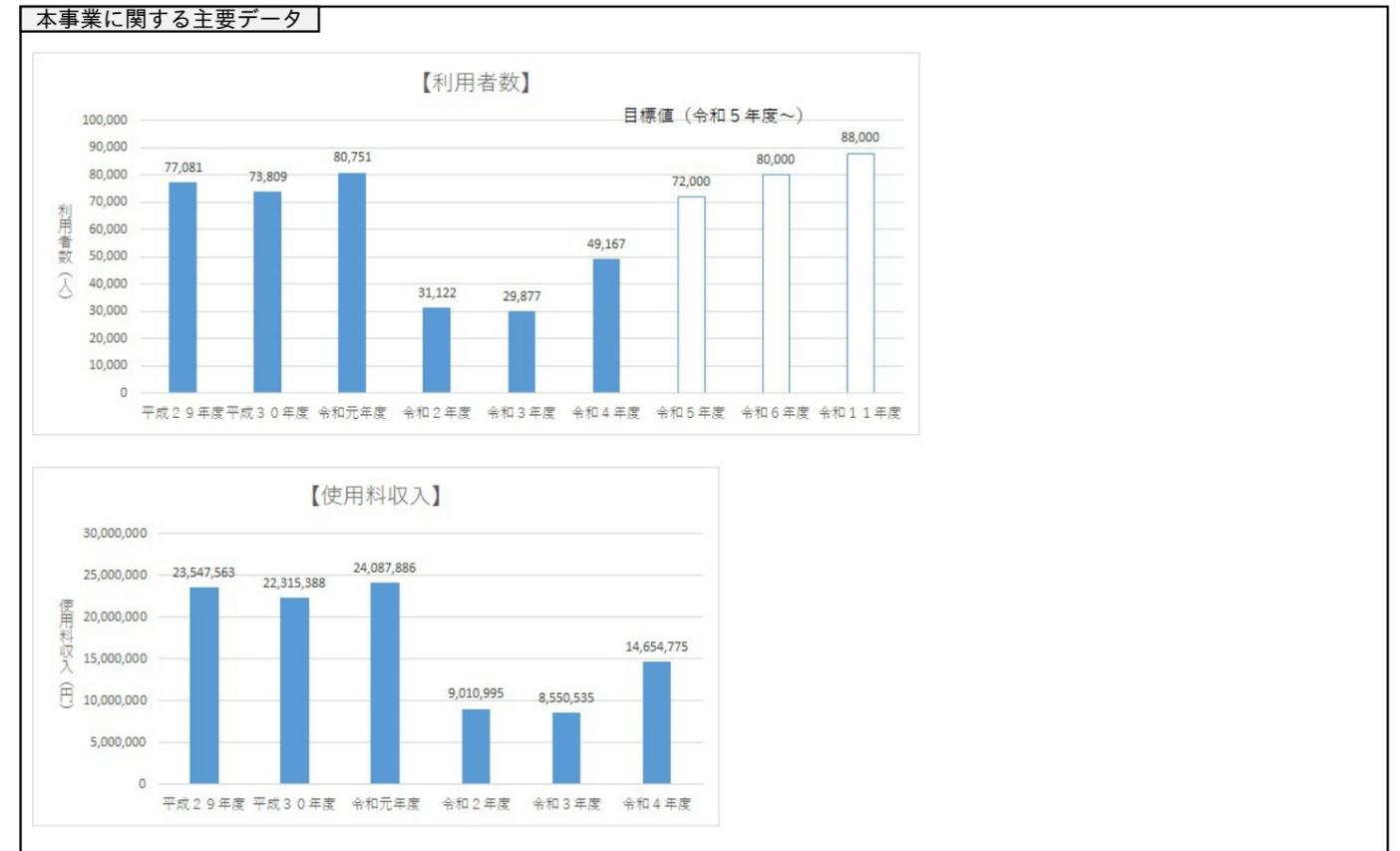
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>企画展「虫の詩かそけきものの声を愛す」 開催：令和4年6月26日～令和5年6月11日</p> <p>指定管理料 30,806,000円</p>	<p>企画展1「アイルランド・日本交流美術展」 開催：令和5年6月27日～令和5年9月24日</p> <p>企画展2「小泉清一その生涯とコレクション展」 開催：令和5年10月6日～令和6年6月11日</p> <p>指定管理料 20,032,000円 利用料金制へ移行</p>	指定管理料 未定
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		35,012	24,030
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	35,012	
	一般財源	0	24,030
歳入合計		35,012	24,030

課題	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 学芸部門の強化による調査研究機能の充実 国内外への情報発信 来館者数の増加 小泉八雲記念館と旧居の一体的な活用 隣接市有地の活用 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 小泉八雲の研究拠点として、小泉八雲旧居と合わせて施設のあり方を整理する必要がある。 松江城を始めとする、周辺の文化・観光施設と連携しながら、より質の高い文化施設として位置付ける。 入館者数の目標値として、令和6年度には、令和元年度（80,000人）並みの入館者数への回復を目指す。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～9月	企画展1		
	6月～8月	令和6年度指定管理(非公募)に向けて準備		
	10月～	企画展2		
	11月	令和6年度指定管理(非公募)11月議会議案提出		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	3,432		
共済費	566		
委託料	20,032		
事業費計		24,030	

令和5年度 総合計画実施計画

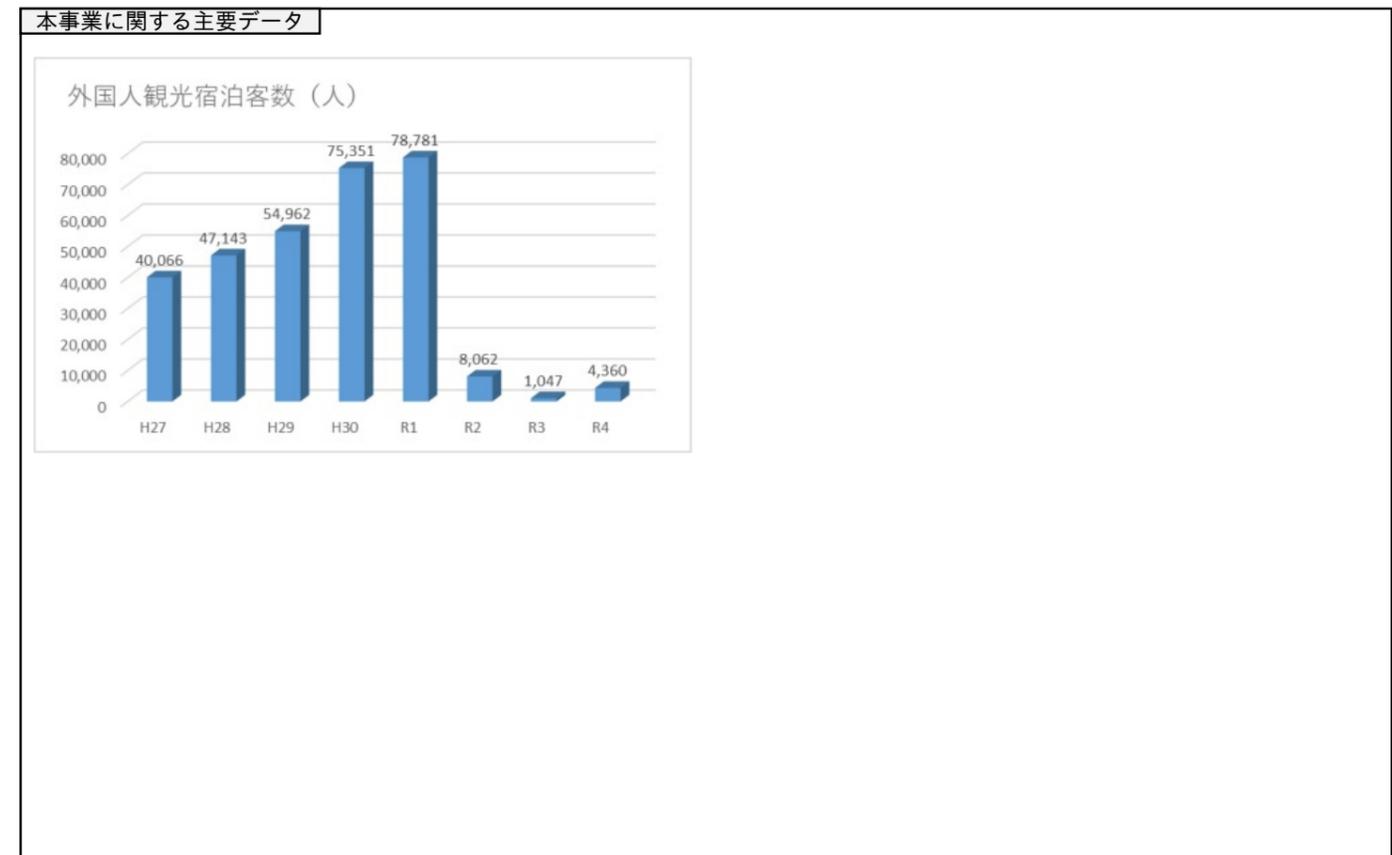
所属	事業名
観光部国際観光課	インバウンド観光推進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	海外に向けたプロモーション、情報発信を行うとともに、外国人観光客が快適に滞在、周遊できる環境整備を行い、更なる誘客につなげる。	項目（成果指標） 外国人観光宿泊客数（人）	R4実績見込 4,360	R5計画 40,000	R6計画 70,000	目標値 150,000
	目標（何を達成するのか）					
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	各種情報発信		
	通年	商談会・イベント等によるPR		

事業概要	<p>（数値目標の目標年）外国人観光宿泊客数：2029（R11）年</p> <p>1 海外に向けたプロモーション (1) 重点市場 東アジア・欧米豪・東南アジア (2) 事業内容 ①旅行会社への営業、商談会への参加による商品造成促進 ②SNS等を活用した情報発信やイベント等への出展によるPR活動</p> <p>2 国内在住外国人等の発信力を活用した国内外へのアプローチ</p> <p>3 受入環境整備 外国語パンフレット、マップ作成等</p>
------	--



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○台湾 SNS等での情報発信、イベント出展、商談会参加 市長トップセールス（旅行会社へのプロモーション等） ○韓国 ブログ運営、専門職員配置 ○フランス 旅行博出展、国内在住のフランス人をターゲットとしたプロモーション ○タイ SNSでの情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社への営業活動、国際交流員による情報発信、JNTOを活用した情報発信、オンライン商談会 ○受入環境整備 外国語パンフレット作成	○台湾 サイクリングをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社へのプロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社セールス、SNS等での情報発信、旅行博出展 ○タイ SNSでの情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社へのセールス、国際交流員による情報発信、JNTOを活用した情報発信	○台湾 サイクリングをテーマとしたプロモーション、現地旅行会社プロモーション、SNS等での情報発信 ○韓国 ブログ運営、専門職員配置、旅行会社へのプロモーション ○フランス 在住フランス人をターゲットとしたプロモーション、旅行会社セールス、SNS等での情報発信、旅行博出展 ○タイ SNSでの情報発信 ○共通 訪日旅行を取り扱う国内旅行会社へのセールス、国際交流員による情報発信、JNTOを活用した情報発信
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	9,700	19,469
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,700	19,469
歳入合計		9,700	19,469

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	2,912		
需用費	150		
役務費	100		
委託料	15,129		
使用料及び賃借料	80		
負担金補助及び交付金	1,098		
事業費計		19,469	

課題	海外における本市の認知度が低いため、継続的な情報発信と旅行会社へのアプローチが必要不可欠である。	方向性	SNS等の活用や対面あるいはオンラインセールスなど、その時々での最適な手法により情報発信や営業活動を実施していく。
----	--	-----	---

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	広域観光周遊ルート整備促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広島を中心に多くの外国人観光客が訪れる山陽方面と当市を縦軸で結ぶ周遊ルート確立し、当市への外国人観光客誘致につなげる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕	外国人観光宿泊客数（人）	4,360	40,000	70,000	150,000

事業概要	(数値目標の目標年) 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	多くの外国人観光客が訪れる広島からの誘客を図るため、外国人観光客を対象に広島松江間高速バスのワンコイン（500円）化を実施する。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	広島松江間の高速バスワンコイン事業 R4年度利用見込み者数 2,100人	広島松江間の高速バスワンコイン事業 R5年度利用見込み者数 3,000人	広島松江間の高速バスワンコイン事業 R6年度利用見込み者数 5,000人
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

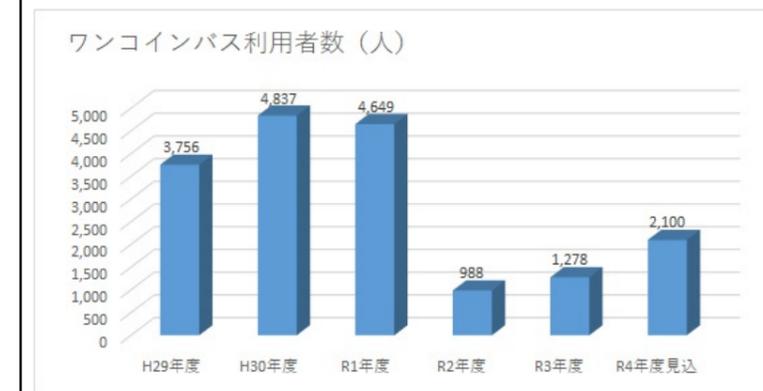
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,349	3,249
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,349	3,249
歳入合計		2,349	3,249

課題	新しいデスティネーションとして本市を選んでもらうため、認知度向上を図っていくことが必要。	方向性	当該事業の認知度の向上を図るため、山陽方面の関係機関や山陰インバウンド機構と連携し、情報発信を強化していく。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	広島松江間高速バスワンコイン化事業		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	249		
負担金補助及び交付金	3,000		
事業費計		3,249	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部国際観光課	外国人滞在型観光促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市への訪日旅行客の増加を図ることにより、観光事業の振興・発展に寄与することを目的とする。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	外国人観光宿泊客数 150,000人〔2029（R11）年〕	外国人観光宿泊客数（人）	4,360	40,000	70,000	150,000
	目標（何を達成するのか）					

事業概要	（数値目標の目標年） 外国人観光宿泊客数：2029（R11）年
	松江観光協会が訪日団体旅行誘致のために行う事業に対し補助金を交付する。 ＜事業内容＞ 市内宿泊施設を利用する訪日団体旅行を企画・実施、手配する旅行者に対し、1人1泊あたり2,000円を補助する。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 1,140人・泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 3,800人・泊分	外国人滞在型観光促進事業費補助金交付見込み 7,000人・泊分
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,150	6,900
	国・県支出金	2,150	
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	6,900
歳入合計		2,150	6,900

課題	新しいデスティネーションとして松江を選んでもらい、観光地としての評価を高めていくことが必要。	方向性	訪日旅行を取り扱う旅行会社に対し補助金を交付することで、旅行商品の新規造成を促進するとともに、既存旅行商品の継続販売を促していく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	インバウンド強化事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	補助金受理申請～交付手続き		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,900		
事業費計		6,900	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	広域観光推進事業費

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	広域連携によるプロモーションを実施し、観光誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
	目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7月	負担金支払い		
	9月	次年度補助金及び負担金調査		

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>県内、中海・宍道湖・大山圏域、山陰、中国地方などの自治体等と広域連携し、プロモーションを実施して誘客を図る。</p>
------	---

本事業に関する主要データ	
<p>負担金支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会 	

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p><広域連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会 	<p><広域連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県観光連盟 ○広島地区観光情報発信事業 ○中海・宍道湖・大山圏域観光局 ○山陰観光連盟 ○山陰花めぐり協議会 ○中国広域観光連絡協議会
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		15,317	14,955
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	15,317	14,955
歳入合計		15,317	14,955

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	400		
需用費	35		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	14,515		
事業費計		14,955	

課題	○広域連携を図り、より効果的な事業を実施する必要がある	方向性	○県内や隣県自治体等との連携を強化し、観光誘客、周遊促進を図る
----	-----------------------------	-----	---------------------------------

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	大会団体受入経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンション誘致促進を図るため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能の提供を行う。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250	
	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100	
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>松江市で開催されるコンベンション誘致を進めるため、大会主催者に対して歓迎用看板及び郷土芸能を提供するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託開始：平成17年度～ ○委託先：（一財）くにびきメッセ ○委託目的：コンベンション主催者の利便性確保と事業の効率化を図る
------	---

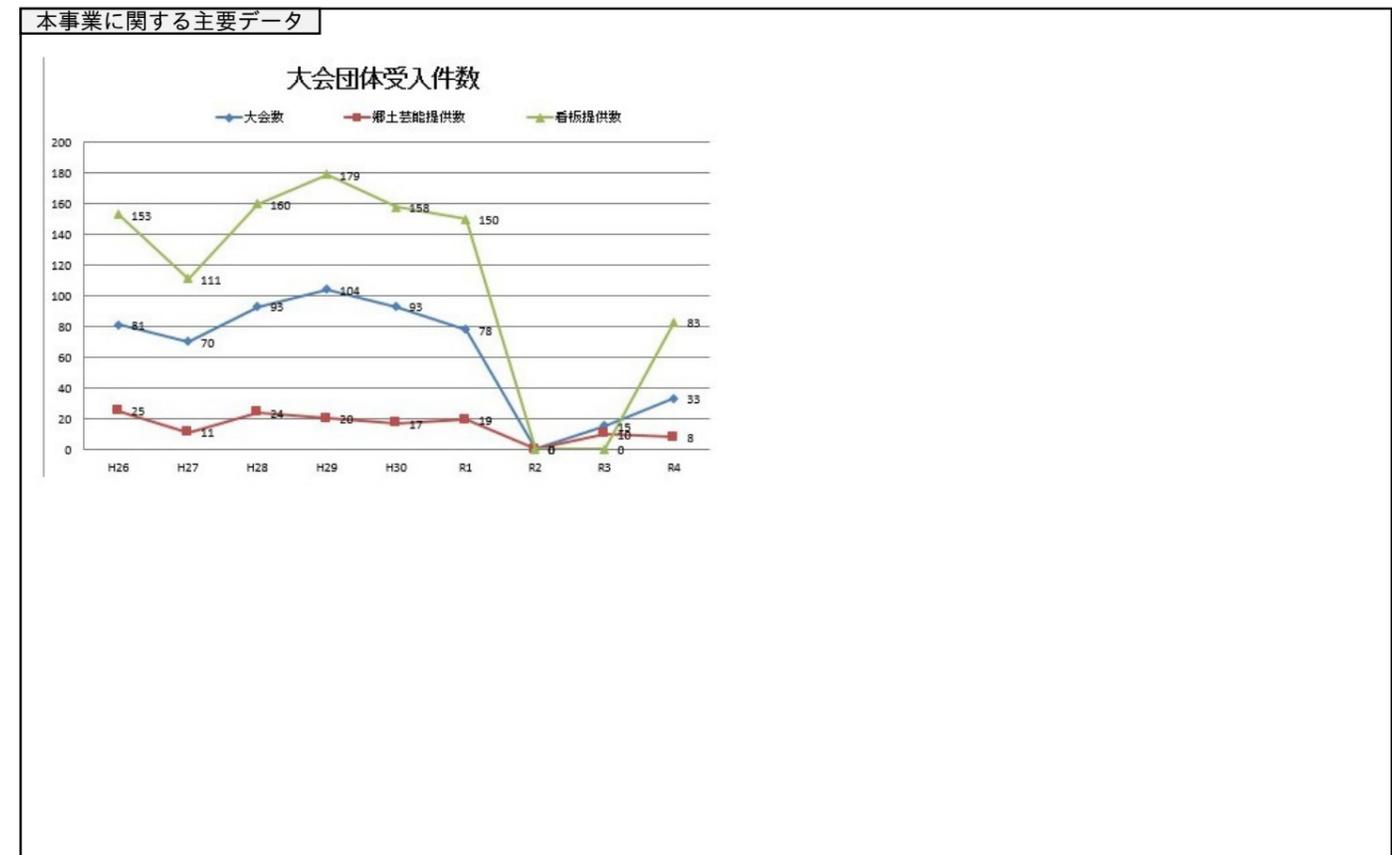
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・歓迎看板の提供 ・郷土芸能の提供
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		1,085	1,316
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,085	1,316
歳入合計		1,085	1,316

課題	大会主催者、参加者のニーズを把握し、満足度を高める必要がある。	方向性	誘致活動を行うくにびきメッセと連携を密にし、開催地としての魅力を高める。
----	---------------------------------	-----	--------------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	開催状況確認		
	9月	次年度開催状況確認		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,316		
事業費計		1,316	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	ボランティアガイド事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れる国内外の観光客の満足度向上	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の9割を目指す。	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
		観光入込客数	714	941	1,000	1,100

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江観光ガイド活動推進協議会を組織し、「松江ボランティアガイドの会」「松江グッドウィルガイド連絡会」の活動を支援することで、観光客へのおもてなしの充実を図る。 ※松江ボランティアガイドの会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料） 松江グッドウィルガイド連絡会・・・日曜常駐ガイド（無料）、依頼ガイド（有料）

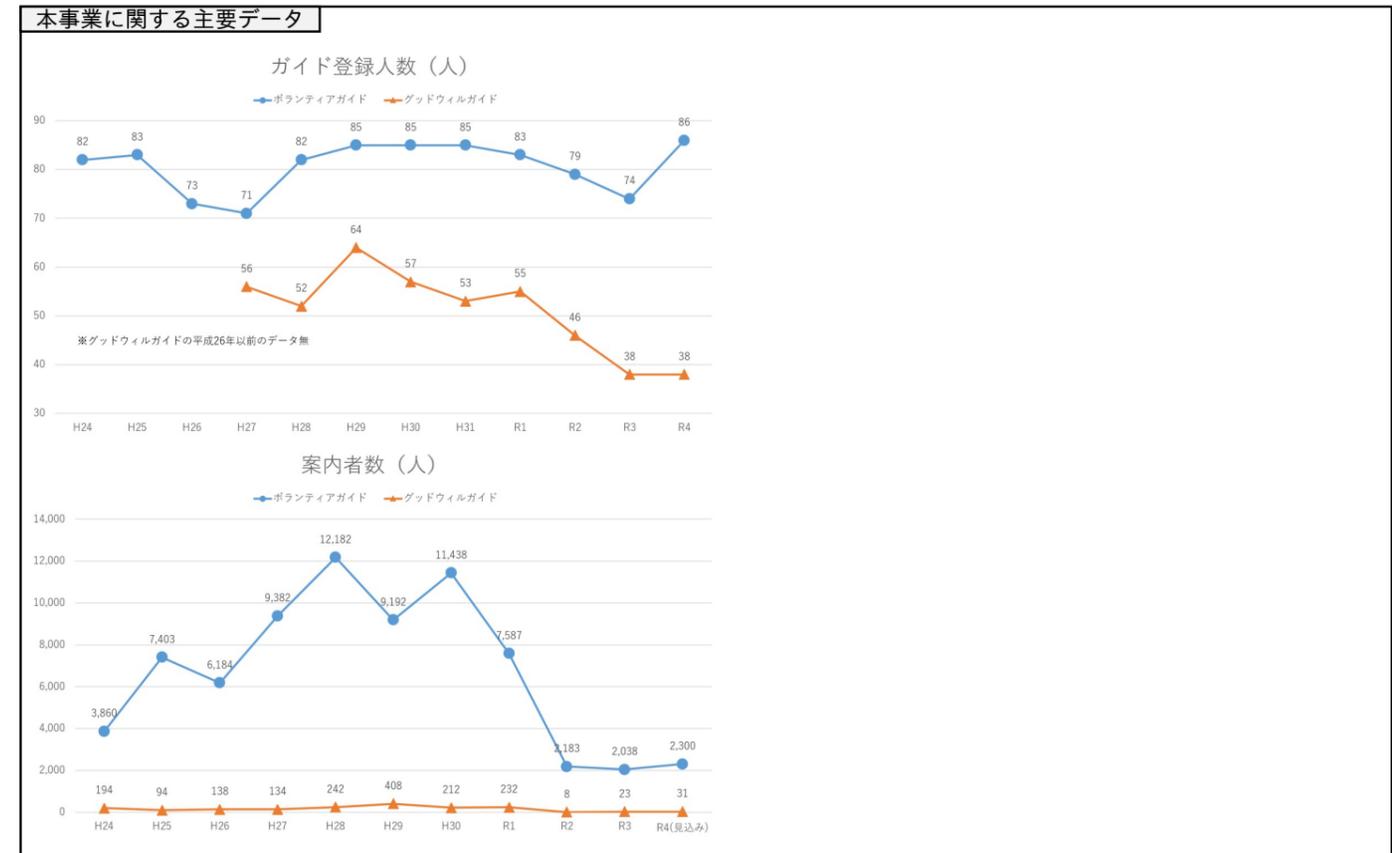
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援	○松江観光ボランティアガイドの会支援 ○松江グッドウィルガイド支援
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	175	175
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	175	175
歳入合計		175	175

課題	ガイドのニーズが高まっていることから、新たなガイドの確保が必要。	方向性	ガイドの活動を市民に知ってもらい、ガイド会員数を増やす。
----	----------------------------------	-----	------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	日曜日	松江城での無償ガイド		
	随時	有償のオーダーガイド		
	随時	外国人観光客向け通訳ガイド		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	175		
事業費計		175	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	松江国際観光案内所管理運営委託費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江国際観光案内所において、観光客への情報提供や各種案内を行い、国内外の観光客が安心して過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250
目標（何を達成するのか）	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100	
年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数とも令和元年の9割を目指す。						

事業概要	(数値目標の目標年度) 年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年
	松江国際観光案内所の管理運営を松江観光協会に委託。国内外の観光客への情報提供、案内を行う。日本政府観光局により常時英語での対応が可能なカテゴリー2に認定されている。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内 利用実績 65,000人（うち外国人1,100人）	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内	○松江国際観光案内所管理運営 観光施設、宿泊施設、飲食店、交通等の案内
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	22,000	21,856
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	22,000	21,856
歳入合計		22,000	21,856

課題	○松江市の情報に加え、より広範囲な情報提供が求められる	方向性	○他の自治体の観光案内所とも連携し、広範囲な観光案内を目指す。 ○インバウンドに対応し、外国語での情報提供の充実を図る。

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	JR松江駅北口案内所にて観光案内		
	通年	インバウンド対応		

本事業に関する主要データ



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	21,856		
事業費計		21,856	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	コンベンション対策事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市で開催されるコンベンションを誘致し、地域経済の活性化を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	145	190	211	250	
	観光入込客数（万人）	714	941	1,000	1,100	
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す					

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）観光宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029年（R11）年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助：大会規模、延べ宿泊者数に応じて主催団体へ補助金交付 ○コンベンション観光バス運行補助：エクスカーションや懇親会会場への移動に利用するバスの借上げ経費を補助 ○くにびきメッセ負担金（人件費）
------	--

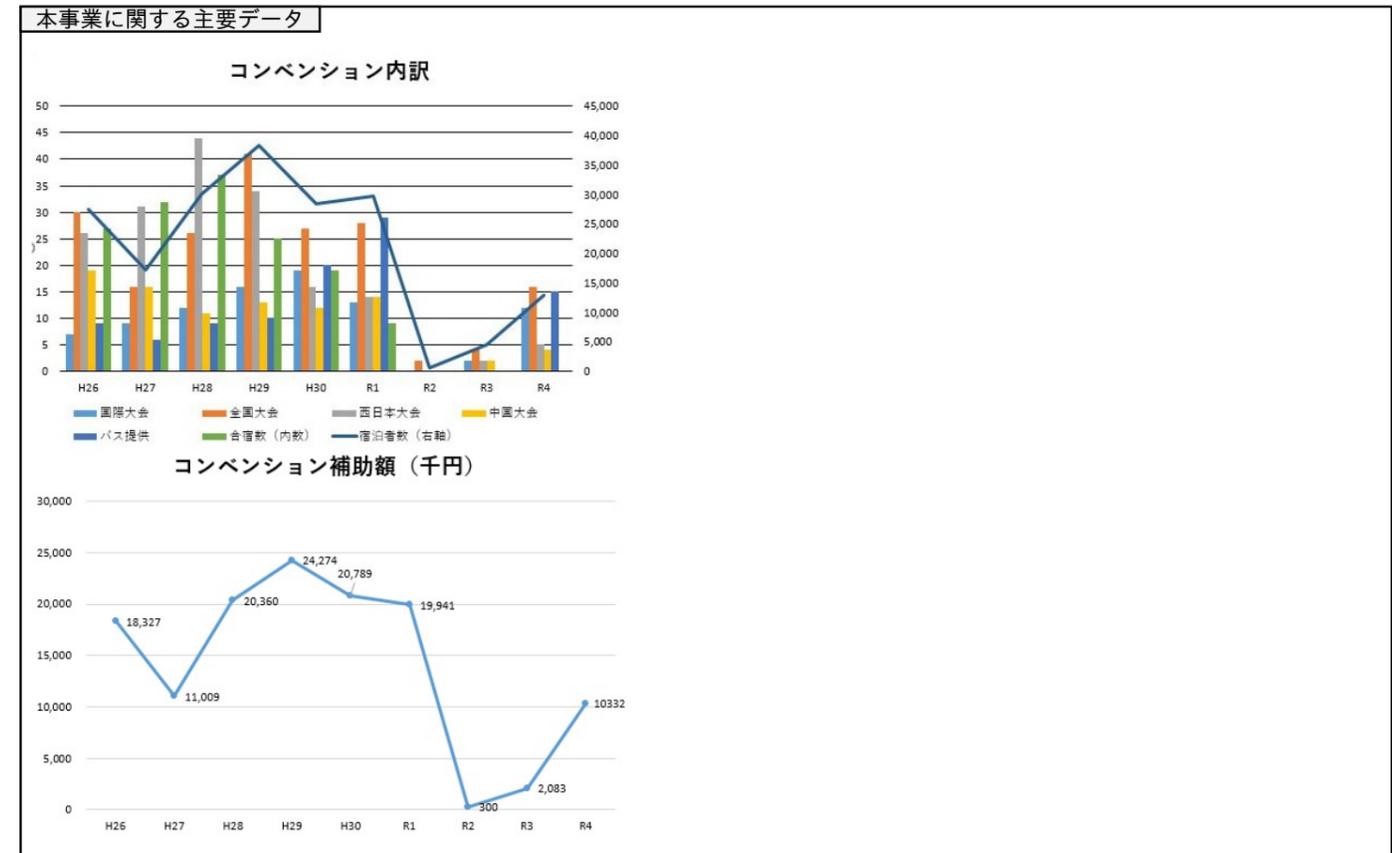
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 ※開催27件（国際4件・全国16件、西日本5件、中国12件、合宿0件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金 ※開催予定52件（国際10件・全国5件、西日本8件、中国4件、合宿25件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンベンション開催支援補助 ○コンベンション観光バス運行補助 ○くにびきメッセ負担金
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		17,254	20,247
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	17,254	20,247
歳入合計		17,254	20,247

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○主催団体や参加者のニーズを捉え、開催地としての魅力を高める。 ○アフターコンベンションの消費拡大を図る仕掛けづくりが必要。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○エクスカーションやユニークメニューの充実を図ることで、誘致を促進する。 ○民間事業者や関係機関との連携を図り参加者の消費拡大を図る。
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	開催状況及び予定確認		
	9月	次年度開催予定確認		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	20,247		
事業費計		20,247	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光客受入事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	旅行会社へのレイクライン1日乗車券提供による旅行商品の販売促進、映画やテレビ番組のロケ誘致による情報発信を通して誘客を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250	
	観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100	
	目標（何を達成するのか）					
	年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す					

事業概要	(数値目標の目標年度) 観光宿泊客数：2029(R11)年、観光入込客数：2029(R11)年
	①エージェント旅行商品タイアップ事業 観光客の誘致と認知度向上を図る為、レイクラインや松江市の観光素材・旅行商品を旅行パンフレットなど募集媒体に掲載することを条件に、レイクラインの1日乗車券を提供する ②松江フィルムコミッション協議会負担金 松江市のイメージアップに繋がる映像や画像等を露出しロケ地巡り等観光客の誘客を図る為、松江市近郊で行う映画、ドラマ等の撮影先や雑誌の取材先紹介及び同行してのサポート

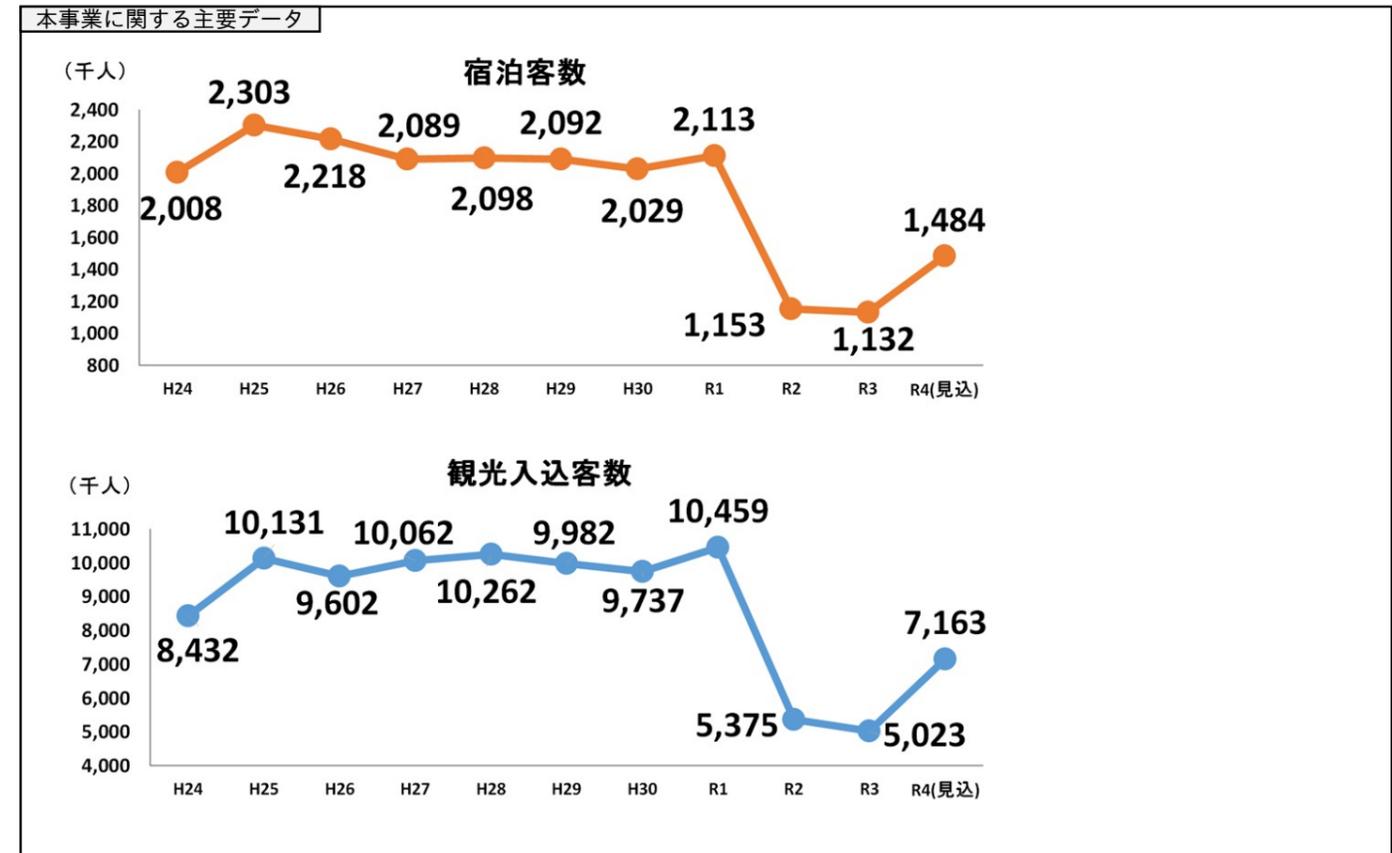
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○レイクライン1日乗車券提供 見込み8商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 見込み50件	○レイクライン1日乗車券提供 見込み30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 見込み50件	○レイクライン1日乗車券提供 見込み30商品 ○ロケ、取材の誘致・支援 見込み50件
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	10,743	13,416
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	10,743	13,416
歳入合計		10,743	13,416

課題	○旅行会社の商品造成、販売を促進することで誘客を図る必要がある ○映画やテレビ番組のロケ、メディアの取材のニーズを把握する必要がある	方向性	○旅行会社への営業ツールとしてレイクライン乗車券提供を効果的に活用 ○フィルムコミッション協議会構成団体等の連携を強化し、誘致を促進する

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容



R5節別当初予算額内訳 (千円)			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	13,266		
負担金補助及び交付金	150		
事業費計			13,416

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	観光バリアフリー推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江を訪れるすべての観光客が快適に過ごせる環境を整える。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す。 ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
		観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100

事業概要	（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年 松江バリアフリースターセンターを運営し、観光バリアフリーを推進するNPO法人プロジェクトゆうあいに対して補助金を交付する。
------	---

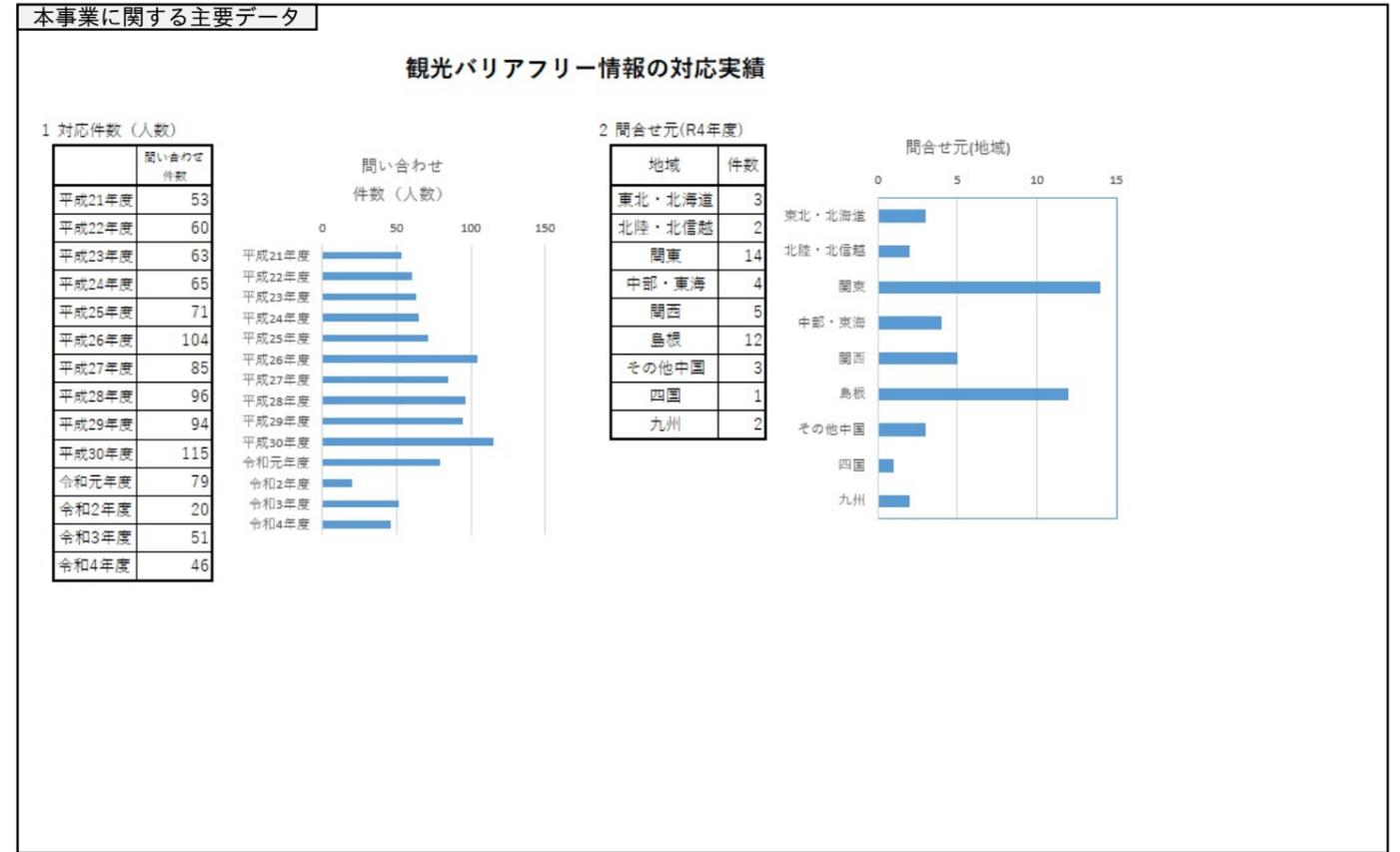
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネーター	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネーター	○松江バリアフリースターセンター運営補助 ・バリアフリー状況調査・情報発信 ・観光関係者対象の研修実施 ・旅行相談、介助コーディネーター
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		800	800
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	800	800
歳入合計		800	800

課題	○障がい者、高齢者等が快適に滞在できる環境づくりのため、ニーズや課題の把握が必要 ○バリアフリー観光地づくりのために観光関連事業者の連携が必要	方向性	○松江バリアフリースターセンターや観光関係機関と連携して取り組む
----	--	-----	----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	旅行者への対応		
	通年	問い合わせの対応		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	800		
事業費計		800	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
観光部観光振興課	閑散期誘客対策事業費補助金

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	年間の観光入込客数1,100万人、年間宿泊客数250万人を達成するため、観光客の落ち込む梅雨時期、冬期、平日の閑散期の誘客を強化する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 年間宿泊客数250万人、観光入込客数1,100万人を目指す ※令和5年目標：宿泊客数、観光入込客数ともに令和元年の9割を目指す	年間宿泊客数（万人）	148	190	211	250
		観光入込客数（万人）	716	941	1,000	1,100

事業概要	<p>（数値目標の目標年度）年間宿泊客数：2029（R11）年、観光入込客数：2029（R11）年</p> <p>年間の観光入込客数1,100万人、宿泊客数250万人を達成するためには、梅雨時期や冬季などの閑散期の誘客を強化する必要があり、官民で組織する松江市誘客推進協議会や（一社）松江観光協会とともに事業に取り組む。</p>
------	--

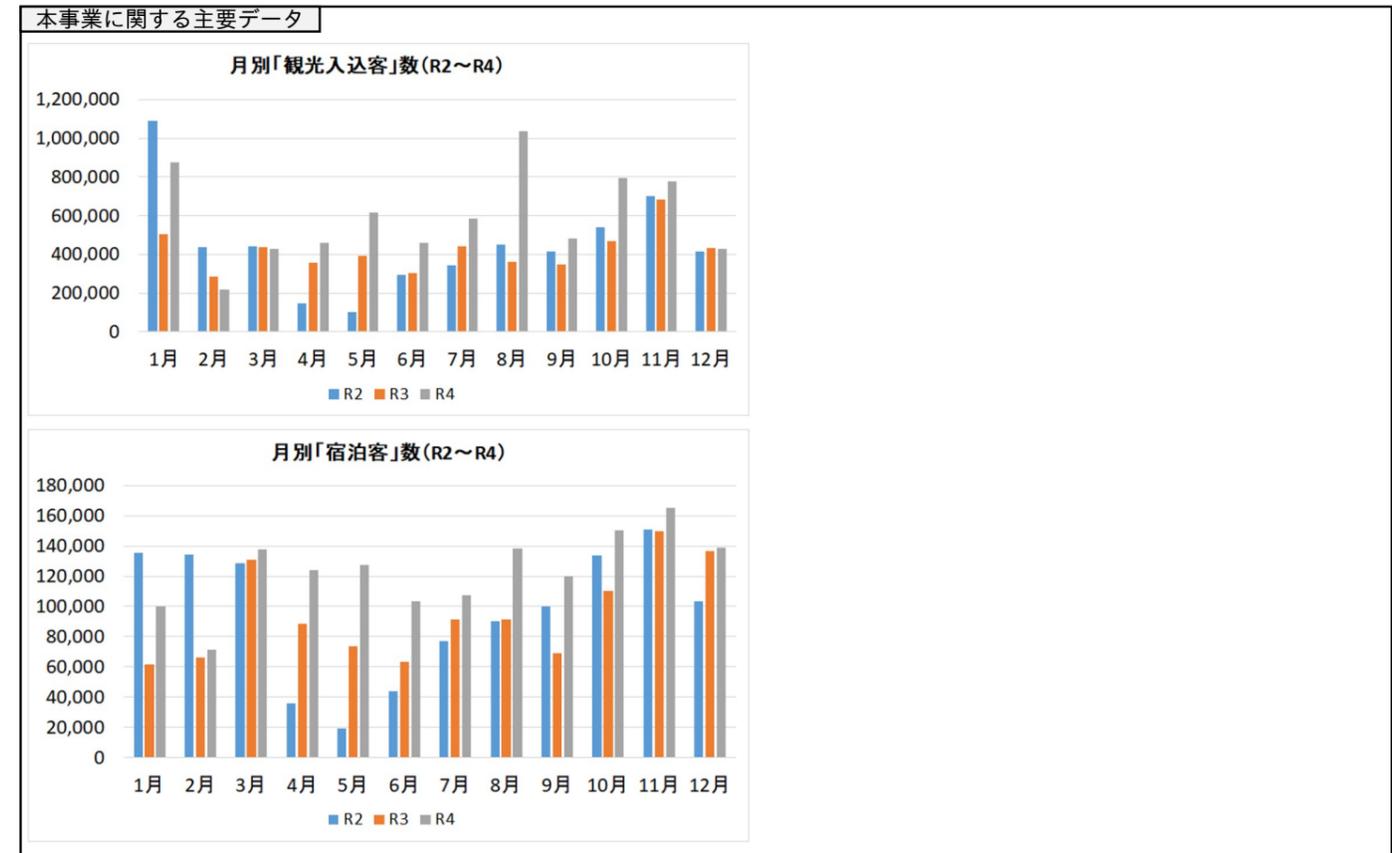
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江市誘客推進協議会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する ○玉造温泉を中心に「学生旅行」の誘客とリピーター対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する ○玉造温泉を中心に「学生旅行」の誘客とリピーター対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○島根県と連携しての閑散期誘客対策を実施 ○梅雨時期等天候が不順な時期でも観光が楽しめる「縁雲事業」を実施 ○松江観光協会を中心に、冬季を含む閑散期の誘客対策を推進する ○玉造温泉を中心に「学生旅行」の誘客とリピーター対策を実施
	達成度	2 計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,569	1,000
	国・県支出金	537	0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	1,032	1,000
歳入合計		1,569	1,000

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○閑散期に旅行を行うターゲットに絞り込んだ効果的なプロモーション ○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上でのプロモーション展開 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○目標達成に向けて重要課題として継続して実施 ○官民が連携して情報共有し、常に新たな視点で営業戦略を実施する ○SNSマーケティングの結果等をもとに、ターゲット層の見直し及びプロモーションを継続して行う ○年度当初から県・市・観光事業者等が連携して取り組む
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	しごとづくり
	基本施策	世界中から松江に人が集まる
	主要施策	新たな層の観光客の開拓の強化

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～6月	梅雨の「縁雲」事業および平日の誘客対策		
	通年	9月および平日の誘客対策		
	11月～	冬季誘客対策プロモーション		
	12～3月	冬季誘客対策、学生旅行の誘客		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,000		
事業費計			1,000